

令和8年度
防災重点農業用ため池緊急整備事業
越畑台下地区
いすみ市深谷地先

越畑台下洪水吐取水工改修工事その2 設計書

夷隅農業事務所

防災重点農業用ため池緊急整備事業
越畑台下洪水吐取水工改修工事その2 設計書

施 工 場 所 いすみ市深谷地先

工 事 内 容 洪水吐取水工 N= 1.0 式

工 事 費	金	円也
消費税相当額	金	円也
請 負 工 事 費	金	円也

令和 8 年度

防災重点農業用ため池緊急整備事業 越畑台下地区

越畑台下洪水吐取水工改修工事その 2

特 別 仕 様 書

夷隅農業事務所

令和 8 年度 防災重点農業用ため池緊急整備事業 越畑台下地区
越畑台下洪水吐取木工改修工事その 2

特 別 仕 様 書

第 1 章 総則	本工事の施工に当たっては千葉県制定「土木工事等共通仕様書」に基づいて実施する。同仕様書に対する特記及び追加事項はこの特別仕様書によるものとする。
第 2 章 工事内容	
1 目的	この工事は、越畑台下地区ため池整備事業計画に基づきため池を改修するものである。
2 工事場所	いすみ市深谷地先
3 工事概要	この工事はため池改修工で、その概要は次のとおりである。 ・洪水吐取木工 N=1 式
4 工事数量	別紙工事数量表のとおりである。
第 3 章 施工条件	
1 工程関係	貯水開始は、令和 9 年 3 月下旬を予定しているため、地元の貯水開始準備作業に支障がないよう現場作業は、注意すること。
2 部分引渡	該当なし
3 工事期間	工事期間には、雨天・休日等（日曜日・祝祭日及び作業期間内の全土曜日）を見込んでいる。
第 4 章 現場条件	
1 土質	この工事の土質は、粘性土を想定している。
2 関連工事	越畑台下水門製作据付工事その 2（令和 8 年 9 月発注予定）
3 第 3 者に対する措置	(1) 騒音、振動対策 騒音・振動等の発生を伴う作業については、その対策に十分配慮するとともに関係法規を遵守し、地域住民に事前に連絡するなどの協調をはかり、工事の円滑な進捗に努めなければならない。 (2) 排出ガス対策 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「土地改良工事等請負工事標準機械経費算定基準」（昭和 58 年 2 月 28 日付け 58 構改 D 第 147 号）で示す排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。 ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。 なお、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成 7 年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装着の開発」、または、これと同等の開発目標で実施された民間開

発建設技術の技術審査・証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。

排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。

対象機種一覧

一般工事用建設機械	備考
・バックホウ ・ブルドーザ ・振動ローラー ・発動発電機	ディーゼルエンジン (エンジン出力 7.5kw～ 260kw) を搭載した建設機 械に限る

備考

道路輸送車両の保安基準に排出ガス基準を定められている自動車の種別で、有効な自動車者検証の交付を受けているものを除く。

(3) 濁水処理対策

汚濁水等を直接河川等に流さないよう施工方法に注意するとともに、必要に応じて流末処理（河川汚濁防止施設等）施設を設ける等、十分注意するものとする。

(4) 安全対策

- 1) 重機や資材の搬入時は、一般交通の支障とならないよう十分に配慮し、交通安全に万全を期さなければならない。
- 2) 本工事における交通誘導警備員については、下表のとおり計上しているが、条件変更などに伴い員数に増減が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとする。

配置場所	交通誘導警備員	編成	昼夜別	交代要員の有無
市道 1374号	1名／日	交通誘導警備員B	昼間	無

(5) 重量制限

該当なし

(6) 公害対策

公道等の路面を汚濁した場合は、速やかに清掃すること。

工事施工にあたっては、騒音防止及び排気ガス対策を施した機械を使用するものとし、これによりがたい場合は監督職員の承諾を得なければならない。

4 環境対策等	(1)本工事で使用する軽油については、J I S規格軽油を使用すること。 (2)受注者は、県税事務所がその他の機関と合同で行う建設機械及び本工事に係る車両等を対象とする燃料の抜取調査に対しては、監督職員の指示により協力しなければならない。 (3)受注者は、千葉県が運用を開始している千葉県庁エコオフィスの構成要素をなす「公共事業における環境配慮」を推進し、達成するため施工計画書“環境対策”内に、独立した項目として「環境に配慮した工事実施計画」について記載するものとする。工事施工にあたっては、騒音防止及び排気ガス対策を施した機械を使用するものとし、これによりがたい場合は監督職員の承諾を得なければならない。
5 関係機関との調整	(1)工事支障物件等 工事区域である市道については水道管が埋設されているため、施工する際には関係機関の立ち会いのもと、事前に試掘調査を実施すること。 その他、疑義がある場合は監督職員と協議すること。 (2)工事用道路関係 資材等の運搬路として使用した道路の補修等が必要となった場合は受注者の責任において、速やかに補修すること。
6 建設副産物	(1)共通事項 1) 建設副産物 「千葉県建設リサイクル推進計画2020」及び「千葉県建設リサイクル推進計画2020ガイドライン等」に基づき、下記事項により、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を作成し、施工計画書に含め各1部提出すること。 また、工事完成後速やかに上記計画の実施状況(実績)について、再生資源利用実施書、再生資源利用促進実施書を作成し、格納した電子データと出力した様式を各1部提出するとともに、これらの記録を工事完成後一年間保存しておくこと。 なお、上記各計画書及び各実施書の作成にあたっては、「建築副産物情報交換システム(COBRIS)」を用いて登録・作成しなければならない。 ○作成対象工事 受注金額100万円以上のすべての工事について建設資材利用、建設副産物の発生・排出の量の大小及び有無にかか

	わらず作成する。 2)「建設副産物の処理基準及び再生資材の利用基準」に基づき、建設副産物の処理に先立ち、「建設副産物処理承認申請書」を作成し、監督職員の確認を受け、同申請書を1部提出すること。なお、建設副産物の処理を委託する場合は、収集運搬又は処分について許可業者と各々建設廃棄物処理契約を締結し、「建設副産物処理委託契約書」を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを同申請書に添付すること。 建設副産物の処理完了後速やかに、「建設副産物処理調書」を作成し、1部提出するとともに、実際に要した処理費等を証明する資料（受入伝票、写真等）を監督職員に提出し確認を受けること。 建設廃棄物の処理にあたって、産業廃棄物管理票制度に基づく紙マニフェスト方式による場合は、複写式伝票のD票及びE票の写しを提示すること。 また、電子マニフェスト方式による場合は、廃棄物処理法に基づき指定された団体が発行する、当該工事の電子マニフェスト情報を収録した磁気媒体の提出または、建設副産物の引渡し時、運搬終了時及び処分終了時に登録した情報をパソコンにより印刷したもの（受渡確認伝票）を提示すること。 3) 建設リサイクル法 a) 特定建設資材の分別解体等・再資源化等の適正な措置 ア. 本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年度法律104号)。以下「建設リサイクル法」という。」に基づく対象建設工事であり、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。 なお、建設工事請負契約書「6. 解体工事に要する費用等」については、契約締結時に発注者と受注者の間で確認される事項であるため、発注者が条件明示した事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。 ただし、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。 イ. 受注者は、特定建設資材の分解解体等・再資源化が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告すること
--	---

	とする。 ・再資源化等が完了した年月日 ・再資源化等した施設の名称及び所在地 ・再資源化等に要した費用 なお、書面に添付する資料は「建設リサイクル推進計画2020ガイドライン」に定めた様式1[再生資源利用計画書(実施書)]及び様式2[再生資源利用促進計画書(実施書)]とし、実施書の作成に用いたシステム(COBRIS)によることができる。 b) 請け負おうとする建設業者からの事前説明に関する事項 ア. 建設リサイクル法第12条で、対象建設工事を請け負おうとする建設業を営む者は、発注者に対して、対象建設工事の届出に関する事項を記載した書面(説明書)を提出し説明を行うこととする。 イ. 書面の提出は、契約に先立って行うこととする。 ウ. 書面は施工計画書に添付するものとする。 (1) 建設発生土 本工事により発生する建設発生土 151.4m³ については、片道運搬距離 6.0km のいすみ市岬町桑田 57 番 1 地外へ運搬、整地するものとする。 なお、事情により上記区域への搬出が難しい場合は、監督職員と協議するものとする。 (2) 建設廃棄物 1) 廃プラスチック 本工事により発生する廃プラスチック 696.8kg は、勝浦市杉戸地先、片道運搬距離 11.6km の(株)イタミエコテックに運搬し、処理するものとする。 なお、本工事で搬出する廃プラスチックは、搬出前に水で土を洗い流すこと。
第5章 仮設備 1 指定仮設 2 任意仮設	該当なし 本工事の仮設にあたっては、現地の状況を十分把握し、安全性、経済性、細部構造等については受注者において十分検討を行い、受注者の責任において決定し施工するものとする。
第6章 工事用地等	いすみ市深谷字堰下 7-1 は、発注者で9月上旬より借地予定である。 発注者が確保している工事用地等については、工事施工に先立ち、監督職員の立会いのうえ、用地境界、使用条件等の確認を行わなければならない。

	工事施工上必要な用地の返還に当たっては使用条件に基づき必要な措置を講じた後、発注者に通知しなければならない。																		
第 7 章 貸与設備	該当なし																		
第 8 章 支給材料	該当なし																		
第 9 章 工事用電力	この工事に使用する電力設備及び電気料金は、受注者の負担とする。																		
第 10 章 工事材料	この工事で使用する主要材用の規格品質は資材集計表に記載のとおりであり、監督職員が指示する材料については、試験成績書等を提出しなければならない。																		
1 規格及び品質	この工事で使用する主要材用の規格品質は資材集計表に記載のとおりであり、監督職員が指示する材料については、試験成績書等を提出しなければならない。 コンクリートは生コンクリートを使用するものとし、使用目的別の配合諸元は次のとおりである。 <table><tr><th>呼び強度 (N/mm2)</th><th>SL (cm)</th><th>MS (mm)</th><th>W / C (%)</th><th>セメント の種類</th><th>使用目的</th></tr><tr><td>21</td><td>8</td><td>25</td><td>55 以下</td><td>B・B</td><td>鉄筋コンクリート</td></tr><tr><td>18</td><td>8</td><td>25</td><td>65 以下</td><td>B・B</td><td>閉塞、均し、基礎 コンクリート</td></tr></table> なお、アルカリ骨材反応抑制対策は次のいずれかを行うものとするが、1) および 2) を優先し、その対策について監督職員に報告するものとする。 1) コンクリート中のアルカリ総量の抑制 アルカリ量が表示されたポルトランドセメント等を使用し、コンクリート 1 m³に含まれるアルカリ総量を Na₂O 換算で 3.0 kg 以下にする。 2) 抑制効果のある混合セメント等の使用 J I S R 5 2 1 1 高炉セメントに適合する高炉セメント B 種（スラグ混合比 40 % 以上）または C 種、あるいは J I S R 5 2 1 3 フライアッシュセメント B 種（フライアッシュ混合比 15 % 以上）または C 種、もしくは混和材ポルトランドセメントに混入した結合材でアルカリ骨	呼び強度 (N/mm2)	SL (cm)	MS (mm)	W / C (%)	セメント の種類	使用目的	21	8	25	55 以下	B・B	鉄筋コンクリート	18	8	25	65 以下	B・B	閉塞、均し、基礎 コンクリート
呼び強度 (N/mm2)	SL (cm)	MS (mm)	W / C (%)	セメント の種類	使用目的														
21	8	25	55 以下	B・B	鉄筋コンクリート														
18	8	25	65 以下	B・B	閉塞、均し、基礎 コンクリート														

2 見本または資料提出	材反応抑制効果の確認されたものを使用する。 3) 安全と認められる骨材の使用 骨材のアルカリシリカ反応性試験（化学法又はモルタルバー法）の結果で無害と確認された骨材を使用する。 なお、化学法については工事開始前、工事中1回／6ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験期間で試験を行うものとし、またモルタルバー法は試験成績書により確認するとともに、J I S A 1 8 0 4コンクリート生産工程管理用試験法により骨材が無害であることを確認する。 ただし、骨材の採取には受注者が立会うことを原則とする。														
	下記に示す工事材料は、使用前に見本、カタログ、試験成績書等を監督職員に提出し承認を得なければならない。なお、これ以外の材料についても監督職員が提出を指示する場合がある。 また、コンクリート二次製品については、「1 規格及び品質」で示す1）から3）のアルカリ骨材反応抑制対策のうち、いずれかの対策を講じるかをあわせて報告するものとする。 ただし、対策を講じる前に製造された製品は、受注者が立会い使用した骨材を採取し、試験を行い、結果を報告するものとする。														
	<table><tr><th>材料名</th><th colspan="2">提出物</th></tr><tr><td>遮水シート</td><td colspan="2">カタログ等</td></tr><tr><td>セメント系固化材</td><td colspan="2">試験成績表等</td></tr><tr><td>J I S 規格製品以外のもの</td><td colspan="2">カタログ、試験成績書、見本、分析表、色見本等のうち必要なもの</td></tr></table>			材料名	提出物		遮水シート	カタログ等		セメント系固化材	試験成績表等		J I S 規格製品以外のもの	カタログ、試験成績書、見本、分析表、色見本等のうち必要なもの	
	材料名	提出物													
遮水シート	カタログ等														
セメント系固化材	試験成績表等														
J I S 規格製品以外のもの	カタログ、試験成績書、見本、分析表、色見本等のうち必要なもの														
3 監督職員の検査または試験	下記に示す工事材料は、使用前に監督職員の検査または試験を受けなければならない。														
	<table><tr><th>材料名</th><th>提出物</th><th>備考</th></tr><tr><td>斜樋管</td><td>製作承認願い等</td><td>寸法等</td></tr><tr><td>空気管</td><td>製作承認願い等</td><td>寸法等</td></tr></table>			材料名	提出物	備考	斜樋管	製作承認願い等	寸法等	空気管	製作承認願い等	寸法等			
材料名	提出物	備考													
斜樋管	製作承認願い等	寸法等													
空気管	製作承認願い等	寸法等													
第11章 施工															
1 一般事項	設計図書を熟読し、施工内容を十分把握すること。特に完成時確認が困難な工種については直接測定、撮影記録等による施工管理を十分に行うこと。また、受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに所定の様式により提出することができる。不明な点について														

3 堤体工	(1)掘削工 1) 掘削土は、ストックヤードに集積する。 2) 掘削作業は、降水量おおむね 5mm 以上の場合、あるいは現場状況を判断して作業不可能な場合は直ちに作業を停止する。 3) スtockヤードでの土管理は、雨水などが入らないよう、シート等でおおい管理をすること。 4) 構造物の施工箇所は、基礎地盤の状況、高さを確認しながら掘削を行い、丁寧に整形すること。 (2)盛土工 1) まきだしの際に草木根や石が混入している場合は、取り除くこと。 2) 転圧作業は、仕上り厚 30cm、転圧回数 6 回以上を目安としているが、盛土材料変更時に行う現場試験において、工事施工管理基準で定めている規格値を求める。現場試験の結果が出るまで次層の施工は行わないこと。締固めが不十分な場合は、再度転圧、現場試験を行い、十分な締固め度を確認すること。 3) 機械施工ができない部分については、タンパ、コンパクタ等で入念に仕上げる。床堀部の盛土には、基礎及び遮水土の接触を密にし、湧水がある場合には監督職員と協議するものとする。 4) 降雨、降雪その他の事由により過度に加湿・乾燥土となった盛土用土は利用してはならない。まきだした土は、その日のうちに締固めを完了することを原則とする。 5) 法面部の盛土については、0.5m～1.0m 程度の広さまでまき出しし、十分締固めを行い、はみ出した部分は盛土完了後に切り取って仕上げるものとする。 6) 霜柱等の凍結した表土は、除去して転圧する。盛土の施工中において、用土の不足、転圧の不十分、受注者の不注意による湧水、盛土と法面の崩壊などがあった場合には、その部分及びこれに関連する部分の盛土について再施工を命ずることがある。 7) 築堤現場は、常に排水を十分にし、雨水等が盛土部分に残留しないよう緩勾配となるよう仕上げなければならない。 8) 現堤体（旧堤）は、比較的高含水比な粘土で築造されている場合が多く、掘削後に時間の経過とともにレンズ状のクラックが発生し、未処理のまま施工すると漏水の原因と
--------------	--

第12章 施工管理	なるので、このクラックが発生したら除去した後まきだし転圧をする。 (3) 遮水シート布設工 遮水シートを布設する際には、埋戻部を整形し、遮水シート布設面を平滑にしてから布設すること。 堤体法先へ遮水シートを布設するために行うカットオフ掘削は、基礎地盤である粘性土層（Ac1 層）を確認し、盛土層（B 層）以深に敷設すること。 (1) 工事の施工管理は「工事施工管理基準(農業農村整備事業)」により実施する。 (2) 工事写真における黒板情報の電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、電子情報として被写体画像と同時に黒板の記載情報を記録してデータ化することにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。 受注者は、工事契約後に監督職員の承諾を得たうえで、工事写真における黒板情報の電子化を実施するものとし、以下の1) から4) のすべてを実施するものとする。 1) 使用する機器・ソフトウェア 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、工事施工管理基準（農業農村整備事業） 第1 土木工事施工管理基準 第3項 撮影記録による出来形管理※ に示す項目の電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」 (URL「https://www.cryptrec.go.jp/list.html」) に記載する基準を用いた信憑性確認機能(改ざん検知機能)を有するものを使用するものとする。 2) 機器等の導入 a) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が選定及び調達するものとする。使用機器等の事例として、URL(http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html) 記載の「デジタル工事写真の黒板情報電子化対応ソフトウェア」を参照されたい。ただし、この事例中の機器に使用を限定するものではない。 b) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等について、工事着手前に提示するものとする。 c) 機器等の導入に係る費用は、技術管理費の写真管理に
------------------	---

第13章 電子納品	要する費用に含まれる。機器等の導入に係る費用とは、工事写真における黑板情報の電子化の実施に必要な機器等の機械経費及び電算使用料等を指す。 3) 黑板情報の電子的記入に関する取扱い a) 受注者は、1) の機器等を用いて工事写真を撮影する場合は、被写体と黑板情報を電子画像として同時に記録してもよい。 b) 本工事の工事写真の取扱いは、「工事施工管理基準（農業農村整備事業）第1 土木工事施工管理基準 第3項 撮影記録による出来形管理」※ 及び「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。 c) a) に示す黑板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。 d) 黑板情報の電子化を実施した場合は、従来の黑板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。 4) 写真の納品 a) 受注者は、3) に示す黑板情報の電子化を行った写真を、工事完成時に発注者へ納品するものとする。 b) 受注者は納品時に URL (https://www.jcmsia.org/kokuban) のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェア及び工事写真ビューアソフトを用いて、黑板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ、工事打合せ簿により提出するものとする。 c) 提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することがある。 (1) 本工事は電子納品対象工事とする。電子納品とは、調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは「工事完成図書の電子納品要領（案）：以下「要領」という」に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。 (2) 工事完成図書は、「要領」に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R）で正副2部を提出する。「要領」で特に記載のない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督職員と協議のうえ、電子化の是非を決定する。 なお、電子納品の運用に当たっては、「電子納品運用ガイド
------------------	---

	ライン（案）」を参考にするものとする。 （３） 工事完成図書の提出の際には、電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで提出をすること。 （４） 本工事の電子成果品は（公財）千葉県建設技術センター（以下、「センター」という。）による一元保管管理の対象とする。本契約締結後、センターへの登録申請をすみやかに行うとともに申請後に発行される。「千葉県電子媒体（副本）納品事前受付書」は監督職員へ提出すること。また契約変更等に伴う修正申請も遅滞なく行う必要があるが、その都度の「事前受付書」提出は求めない。完成検査において合格と認められた電子媒体副本については、原則として検査後一週間以内に、最終版の「千葉県電子媒体（副本）納品事前受付書」（監督職員記名済写し）を添えてセンターへ送付すること。 （５） 本工事の電子成果品は土木工事請負契約書第４５条の対象とし、電子データに不備が確認された場合は、受注者は修正作業を行わなければならない。
第１４章 条件変更 の補足説明	この工事の施工に当たり、自然的又は人為的な施工条件が設計図書等と異なる場合、あるいは、設計図書等に明示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は以下のとおり。 ・ 掘削土の土質 ・ 転石の出現 ・ 破碎帯の出現 ・ 基礎地盤線の変更 ・ 異常湧水の出現 ・ 地下埋設物（埋蔵文化財を含む）の出現 ・ 地盤改良材、配合量で想定している改良後の強度と現場試験による改良後強度 ・ その他
第１５章 設計変更	（１） 設計変更等については、契約書第１９条から第２５条及び土木工事共通仕様書第１編共通編１－１－１８から１－１－２０に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「土木工事請負契約における設計変更等ガイドライン（総合版）令和３年１月」によることとする。 （２） 運搬費及び準備費の設計変更について １）本工事は、「共通仮設費（率分）のうち運搬費及び準備費」の下記に示す経費（以下「実績変更対象経費」という。）について、工事実施にあたって積算額と実際の費用に乖離が生じ

	た場合は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更することができる。 運搬費：建設機械の運搬費 準備費：伐開・除根・除草費 2) 発注者は、契約締結後、共通仮設費に対する実績変更対象経費の割合（以下「割合」という。）を提示する。 3) 受注者は、2) により発注者から示された割合を参考にして、実績変更対象経費に係る費用の内訳について設計変更の協議ができるものとする。 4) 受注者は、最終精算変更時点において、発注者が別に示す実績変更対象経費に関する内訳書（以下「内訳書」という。）を作成するとともに、内訳書に記載した計上額が証明できる書類（領収書、又は金額の妥当性を証明する金額計算書）を添付して監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。 5) 受注者の責めに帰すべき事由による増加費用と認められるものについては、設計変更の対象としない。 6) 発注者は、内訳書を精査したうえで、「実績額」と「率計上額」の差額を、共通仮設費積上分に計上する。 7) 発注者は、受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合、法的措置、指名停止等の措置を行う場合がある。 8) 疑義が生じた場合は、受発注者間で協議するものとする。 (3) 地域外からの労働者確保に要する間接工事費の設計変更について 1) 本工事は、「共通仮設費（率分）のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す経費（以下「実績変更対象経費」という。）については、工事実施に当たって積算額と実際の費用に乖離が生じることが考えられる。契約締結後、受注者の責によらない地元調整等により施工計画に変更が生じ、積算基準の金額想定では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象経費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更することができる。 営繕費：労働者送迎費、宿泊費、借上費 労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用 2) 発注者は、契約締結後、受注者から請負代金内訳書の提出があった場合、共通仮設費及び現場管理費に対する実績変更対象経費の割合（以下「割合」という。）を提示する。
--	--

第18章 熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行工事	本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正を試行する対象工事とする。 受注者は、契約後速やかに、本試行の適用について、監督職員と協議すること。 工事の実施にあたっては、「熱中症対策に資する現場管理費の補正の施行要領」に基づき行うこと。
第19章 法定外の労災保険の付保	本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
第20章 快適トイレ	(1) 本工事は、快適トイレ対象工事である。 (2) 受注者は、当該工事の現場に快適トイレを設置する場合は、事前に工事打合せ簿により設置基数、設置期間、仕様について、監督職員と協議すること。 (3) 快適トイレは、以下の1)～11)の仕様を満たすこと。なお、12)～17)については、満たしていればより快適に使用できると思われる項目であり、必須ではない。 【トイレに求める機能】 ※必須 1) 洋式便器 2) 水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む） 3) 臭い逆流防止機能 4) 容易に開かない施錠機能 5) 照明設備 6) 衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等（耐荷重を5kg以上とする） 【付属品として備えるもの】 ※必須 7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示 8) 入口の目隠しの設置（男女別トイレ間も含め入口が直接見えないような配置等） 9) サニタリーボックス（女性用トイレに必ず設置） 10) 鏡と手洗器 11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品 【推奨する仕様、付属品】 ※任意 12) 室内寸法900×900mm以上（面積ではない） 13) 擬音装置（機能を含む） 14) 着替え台 15) 臭気対策機能の多重化 16) 室内温度の調整が可能な設備 17) 小物置き場（トイレトペーパー予備置き場等） (4) 快適トイレの設置に要する費用は、通常の仮設トイレとの差額として、1基あたり51,000円/月を上限に、発注者が負担する。ただし、工事期間中に、通常の仮設トイレから快適トイレに変更した場合、又は快適トイレから通常の仮設トイレに変更した場合は、費用負担の対象としない。 (5) 発注者が費用負担する快適トイレは、1現場1基まで

	とする。ただし、男女別に設置する場合には、1 現場 2 基までとする。 (6) 発注者が負担する快適トイレの設置に要する費用は、設計変更で対応する。 (7) 受注者は、快適トイレに係る支出実態のわかる資料を、監督職員に提出すること。 (8) 受注者は、発注者が快適トイレに関するアンケートを実施する場合は、監督職員が指定した期日までにアンケートを提出すること。
第 2 1 章 週休 2 日制適用工事	(1) 本工事は、週休 2 日制適用工事である。 (2) 受注者は、現場閉所による週休 2 日工事として取り組むこと。なお、予定価格には月単位の週休 2 日達成相当の経費を補正している。 (3) 受注者が週休 2 日交替制工事を希望するときは、受発注者間で協議し週休 2 日交替制工事に変更することができる。 (4) 受注者が、工事着手前に週単位の週休 2 日の取り組みを希望し、なおかつ対象期間内での週単位の週休 2 日相当を達成した場合は、経費に補正係数を乗じ変更するものとする。 (5) 週休 2 日制の実施にあたっては、「千葉県農業農村整備事業における週休 2 日制適用工事試行要領（令和 7 年 1 0 月版）」に基づき行うこと。
第 2 2 章 I C T 活用工事について	(1) 本工事は、I C T 施工技術の活用による建設現場の生産性向上を図るため、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、出来形管理資料の作成等の各段階において、3 次元データを用いた情報化施工技術を活用する I C T 活用工事の試行工事である。 【対象工種】 土工、ため池改修工、地盤改良工 (2) 試行工事を実施する場合は、契約後、施工計画書の提出までに「I C T 活用工事計画書」により発注者と協議を行い、協議が整った場合に I C T 施工技術を活用した工事を試行できるものとする。 (3) I C T 活用工事を実施する場合は、実施した施工技術の内容に応じて、「情報化施工技術の活用ガイドライン」（農林水産省農村振興局整備部設計課）や「千葉県農業農村整備事業における I C T 活用工事試行要領」（以下、試行要領）に基づいて、設計変更を行い、必要な経費を計上する。 (4) 試行工事の実施の詳細は、試行要領によるものとする。

第 2 3 章 情報共有システムの活用について	(1) 本工事は、情報共有システムの対象工事である。ただし、活用による生産性向上が見込まれないなどと判断される場合は、受発注者間の協議により、実施の有無を決定することとする。 (2) 実施に当たっては「千葉県農業農村整備事業情報共有システム実施要領」に基づくものとする。
第 2 4 章 千葉県建設キャリアアップシステム活用工事について	(1) 本工事は、千葉県建設キャリアアップシステム活用工事の対象工事とする。 (2) 受注者は、工事の締結後、工事着手前に CCUS 活用の希望の有無について、監督職員と協議すること。 (3) 工事の実施にあたっては、「千葉県建設キャリアアップ活用工事試行要領」に基づき行うこと。
第 2 5 章 遠隔臨場	本工事について遠隔臨場の試行を希望する場合は、発注者と協議し、試行可能と回答が得られた場合は「遠隔臨場試行工事（発注者指定型）」とすることができる。 1 「建設現場の遠隔臨場に関する試行工事(以下、「本試行工事」という。)」は、受注者における「段階確認に伴う手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者(監督員)における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」等を目指し、動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)と Web 会議システム等を使用して「段階確認」、「材料確認」と「立会」の遠隔臨場を行うものである。なお、本試行工事は「千葉県農業農村整備事業における建設現場の遠隔臨場に関する試行要領」の内容に従い実施する。 2 試行内容 (1) 段階確認・材料確認、立会での確認 ①受注者が動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)により撮影した映像と音声をスマートフォン向けの TV 電話や Web 会議システムを利用しながら確認するものである。試行内容については、受注者との協議により実施するものとする。 ②確認実施者が現場技術員の場合は、現場技術員は使用する PC にて遠隔臨場の映像(実施状況)を画面キャプチャ等で記録し、情報共有システム(ASP)等に登録して保存する。(従来の立会資料の管理同様とする。) ③ウェアラブルカメラとは、ヘルメットや体に装着や着用可能(ウェアラブル ; Wearable)なデジタルカメラの総称であり使用製品を限定するものではない。一般的な Android や i-Phone 等のモバイル端末を使用することも可能である。なお、ウェアラブルカメラ等の使用は、「段階確認」、「材料確認」と「立会」だ

	けではなく、現場不一致、事故などの報告時等でも活用効果が期待されることから、受注者の創意工夫等、自発的に実施する行為を妨げるものではない。 (2) 機器の準備 本試行工事に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）や Web 会議システム等は受注者が手配、設置するものとし、発注者側にて準備している動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）や既に使用している Web 会議システム等を含め詳細については、監督職員と協議し決定するものとする。 (3) 効果の検証 本試行工事を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。
26章 難工事の指定について	本工事は、難工事として指定した工事である
27章 その他	この仕様書に定めのない事項又はこの工事の施工に当たり疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

令和 8 年度

防災重点農業用ため池緊急整備事業
越畑台下洪水吐取水工改修工事その 2

工 事 数 量 表
【当初】

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
1. 堤体工				
(1) 堤体工 (上流)	土工			
表土はぎ		m ³	110.000	
掘削工		m ³	110.000	
段切掘削工		m ³	49.000	
床掘工		m ³	84.000	
土砂等運搬工	堤体からストックヤード	m ³	360.000	
土砂等運搬工	ストックヤードから桑田地先	m ³	110.000	
(2) 埋戻工	堤体工			
土砂等運搬工	ストックヤードから堤体	m ³	330.000	
埋戻工	B<1.0m	m ³	14.000	
埋戻工	1.0m≦B<2.5m	m ³	97.000	
埋戻工	2.5m≦B<4.0m	m ³	100.000	
埋戻工	4.0m≦B	m ³	80.000	
(3) 盛土工	堤体工			
土砂等運搬工	ストックヤードから堤体	m ³	210.000	
盛土工	1.0m≦B<2.5m	m ³	89.000	
盛土工	2.5m≦B<4.0m	m ³	98.000	
盛土法面整形工	上流側	m ²	210.000	
盛土法面整形工	下流側	m ²	13.000	
(4) 遮水シート敷設	堤体工			
切土法面整形工	段切部	m ²	140.000	
切土水平面整形工	段切部	m ²	180.000	
小運搬工	遮水シート	ton	1.700	

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
遮水シート布設工	ベントナイト含有量 4kg/m ² 以上	m ²	360.000	
2. 洪水吐取水工				
(1) 掘削工	洪水吐取水工			
表土はぎ		m ³	39.000	
床掘工		m ³	260.000	
土砂等運搬工	堤体からストックヤード	m ³	300.000	
土砂等運搬工	ストックヤードから桑田地先	m ³	39.000	
基面整正		m ²	36.000	
(2) 埋戻工	洪水吐取水工			
土砂等運搬工	ストックヤードから堤体	m ³	270.000	
埋戻工	構造物周辺, B=0.5m	m ³	45.000	
埋戻工	B<1.0m	m ³	25.000	
埋戻工	1.0m≤B<2.5m	m ³	38.000	
埋戻工	4.0m≤B	m ³	140.000	
(3) 盛土工	洪水吐取水工			
土砂等運搬工	ストックヤードから堤体	m ³	61.000	
盛土工	構造物周辺, B=0.5m	m ³	9.000	
盛土工	B<1.0m	m ³	1.000	
盛土工	1.0m≤B<2.5m	m ³	20.000	
盛土工	2.5m≤B<4.0m	m ³	15.000	
埋戻工	4.0m≤B	m ³	11.000	
(4) 遮水シート布設工	洪水吐取水工			
遮水シート布設工	ベントナイト含有量 4kg/m ² 以上	m ²	66.000	
小運搬工	遮水シート	ton	0.300	

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
(5)地盤改良工	洪水吐取水工			
地盤改良工	不足土、セメント系固化材、改良深1.2m	m ²	297.000	
小運搬工	セメント系固化材	ton	37.000	
(6)洪水吐取水工				
型枠工	均しコンクリート	m ²	2.500	
均しコンクリート工		m ³	1.600	
型枠工	鉄筋コンクリート	m ²	99.000	
鉄筋コンクリート工		m ³	35.000	
鉄筋加工・組立	D13	ton	1.550	
鉄筋加工・組立	D19	ton	0.080	
ダウエルバー設置	D16, VP φ 20	本	8.000	
トラップ	φ 19, 樹脂被覆	個	2.000	
ため池栓	φ 150、青銅製、SUS製チェーン、アンカー付	個	2.000	
斜樋管据付	SGP, φ 150	式	1.000	
斜樋管据付	SGP, φ 200	式	1.000	
空気管据付・溶接	SGP, φ 50	式	1.000	
空気管	SGP, φ 50	本	1.000	
手摺設置	SUS40A, 32A	式	1.000	
(7)底樋工				
型枠工	基礎コンクリート	m ²	4.100	
基礎コンクリート工		m ³	3.000	
ボックスカルバート据付工		m	14.400	
3. 仮設工				
(1)ストックヤード				

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
土木シート敷設・撤去工		m ²	1,041.800	
敷鉄板設置・撤去工		m ²	930.000	
(2)進入路1				
小運搬工	購入土	m ³	52.000	
購入土		m ³	52.000	
路体盛土工	B≧4.0m	m ³	39.000	
敷鉄板設置・撤去工		m ²	36.900	
暗渠排水管据付・撤去工		m	12.000	
(3)工事用道路				
路体盛土		m ³	160.000	
購入土		m ³	210.000	
敷鉄板設置・撤去工	工事用道路	m ²	307.100	
(4)施工ヤード				
小運搬工	セメント系固化材	ton	20.960	
地盤改良工	施工ヤード、セメント系 固化材、改良深1.0m	m ²	202.000	
敷鉄板設置・撤去工	施工ヤード	m ²	598.000	
(5)仮締切排水工				
締切盛土工		m ³	140.000	
排水用釜場設置工	釜場掘削・設置	箇所	2.000	
排水用釜場撤去工	釜場埋戻・撤去	箇所	2.000	
排水ポンプ据付撤去工		箇所	2.000	
排水ポンプ運転工		箇所	1.000	
(6)足場工				
足場工	洪水吐取水工	掛m ²	38.000	

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
(7)支保工				
支保工	洪水吐取水工	空m3	7.000	
(8)埋立用仮設道路工	桑田地先			
埋立用仮設道路工		m ²	125.000	
(9)進入路撤去工	進入路 1			
掘削工		m3	39.000	
土砂等運搬工	ストックヤードから桑田地先	m3	39.000	
(10)産業廃棄物処理工				
小運搬工	廃プラスチック（改良材空袋）	ton	0.100	
運搬工	廃プラスチック（改良材空袋）	台	1.000	
処分工	廃プラスチック（改良材空袋）	kg	104.000	
運搬工	廃プラスチック（土木シート）	台	1.000	
処分工	廃プラスチック（土木シート）	kg	592.800	
(11)安全費				
交通誘導警備員		人	9.000	
4. その他				
(1)運搬費				
運搬費				
運搬費				
敷鉄板運搬費	ストックヤード	ton	323.270	
敷鉄板運搬費	桑田地先	ton	21.490	
小運搬工	ストックヤードから堤体	ton	103.240	
小運搬工	堤体からストックヤード	ton	103.240	
(2)技術管理費				

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
土質試験費				
土質試験費				
配合試験		式	1.000	
一括計上価格				
1. 土壌分析				
(1)土壌分析				
六価クロム溶出試験		検体	1.000	

1 — (1) 掘削工 数量集計表

[illegible]

1 - (2) 埋戻工 数量集計表

[illegible]

1 - (3) 盛土工 数量集計表

[illegible]

1 - (4) 遮水シート布設工 数量集計表

[illegible]

堤体工		土 工 計 算 書						(1 / 3)
表土はぎ		V =		112.4 m3				
掘削		V =		114.4 m3				
断面	距 離	表土はぎ			掘削			備 考
		面積	平均面積	立積	面積	平均面積	立積	
		(m)	A (m2)	A (m2)	V (m3)	A (m2)	A (m2)	V (m3)
NO.4 + 15.643	0.000	5.32	0.00	0.00	4.35	0.00	0.00	NO.4 +11.79
NO.5 + 15.030	19.387	5.06	5.19	100.62	6.01	5.18	100.42	
NO.5 + 17.350	2.320	5.06	5.06	11.74	6.01	6.01	13.94	NO.5 +15.03
			洪水吐工土工で計上					
合 計	21.707			112.36			114.36	
				112.4			114.4	
段切り掘削		V =		49.4 m3				
床掘		V =		84.0 m3				
断面	距 離	段切り掘削			床掘			備 考
		面積	平均面積	立積	面積	平均面積	立積	
		(m)	A (m2)	A (m2)	V (m3)	A (m2)	A (m2)	V (m3)
NO.4 + 15.643	0.000	2.24	0.00	0.00	3.87	0.00	0.00	NO.4 +11.79
NO.5 + 15.030	19.387	2.30	2.27	44.01	3.87	3.87	75.03	
NO.5 + 17.350	2.320	2.30	2.30	5.34	3.87	3.87	8.98	NO.5 +15.03
			洪水吐工土工で計上					
合 計	21.707			49.35			84.01	
				49.4			84.0	
段切部法面整形		A =		135.0 m2				
段切部水平面整形		A =		178.4 m2				
断面	距 離	段切部法面整形			段切部水平面整形			備 考
		長さ	平均長	面積	長さ	平均長	面積	
		(m)	L (m)	L (m)	A (m2)	L (m)	L (m)	A (m2)
NO.4 + 15.643	0.000	6.22	0.00	0.00	8.22	0.00	0.00	NO.4 +11.79
NO.5 + 15.030	19.387	6.22	6.22	120.59	8.22	8.22	159.36	
NO.5 + 17.350	2.320	6.22	6.22	14.43	8.22	8.22	19.07	NO.5 +15.03
			洪水吐工土工で計上					
合 計	21.707			135.02			178.43	
				135.0			178.4	

埋戻1 $B < 1.0\text{m}$ $V = 14.0\text{ m}^3$
 埋戻2 $1.0 \leq B < 2.5\text{m}$ $V = 96.8\text{ m}^3$

断面	距 離	埋戻1			埋戻2			備 考
		B < 1. 0m			1. 0 ≦ B < 2. 5m			
		面積	平均面積	立積	面積	平均面積	立積	
	(m)	A (m2)	A (m2)	V (m3)	A (m2)	A (m2)	V (m3)	
NO. 4 + 15. 643	0. 000	1. 03	0. 00	0. 00	3. 72	0. 00	0. 00	NO. 4 +11. 79
NO. 5 + 15. 030	19. 387	0. 33	0. 68	13. 18	5. 05	4. 39	85. 11	
NO. 5 + 17. 350	2. 320	0. 33	0. 33	0. 77	5. 05	5. 05	11. 72	NO. 5 +15. 03
		洪水吐工土工で計上						
合 計	21. 707			13. 95			96. 83	
				14. 0			96. 8	

埋戻3 $2.5 \leq B < 4.0\text{m}$ $V = 102.7\text{ m}^3$
 埋戻4 $4.0\text{m} \leq B$ $V = 80.2\text{ m}^3$

断面	距 離	埋戻3			埋戻4			備 考
		2.5 ≦ B < 4.0m			4.0m ≦ B			
		面積	平均面積	立積	面積	平均面積	立積	
	(m)	A (m2)	A (m2)	V (m3)	A (m2)	A (m2)	V (m3)	
NO.4 + 15.643	0.000	4.53	0.00	0.00	3.42	0.00	0.00	NO.4 +11.79
NO.5 + 15.030	19.387	4.89	4.71	91.31	3.92	3.67	71.15	
NO.5 + 17.350	2.320	4.89	4.89	11.34	3.92	3.92	9.09	NO.5 +15.03
		洪水吐土工で計上						
合 計	21.707			102.65			80.24	
				102.7			80.2	

盛土1 $B < 1.0\text{m}$ $V = 0.0\text{ m}^3$
 盛土2 $1.0 \leq B < 2.5\text{m}$ $V = 89.1\text{ m}^3$

断面	距 離	盛土1			盛土2			備 考
		B < 1.0m			1.0 ≤ B < 2.5m			
		面積	平均面積	立積	面積	平均面積	立積	
	(m)	A (m2)	A (m2)	V (m3)	A (m2)	A (m2)	V (m3)	
NO.4 + 15.643	0.000	0.00	0.00	0.00	3.87	0.00	0.00	NO.4 +11.79
NO.5 + 15.030	19.387	0.00	0.00	0.00	4.29	4.08	79.10	
NO.5 + 17.350	2.320	0.00	0.00	0.00	4.29	4.29	9.95	NO.5 +15.03
			洪水吐工土工で計上					
合 計	21.707			0.00			89.05	
				0.0			89.1	

盛土3 $2.5 \leq B < 4.0\text{m}$ $V = 97.8 \text{ m}^3$
 盛土4 $4.0\text{m} \leq B$ $V = 0.0 \text{ m}^3$

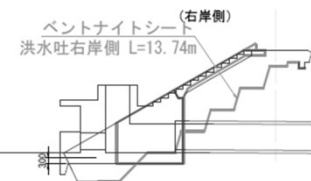
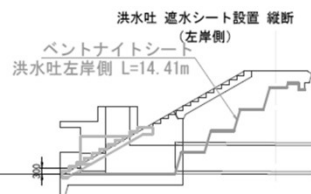
断面	距 離 (m)	盛土3 $2.5 \leq B < 4.0\text{m}$			盛土4 $4.0\text{m} \leq B$			備 考
		面積	平均面積	立積	面積	平均面積	立積	
		A (m ²)	A (m ²)	V (m ³)	A (m ²)	A (m ²)	V (m ³)	
N0.4 + 15.643	0.000	5.48	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	N0.4 +11.79
N0.5 + 15.030	19.387	3.72	4.60	89.18	0.00	0.00	0.00	
N0.5 + 17.350	2.320	3.72	3.72	8.63	0.00	0.00	0.00	N0.5 +15.03
合 計	21.707			97.81			0.00	
				97.8			0.0	

盛土法面整形1 $A = 212.3 \text{ m}^2$
 盛土法面整形2 $A = 13.1 \text{ m}^2$

断面	距 離 (m)	盛土法面整形1			盛土法面整形2			備 考
		長さ	平均長	面積	長さ	平均長	面積	
		L (m)	L (m)	A (m ²)	L (m)	L (m)	A (m ²)	
N0.4 + 15.643	0.000	9.78	0.00	0.00	1.08	0.00	0.00	N0.4 +11.79
N0.5 + 15.030	19.387	9.78	9.78	189.60	0.22	0.65	12.60	
N0.5 + 17.350	2.320	9.78	9.78	22.69	0.22	0.22	0.51	N0.5 +15.03
合 計	21.707			212.29			13.11	
				212.3			13.1	

ベントナイトシート $A = 355.3 \text{ m}^2$

断面	距 離 (m)	ベントナイトシート			備 考
		長さ	平均長	面積	
		L (m)	L (m)	A (m ²)	
N0.4 + 15.643	0.000	13.74	0.00	0.00	N0.4 +11.79
N0.5 + 15.030	19.387	13.74	13.74	266.38	
N0.5 + 17.350	2.320	13.74	13.74	31.88	N0.5 +15.03
N0.5 + 18.500	1.150	14.41	0.00	0.00	洪水吐左岸布設面より
N0.6 + 2.550	4.050	13.74	14.08	57.02	洪水吐右岸布設面より
合 計	26.907			355.28	
				355.3	



(9 / 52)

[illegible]

(10 / 52)

(10 / 52)

[illegible]

(11 / 52)

[illegible]

洪水吐土工数量計算表

掘削（表土はぎ） V= 39.0 m3

基面整正 A= 36.3 m2

掘削（床掘） V= 262.3 m3

埋戻し1（構造物周辺, B=0.5m） V= 45.3 m3

	距離 m	掘削 （表土はぎ）			掘削 （床掘）			基面整正			埋戻し1 （構造物周辺, B=0.5m）			適 用	
		面積	平均面積	立積	面積	平均面積	立積	延長	平均延長	面積	面積	平均面積	立積		
		A (m2)	A (m2)	V (m3)	A (m2)	A (m2)	V (m3)	L (m)	L (m)	A (m2)	A (m2)	A (m2)	V (m3)		
測点 +	0.000	0.000	2.07	0.00	0.00	8.74	0.00	0.00	2.10	0.00	0.00	1.04	0.00	0.00	
+	1.000	1.000	1.95	2.01	2.01	6.05	7.40	7.40	2.10	2.10	2.10	1.19	1.12	1.12	
+	2.200	1.200	1.98	1.97	2.36	6.69	6.37	7.64	2.10	2.10	2.52	1.42	1.31	1.57	
+	2.750	0.550	2.16	2.07	1.14	7.60	7.15	3.93	2.65	2.38	1.31	1.47	1.45	0.80	
+	4.240	1.490	2.19	2.18	3.25	8.52	8.06	12.01	2.65	2.65	3.95	1.60	1.54	2.29	
+	4.960	0.720	2.21	2.20	1.58	8.95	8.74	6.29	2.65	2.65	1.91	1.66	1.63	1.17	
+	5.460	0.500	2.22	2.22	1.11	9.24	9.10	4.55	2.65	2.65	1.33	1.70	1.68	0.84	
+	5.860	0.400	2.29	2.26	0.90	10.94	10.09	4.04	2.65	2.65	1.06	1.93	1.82	0.73	
+	8.740	2.880	1.81	2.05	5.90	14.71	12.83	36.95	1.46	2.06	5.93	2.71	2.32	6.68	
+	10.240	1.500	2.05	1.93	2.90	19.78	17.25	25.88	1.46	1.46	2.19	2.71	2.71	4.07	
+	11.740	1.500	2.08	2.07	3.11	20.44	20.11	30.17	1.46	1.46	2.19	2.71	2.71	4.07	
+	16.397	4.657	1.85	1.97	9.17	15.54	17.99	83.78	1.46	1.46	6.80	2.71	2.71	12.62	
+	19.840	3.443	1.39	1.62	5.58	7.48	11.51	39.63	1.46	1.46	5.03	2.71	2.71	9.33	
合 計	19.840			39.01			262.27			36.32			45.29		
			改め	39.0		改め	262.3		改め	36.3		改め	45.3		

洪水吐土工数量計算表

埋戻し2 (B < 1.0m) V= 25.1 m3

埋戻し4 (2.5m ≤ B < 4.0m) V= 0.0 m3

埋戻し3 (1.0m ≤ B < 2.5m) V= 37.9 m3

埋戻し5 (4.0m ≤ B) V= 136.2 m3

	距離 m	埋戻し2			埋戻し3			埋戻し4			埋戻し5			適 用	
		(B < 1.0m)			(1.0m ≤ B < 2.5m)			(2.5m ≤ B < 4.0m)			(4.0m ≤ B)				
		面積	平均面積	立積	面積	平均面積	立積	面積	平均面積	立積	面積	平均面積	立積		
		A (m2)	A (m2)	V (m3)	A (m2)	A (m2)	V (m3)	A (m2)	A (m2)	V (m3)	A (m2)	A (m2)	V (m3)		
測点 + 0.000	0.000	0.00	0.00	0.00	3.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
+ 1.000	1.000	0.00	0.00	0.00	2.40	2.74	2.74	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
+ 2.200	1.200	0.02	0.01	0.01	4.34	3.37	4.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
+ 2.750	0.550	0.00	0.01	0.01	4.65	4.50	2.48	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
+ 4.240	1.490	0.00	0.00	0.00	5.16	4.91	7.32	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
+ 4.960	0.720	0.00	0.00	0.00	5.40	5.28	3.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
+ 5.460	0.500	0.00	0.00	0.00	5.57	5.49	2.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
+ 5.860	0.400	0.00	0.00	0.00	6.54	6.06	2.42	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
+ 8.740	2.880	2.00	1.00	2.88	0.23	3.39	9.76	0.00	0.00	0.00	9.52	4.76	13.71		
+ 10.240	1.500	2.00	2.00	3.00	0.23	0.23	0.35	0.00	0.00	0.00	14.84	12.18	18.27		
+ 11.740	1.500	2.00	2.00	3.00	0.23	0.23	0.35	0.00	0.00	0.00	15.52	15.18	22.77		
+ 16.397	4.657	2.00	2.00	9.31	0.23	0.23	1.07	0.00	0.00	0.00	10.39	12.96	60.35		
+ 19.840	3.443	2.00	2.00	6.89	0.23	0.23	0.79	0.00	0.00	0.00	1.86	6.13	21.11		
合 計	19.840			25.10			37.87			0.00			136.21		
			改め	25.1		改め	37.9		改め	0.0		改め	136.2		

左岸洪水吐土工数量計算表

盛土1 (構造物周辺, B=0.5m) V= 8.5 m3

盛土3 (1.0m ≤ B < 2.5m) V= 19.5 m3

盛土2 (B < 1.0m) V= 0.7 m3

盛土4 (2.5m ≤ B < 4.0m) V= 14.7 m3

	距離 m	盛土1			盛土2			盛土3			盛土4			適 用	
		(構造物周辺, B=0.5m)			(B < 1.0m)			(1.0m ≤ B < 2.5m)			(2.5m ≤ B < 4.0m)				
		面積	平均面積	立積	面積	平均面積	立積	面積	平均面積	立積	面積	平均面積	立積		
		A (m2)	A (m2)	V (m3)	A (m2)	A (m2)	V (m3)	A (m2)	A (m2)	V (m3)	A (m2)	A (m2)	V (m3)		
測点 + 0.000	0.000	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
+ 1.000	1.000	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
+ 2.200	1.200	0.23	0.12	0.14	0.09	0.05	0.06	0.45	0.23	0.28	0.00	0.00	0.00		
+ 2.750	0.550	0.49	0.36	0.20	0.16	0.13	0.07	1.38	0.92	0.51	0.00	0.00	0.00		
+ 4.240	1.490	1.19	0.84	1.25	0.40	0.28	0.42	3.85	2.62	3.90	0.51	0.26	0.39		
+ 4.960	0.720	1.53	1.36	0.98	0.00	0.20	0.14	4.22	4.04	2.91	3.18	1.85	1.33		
+ 5.460	0.500	1.77	1.65	0.83	0.00	0.00	0.00	4.05	4.14	2.07	4.78	3.98	1.99		
+ 5.860	0.400	2.21	1.99	0.80	0.00	0.00	0.00	3.08	3.57	1.43	6.11	5.45	2.18		
+ 8.740	2.880	0.50	1.36	3.92	0.00	0.00	0.00	1.80	2.44	7.03	0.00	3.06	8.81		
+ 10.240	1.500	0.00	0.25	0.38	0.00	0.00	0.00	0.00	0.90	1.35	0.00	0.00	0.00		
+ 11.740	1.500	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
+ 16.397	4.657	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
+ 19.840	3.443	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
合 計	19.840			8.50			0.69			19.48			14.70		
			改め	8.5		改め	0.7		改め	19.5		改め	14.7		

(16 / 52)

(16 / 52)

[illegible]

2 - (5) 洪水吐取水工地盤改良工 数量計算書 (17 / 52)

名 称	略 図 及 び 計 算 式	単 位	数 量
地盤改良工			
地盤改良工(不足土, セメント系固化材, 改良深1.2m, 添加量104kg/m3)	必要土量(堤体工+洪水吐工) 326.33+207.67+271.67+60.56 掘削土量(堤体工+洪水吐工) 114.4+49.4+84.0+262.3 不足土量 866.23-510.10 地盤改良面積 356.13/1.2	= 866.23 m3 = 510.10 m3 = 356.13 m3 = 296.78 m2	296.8
小運搬工(セメント系固化材) ストックヤードから堤体 不整地運搬車 L=150m未満	(104*1.2*296.78)/1000	= 37.0381 ton	37.0

2- (6) 洪水吐取水工 数量集計表

(18 / 52)

[illegible]

(19 / 52)

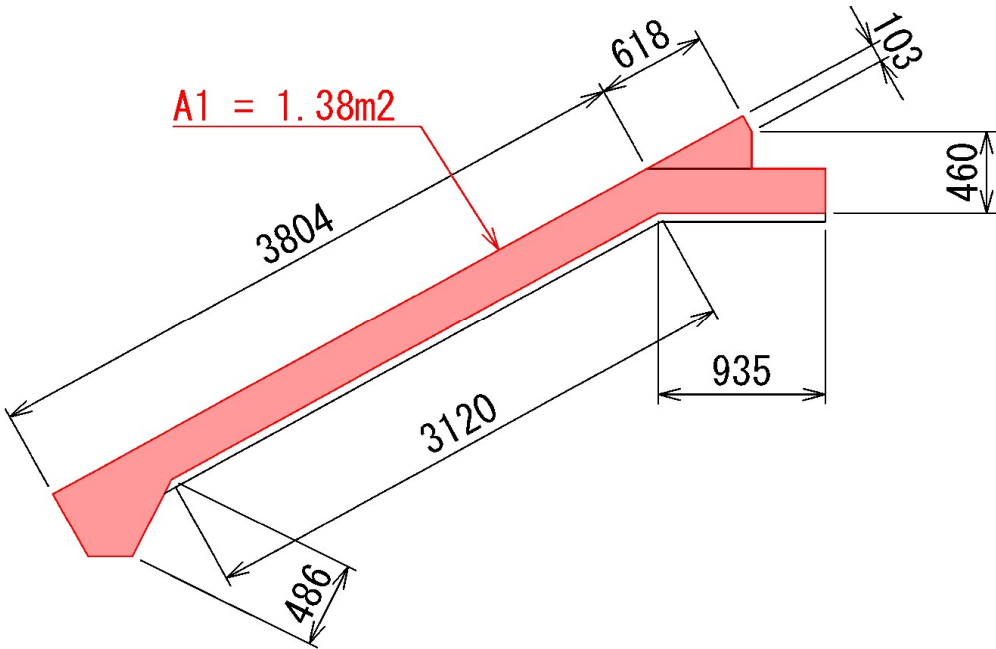
[illegible]

2 - (6) 洪水吐取水工

数量計算書 (20 / 52)

名 称		略 図 及 び 計 算 式		単 位	数 量
洪水吐取水工					
型枠工		$((2.65+5.86-0.15)*2)*0.05$	= 0.836	m2	0.84
(均しコンクリート)					
均しコンクリート工					
(洪水吐呑口+取水工(下部))					
(18-8-25(20))					
洪水吐呑口		$2.00*(5.86-0.15)*0.05$	= 0.571	m3	
取水工(下部)		$0.65*3.16*0.05$	= 0.103	m3	
合計			= 0.674	m3	0.67
型枠工					
(鉄筋コンクリート)					
洪水吐呑口					
外壁(A1~4)		$(10.16+6.34+1.00+0.14)*2$	= 35.280	m2	
内壁(A2~4)		$(6.34+1.00+0.14)*2$	= 14.960	m2	
断面 上流		$1.90*3.61-0.80*0.80$	= 6.220	m2	
カット		$1.90*(0.50+0.52)$	= 1.940	m2	
越流堰		$1.10*(3.11+1.76)-0.80*0.80$	= 4.720	m2	
下流		$1.10*0.02+1.90*3.05-1.26*1.46$	= 3.980	m2	
斜面		$0.25*1.55*2$	= 0.780	m2	
接続部		$1.90*0.40$	= 0.760	m2	
取水工(下部) 外壁		本体工で計上			
断面 上下流		$1.90*(1.89+3.05)$	= 9.390	m2	
斜面		$0.55*3.11$	= 1.710	m2	
接続部		$0.55*0.40$	= 0.220	m2	
合計			= 79.960	m2	79.96
鉄筋コンクリート工					
(21-8-25(20))					
洪水吐呑口	A1	$10.16*1.90$	= 19.300	m3	
	A2	$6.34*0.40*2$	= 5.070	m3	
	A3	$1.00*0.25*2$	= 0.500	m3	
	A4	$0.14*0.25*2$	= 0.070	m3	
開口控除		$0.80*0.80*1.20*-1$	= -0.770	m3	
		$1.26*1.46*0.40*-1$	= -0.740	m3	
取水工(下部)	A5	$8.58*0.55$	= 4.720	m3	
管控除	SGP200A	$\pi/4*0.2^2*(1.21+0.50)*-1$	= -0.050	m3	
	SGP150A	$\pi/4*0.15^2*(0.80+1.20)*-1$	= -0.040	m3	
	SGP50A	$\pi/4*0.05^2*2.52*-3$	= -0.010	m3	
合計			= 28.050	m3	28.05

名 称		略 図 及 び 計 算 式		単 位	数 量
取水工（上部）					
型枠工 （均しコンクリート）		$0.65 + (3.12 + 0.94) \times 2 \times 0.05$	$= 1.056$	m2	1.06
均しコンクリート工 （18-8-25 (20)）		$0.65 \times (3.12 + 0.94) \times 0.05$	$= 0.132$	m3	0.13
型枠工 （鉄筋コンクリート）	A1	1.38×2	$= 2.760$	m2	
	断面	0.55×0.46	$= 0.253$	m2	
	斜面	$0.55 \times (3.80 + 0.62 + 0.10 + 0.49)$	$= 2.756$	m2	
	合計		$= 5.769$	m2	5.77
鉄筋コンクリート工 （21-8-25 (20)）	A1	1.38×0.55	$= 0.759$	m3	0.76
鉄筋加工・組立 D13（SD295）		60.8/1000	$= 0.06080$	ton	0.061



数量計算書 (23 / 52)

Figure 10 consists of two diagrams illustrating the calculation of the area of a stepped cross-section. The left diagram shows a red stepped area with a cyan rectangular area $A_2 = 1.30\text{m}^2$ and a red area $A_1 = 1.48\text{m}^2$. The right diagram shows a blue stepped area with a green area $A_4 = 0.34\text{m}^2$ and a blue area $A_3 = 2.41\text{m}^2$. Dimensions include heights of 2300 and 1700, and widths of 270, 450, and 2883.

2 - (6) 洪水吐取水工

数量計算書 (24 / 52)

名 称	略 図 及 び 計 算 式			単 位	数 量
上部階段					
型枠工 (均しコンクリート)	$(1.90+3.59 \times 2) \times 0.05 = 0.275$			m2	0.28
均しコンクリート工 (18-8-25 (20))	$2.10 \times 3.59 \times 0.05 = 0.377$			m3	0.38
型枠工 (鉄筋コンクリート)					
外壁 (A1, 2)	$(1.28+0.33) \times 2$	=	3.220	m2	
内壁 (A2)	0.33×2	=	0.660	m2	
断面	$1.90 \times (0.25+0.23)$	=	0.912	m2	
斜面	$0.15 \times 3.80 \times 2$	=	1.140	m2	
合計		=	5.932	m2	5.93
鉄筋コンクリート工 (21-8-25 (20))	A1	1.28×1.90	=	2.432	m3
	A2	$0.33 \times 0.15 \times 2$	=	0.099	m3
合計		=	2.531	m3	2.53
鉄筋加工・組立 D13 (SD295)	$132.6/1000$			=	0.13260
				ton	0.133

The diagram shows a stepped concrete structure with a total height of 2000. The top horizontal edge is 3804, and the bottom horizontal edge is 3588. The width of the top step is 250. The area of the top step is labeled A2 = 0.33m2. The area of the main structure is labeled A1 = 1.28m2. The diagram also shows a small triangle with a base of 232 and a height of 232.

2 - (6) 洪水吐取水工

数量計算書 (25 / 52)

名 称	略 図 及 び 計 算 式		単 位	数 量
付帯施設工				
タラップ (VPφ19 樹脂被覆)	2	= 2.00	個	2.0
ため池栓 (φ150, 青銅製, SUS製チェーン, アンカー付き)	2	= 2.00	個	2.0
斜樋管据付 (SGP, φ150)	1	= 1.00	式	1.0
斜樋管据付 (SGP, φ200)	1	= 1.00	式	1.0
空気管据付・溶接 (SGP φ50)	1	= 1.00	式	1.0
手摺設置 (SUS40A, 32A)	1	= 1.00	式	1.0
洪水吐下部階段手摺	1	= 1.00	個	
洪水吐下部手摺	1	= 1.00	個	
洪水吐上部手摺	1	= 1.00	個	
洪水吐上部階段手摺	1	= 1.00	個	

2-(7) 底樋工 数量集計表

(26 / 52)

[illegible]

2 - (7) 底樋工

数量計算書

(27 / 52)

名 称	略 図 及 び 計 算 式	単 位	数 量
底樋工			
型枠工 (基礎コンクリート)	$0.15 \times 2 \times (14.38 - 0.40 - 0.25) = 4.119$	m2	4.12
基礎コンクリート工 (18-8-25 (20))	$1.46 \times 0.15 \times (14.38 - 0.40 - 0.25) = 3.007$	m3	3.01
ボックスカルバート据付工 (B1000×H1200×L2000)	平面縦断面図より $14.38 = 14.380$	m	14.40

2- (8) 産業廃棄物処理工 数量集計表

[illegible]

2 - (8) 産業廃棄物処理工

数量計算書 (29 / 52)

名 称	略 図 及 び 計 算 式	単 位	数 量
産業廃棄物処理工			
小運搬工（廃プラスチック、	洪水吐取水工固化材(1.0ton/袋)使用量		
改良材空袋)	$(74 \times 1.2 \times 296.77) / 1000$	= 26.35 袋	27.0
堤体からストックヤード	改良材空袋重量	= 2.00 kg/袋	
不整地運搬車 L=150m未満	$27 \times 2 / 1000$	= 0.054 ton	0.05
運搬工（廃プラスチック、	1	= 1.00 台	1.0
改良材空袋)			
処分工（廃プラスチック、	27×2	= 54.00 kg	54.00
改良材空袋)			

3-(1) スtockヤード 数量集計表

(30 / 52)

[illegible]

3-(2) 進入路1 数量集計表

(31 / 52)

[illegible]

3 - (2) 進入路 1

数量計算書

(32 / 52)

名 称	略 図 及 び 計 算 式	単 位	数 量
進入路1			
購入土	$38.93/0.9 \times 1.2 = 51.91$	m3	51.9
路体盛土工 (B ≥ 4.0m)	$(0+6.33)/2 \times 5.19 + (6.33+0)/2 \times 7.11 = 38.93$	m3	38.9
暗渠排水管据付・撤去工 (φ 300mm)	図測 = 12.000	m	12.00

3-(3) 工事用道路 数量集計表

(33 / 52)

[illegible]

名 称	略 図 及 び 計 算 式	単 位	数 量
進入路1			
購入土	$((1.82 \times 57.88) + 53.4) / 0.9 \times 1.2 = 211.66$	m3	211.7
路体盛土工 (2.5 ≤ B < 4.0m)	$(1.82 \times 57.88) + 53.4 = 158.74$	m3	158.7

3-(4) 施工ヤード 数量集計表

(35 / 52)

[illegible]

名 称	略 図 及 び 計 算 式	単 位	数 量
施工ヤード			
小運搬工（セメント系固化材） 不整地運搬車 L=150m未満	セメント系固化材添加量 104kg/m3 $201.50 \times 1.0 = 201.50$	m3	
	$201.50 \times 104 / 1000 = 20.9560$	ton	20.960
地盤改良工（セメント系固化材、 改良深1.0m、添加量104kg/m3）	図測 $= 201.50$	m2	201.5
敷鉄板設置・撤去工	図測 $= 598.00$	m2	598.0

3-(5) 仮締切排水工 数量集計表

(37 / 52)

[illegible]

3 - (5) 仮締切排水工

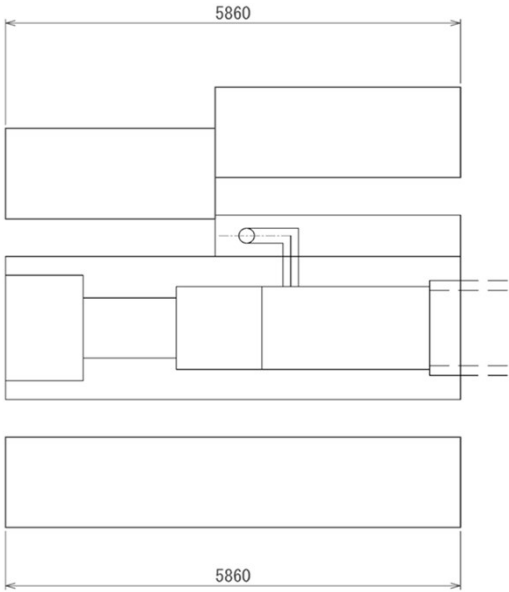
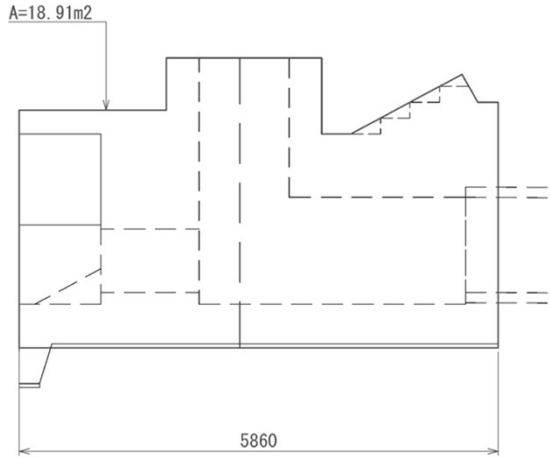
数量計算書 (38 / 52)

名 称	略 図 及 び 計 算 式		単 位	数 量
仮締切排水工				
締切盛土工	$(1.0+3.0) \times 1.0 / 2 \times 70$	= 140.00	m3	140.0
排水用釜場設置工	2	= 2.00	箇所	2.0
排水用釜場撤去工	2	= 2.00	箇所	2.0
排水ポンプ据付撤去工	2	= 2.00	箇所	2.0
排水ポンプ運転工	1	= 1.00	箇所	1.0

3-(6) 足場工 数量集計表

(39 / 52)

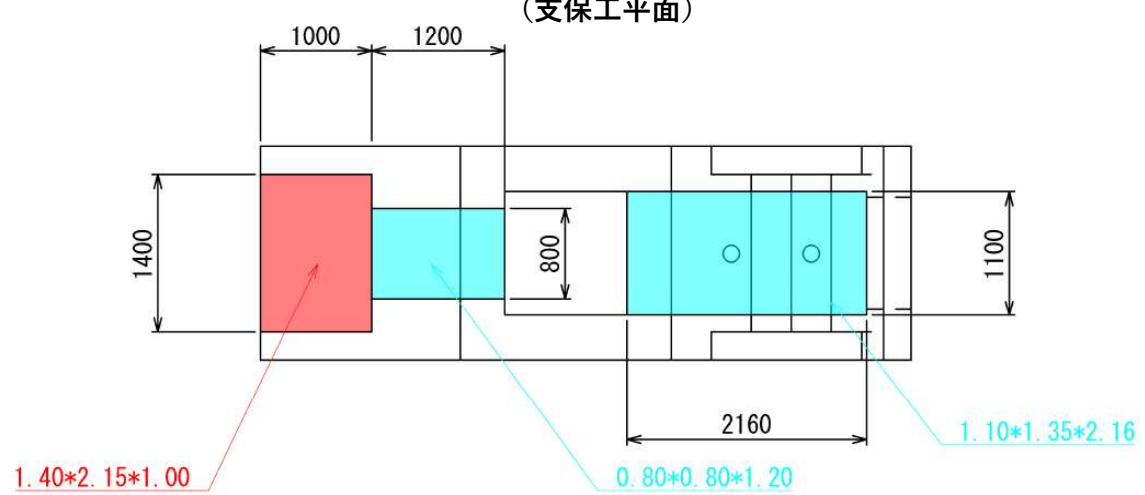
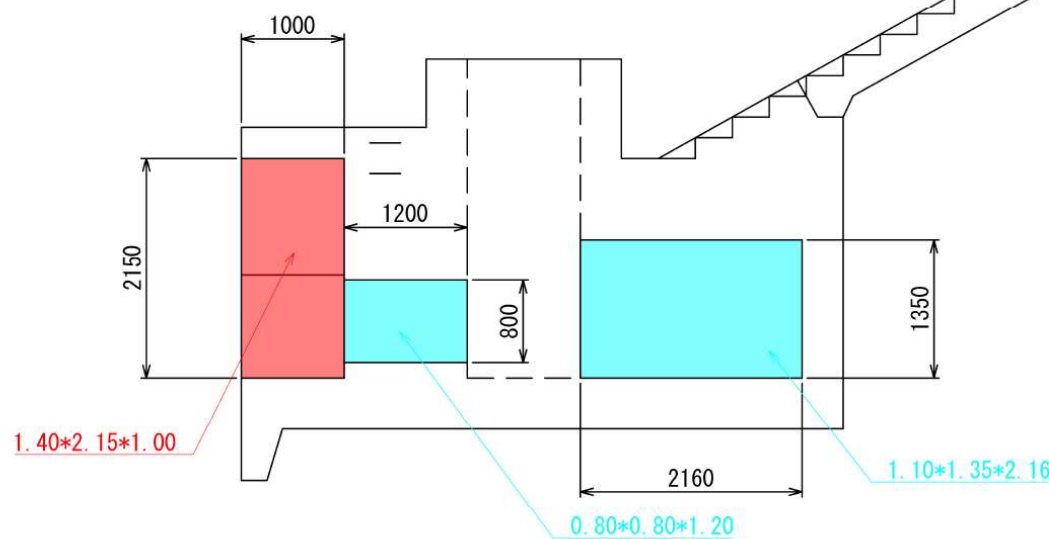
[illegible]

名 称	略 図 及 び 計 算 式	単 位	数 量
足場工 足場工（洪水吐取水工）	$18.91 \times 2 = 38.00$	掛m2	38.0
洪水吐取水工 足場工数量図 (足場工平面)  (足場工縦断) 			

3- (7) 支保工 数量集計表

(41 / 52)

[illegible]

名 称	略 図 及 び 計 算 式	単 位	数 量
支保工 支保工 (ハ イ 特 殊 - ト 小 規 模)	$1.4 \times 2.15 \times 1.00 + 0.80 \times 0.80 \times 1.20$ $+ 1.1 \times 1.35 \times 2.16 = 6.99$	空m3	7.0
洪水吐取水工 足場工数量図 (支保工平面)  (支保工縦断) 			

3-(8) 埋立用仮設道路工 数量集計表

(43 / 52)

[illegible]

3-(9) 進入路撤去工 数量集計表

(44 / 52)

[illegible]

数量計算書 (45 / 52)

名 称	略 図 及 び 計 算 式			単 位	数 量
進入路撤去工					
掘削工 進入路 1	38.9	=	38.9	m3	
合計	38.9	=	38.90	m3	38.9
土砂等運搬工 (ストックヤードから桑田地先, ダンプトラック運搬(10t), L=6.0km)	38.9	=	38.90	m3	38.9

3 - (10) 産業廃棄物処理工 数量集計表

(46 / 52)

[illegible]

3 - (1 0) 産業廃棄物処理工 数量計算書 (47 / 52)

名 称	略 図 及 び 計 算 式	単 位	数 量
産業廃棄物処理工			
小運搬工（廃プラスチック、改良材空袋）	施工ヤード固化材(1ton/袋)使用量		
堤体からストックヤード	$(296.78+201.5)*104*1.0/1000$	= 51.82 袋	
不整地運搬車 L=150m未満	改良材空袋重量	= 2.00 kg/袋	
	$52*2/1000$	= 0.104 ton	0.10
運搬工（廃プラスチック、改良材空袋）	1	= 1.00 台	1.0
処分工（廃プラスチック、改良材空袋）	$52*2$	= 104.00 kg	104.0
運搬工（廃プラスチック、土木シート）	1	= 1.00 台	1.0
処分工（廃プラスチック、土木シート）	土木シート処分重量0.569kg/m2(過年度地区実績より) $1041.8.*0.569$	= 592.8 kg	592.8

3- (11) 安全費 数量集計表

(48 / 52)

[illegible]

4 運搬費 数量集計表

(49 / 52)

[illegible]

4 運搬費

数量計算書

(50 / 52)

名 称	略 図 及 び 計 算 式		単 位	数 量
運搬費				
敷鉄板輸送費	布設面積	ストックヤード	= 930.40	m2
(ストックヤード)		施工ヤード	= 598.00	m2
		進入路1	= 36.90	m2
		工事用道路	= 307.1	m2
合計	930.40+598.00+36.9+307.1	=	1,872.40	m2
敷鉄板重量	1604/(1.524*6.096)	=	172.65	kg/m2
運搬量	1872.4*172.65/1000	=	323.2699	ton
				323.270
敷鉄板輸送費	布設面積	124.50	= 124.50	m2
(桑田地先)				
運搬量	124.50*172.65/1000	=	21.4949	ton
				21.490
小運搬工	布設面積	施工ヤード	= 598.00	m2
(ストックヤード				
から堤体)	運搬量	598.00*172.65/1000	= 103.2447	ton
不整地運搬車 L=150m以下				103.240
小運搬工	布設面積	施工ヤード	= 598.00	m2
(堤体から				
ストックヤード)	運搬量	598.00*172.65/1000	= 103.2447	ton
不整地運搬車 L=150m以下				103.240

5 技術管理費 数量集計表

(51 / 52)

[illegible]

6 一括計上価格 数量集計表

(52 / 52)

[illegible]

令和8年度 防災重点農業用ため池緊急整備事業
越畑台下洪水吐取水工改修工事その2

図 面 目 録

図面 番号	名 称	枚 数	備考
1	位置図	1	
2	計画平面図	1	
3	標準断面図	1	
4	堤体工土工図	1	
5	洪水吐取水工平面縦断図	1	
6	洪水吐取水工横断図	2	
7	洪水吐取水工土工図	3	
8	洪水吐取水工構造図	4	
9	洪水吐取水工配筋図	8	
参考 1	仮設図	1	
計		23	

位 置 図

防災重点農業用ため池緊急整備事業
越畑台地下地区（いすみ市深谷地先）
業務箇所

夷隅農業事務所(分庁舎)

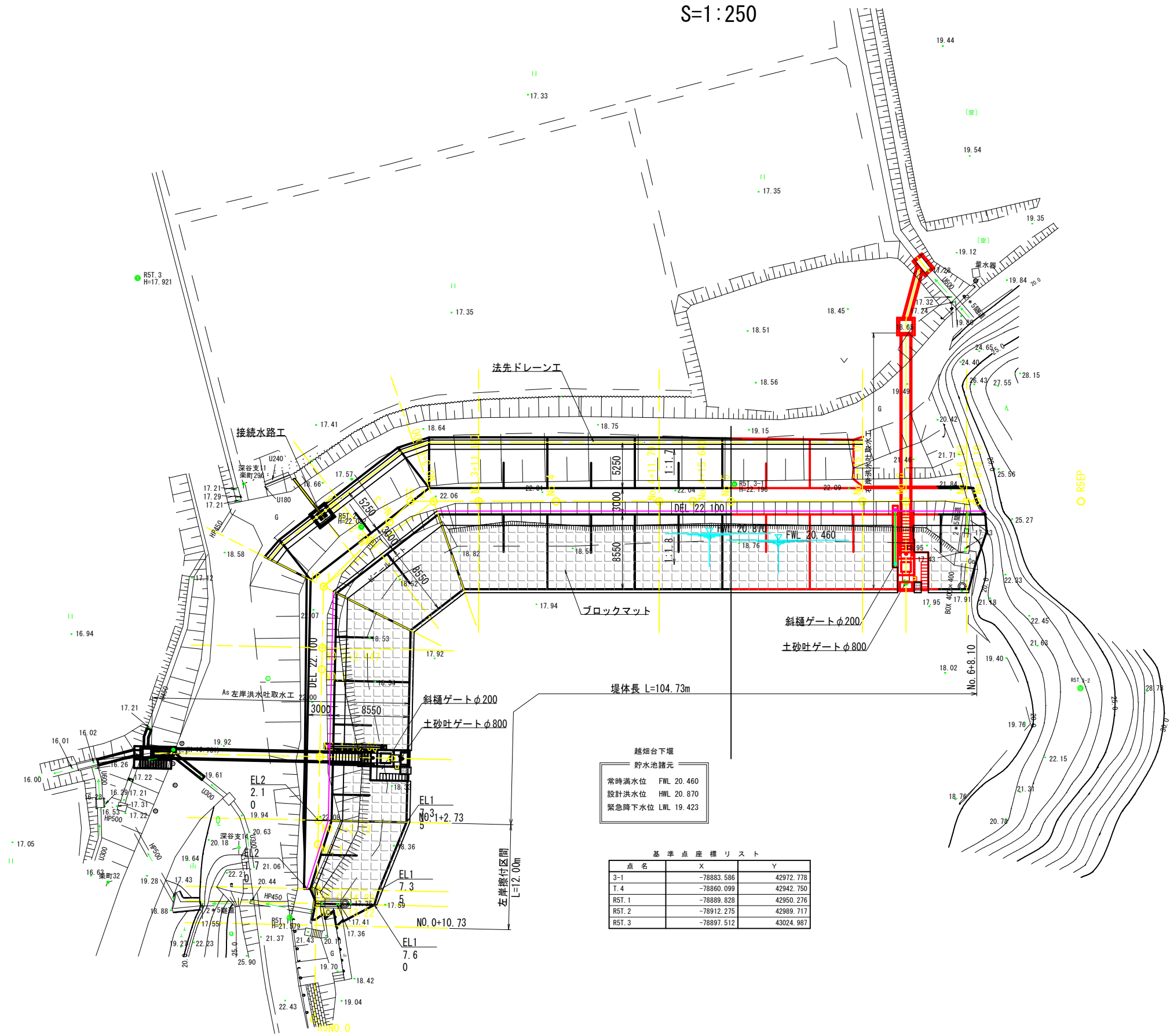
夷隅農業事務所(本所)

[illegible]

業務名	越畑台下洪水吐取水工改修工事その2		
図面名	位置図		
縮尺	任意	図面番号	1
事務所名	夷隅農業事務所		

計画平面図

S=1:250



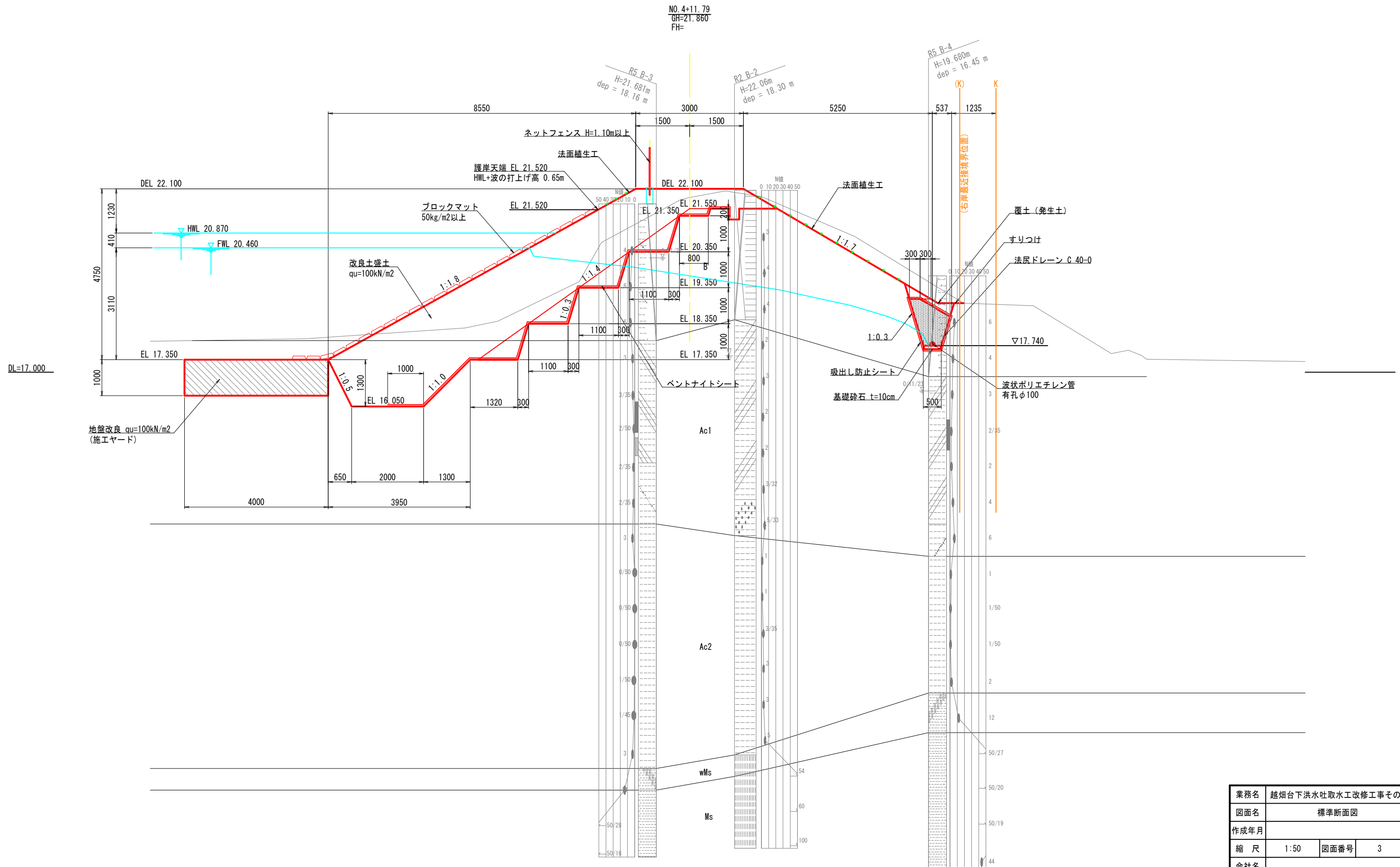
越畑台下堰
貯水池諸元
常時満水位 FWL 20.460
設計洪水位 HWL 20.870
緊急降下水位 LWL 19.423

基準点座標リスト		
点名	X	Y
3-1	-78883.586	42972.778
T.4	-78860.099	42942.750
RST.1	-78889.828	42950.276
RST.2	-78912.275	42989.717
RST.3	-78897.512	43024.987

業務名	越畑台下洪水吐取水工改修工事その2		
図面名	計画平面図		
作成年月			
縮尺	1:250	図面番号	2
会社名			
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所		

標準断面図

S=1:50



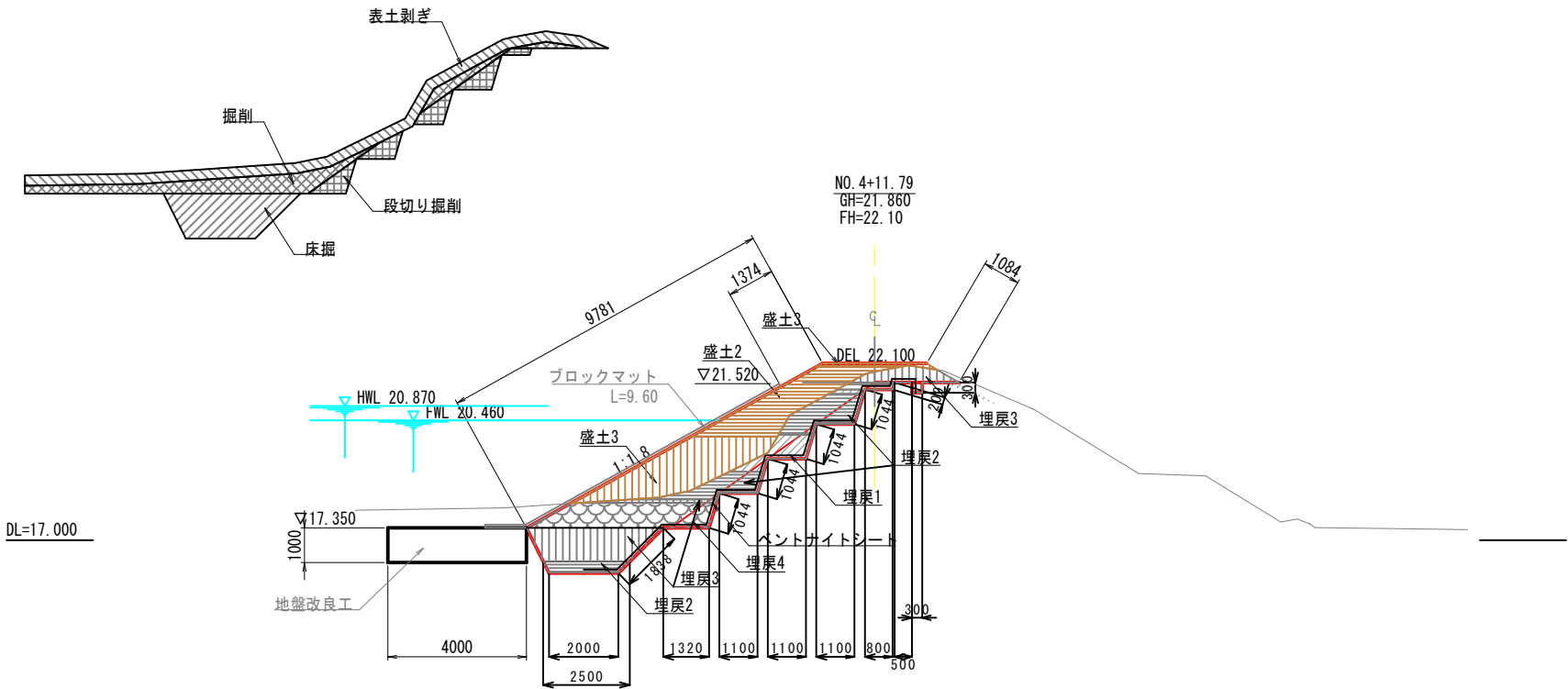
業務名	越畑台下洪水吐取水工改修工事その2		
図面名	標準断面図		
作成年月			
縮 尺	1:50	図面番号	3
会社名			
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所		

土工図

S=1:100

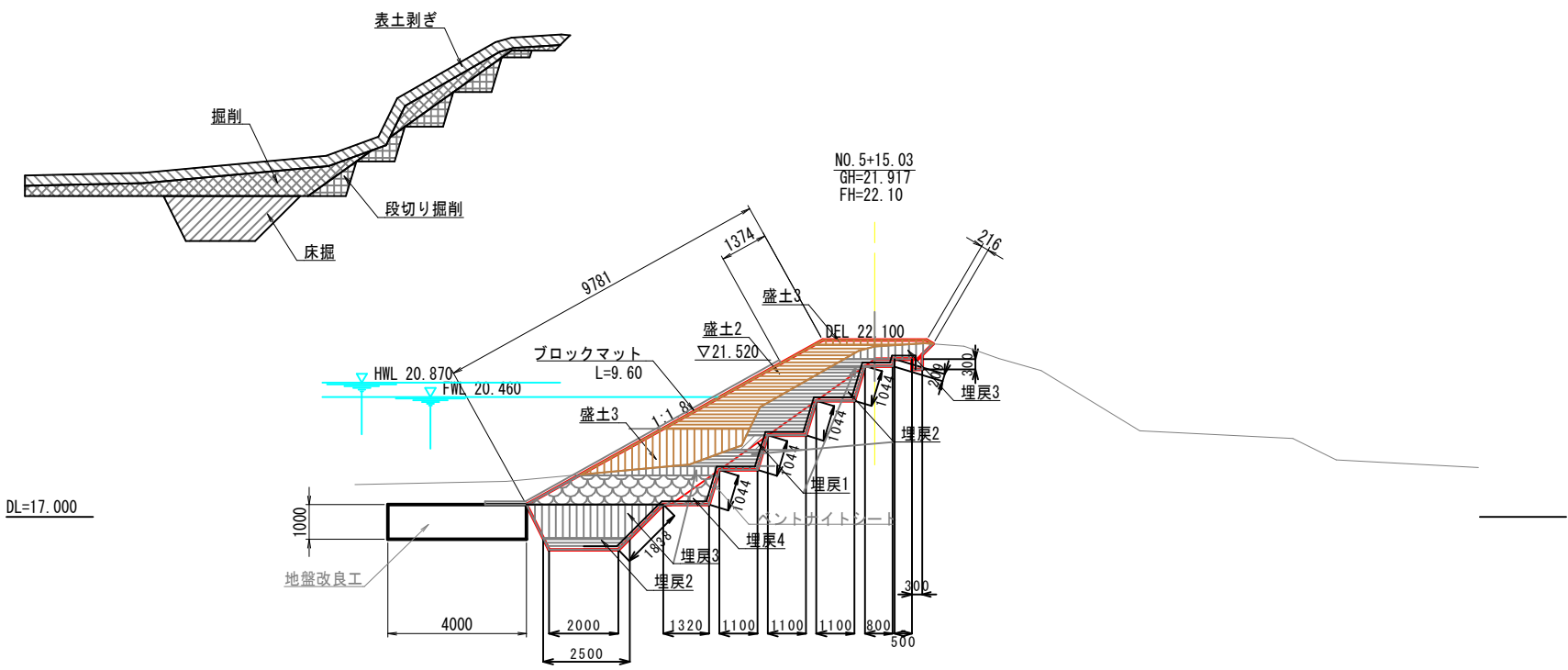
NO. 4+11.79 上流

項目	数量	単位
表土はぎ	5.32	m2
掘削	4.35	m2
段切掘削	2.24	m2
床掘	3.87	m2
段切部法面整形	6.22	m
段切部水平面整形	8.22	m
埋戻1	1.03	m2
埋戻2	3.72	m2
埋戻3	4.53	m2
埋戻4	3.42	m2
盛土1	-	m2
盛土2	3.87	m2
盛土3	5.48	m2
盛土4	-	m2
盛土法面整形(上流)	9.78	m
盛土法面整形(下流)	1.08	m
ペントナイトシート	13.74	m



NO. 5+15.03 上流

項目	数量	単位
表土はぎ	5.06	m2
掘削	6.01	m2
段切掘削	2.30	m2
床掘	3.87	m2
段切部法面整形	6.22	m
段切部水平面整形	8.22	m
埋戻1	0.33	m2
埋戻2	5.05	m2
埋戻3	4.89	m2
埋戻4	3.92	m2
盛土1	-	m2
盛土2	4.29	m2
盛土3	3.72	m2
盛土4	-	m2
盛土法面整形(上流)	9.78	m
盛土法面整形(下流)	0.22	m
ペントナイトシート	13.74	m



凡例

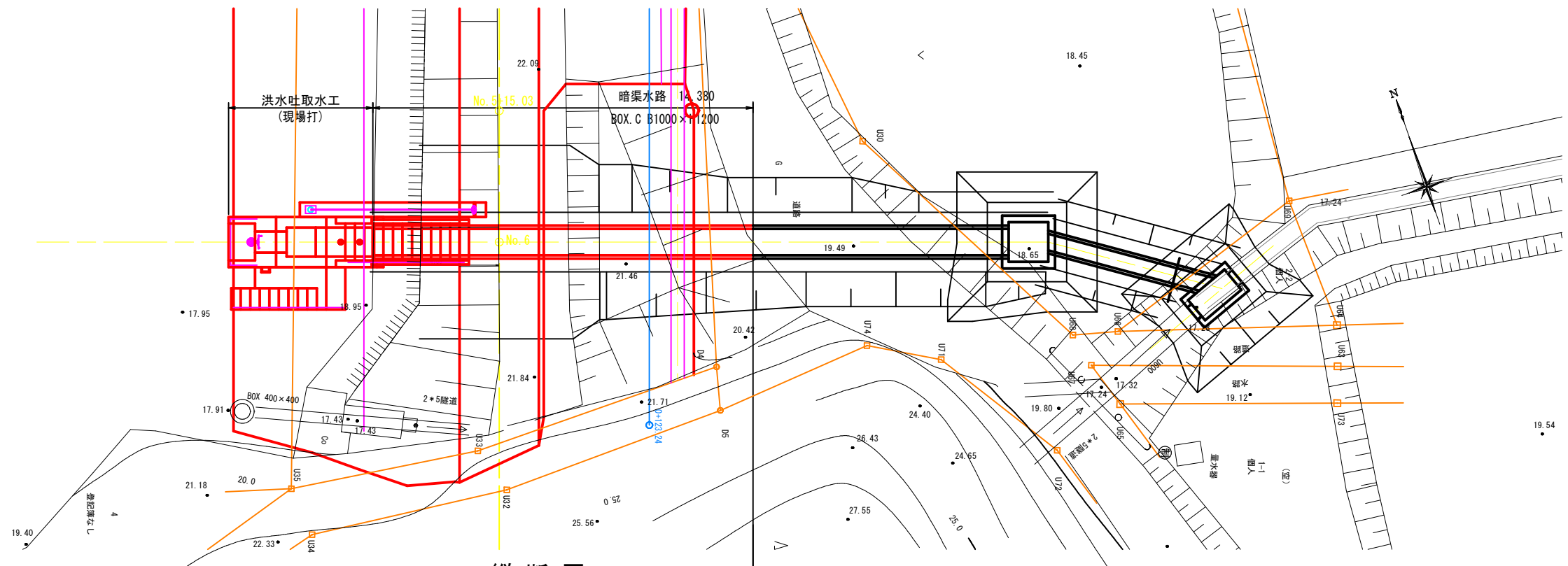
- 表土はぎ
- 床掘
- 掘削
- 段切り掘削
- 埋戻1 (B<1.0m)
- 埋戻2 (1.0m≤B<2.5m)
- 埋戻3 (2.5m≤B<4.0m)
- 埋戻4 (4.0m≤B)
- 盛土1 (B<1.0m)
- 盛土2 (1.0m≤B<2.5m)
- 盛土3 (2.5m≤B<4.0m)
- 盛土4 (4.0m≤B)

※ 測点は計画CLの測点を示し、
()内は測量CLの測点を示す

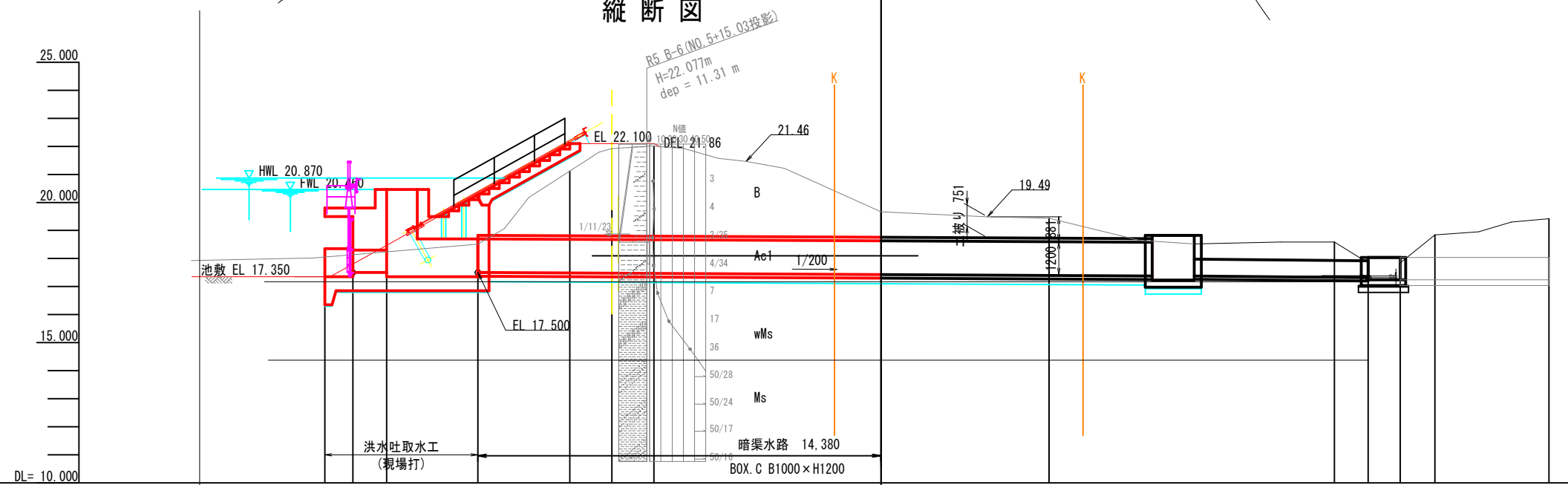
工事名	越畑台下洪水吐取水工改修工事その2		
図面名	土工図		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	4
会社名			
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所		

右岸洪水吐取水工 平面縦断図

平面図



縦断図

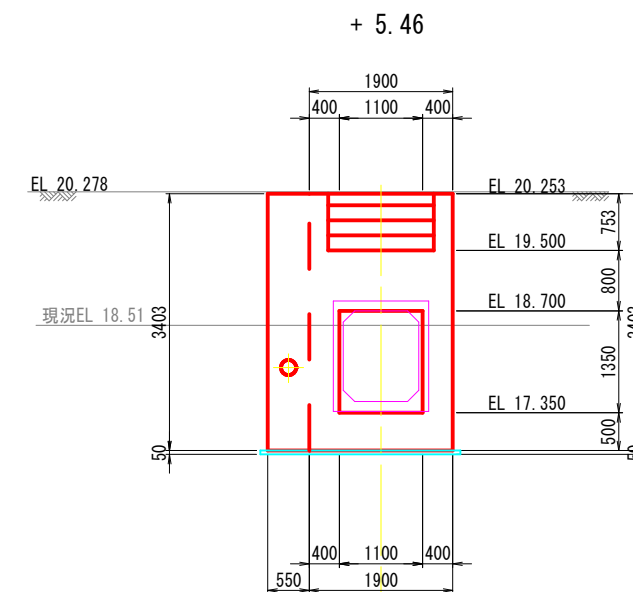
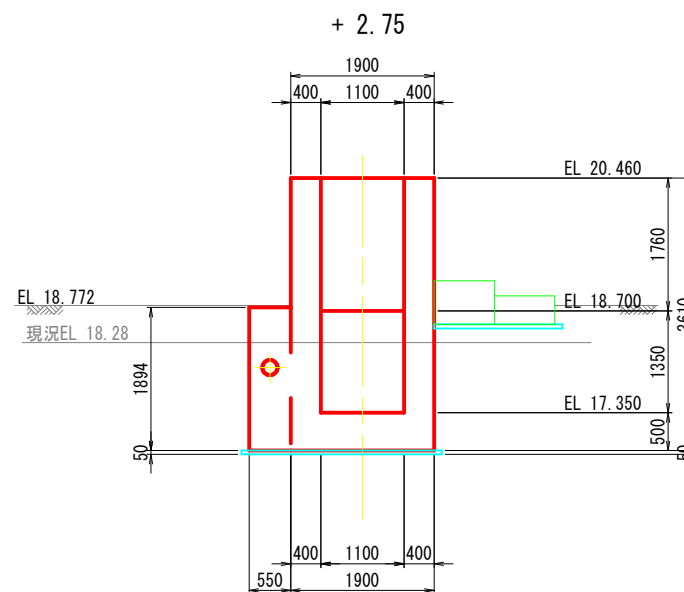
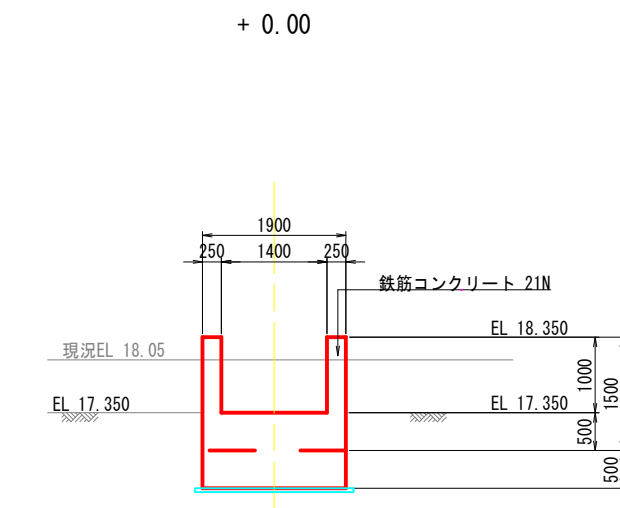
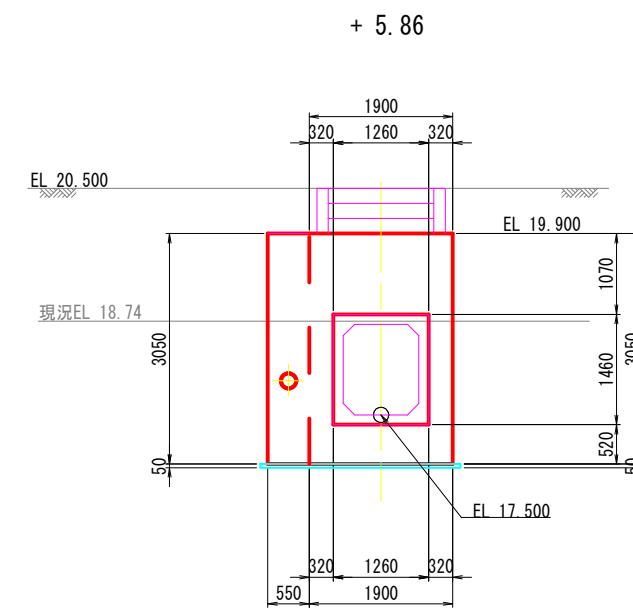
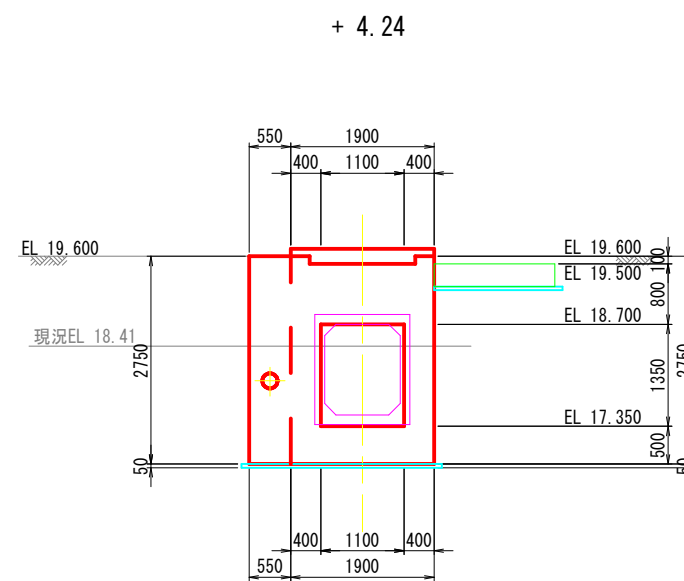
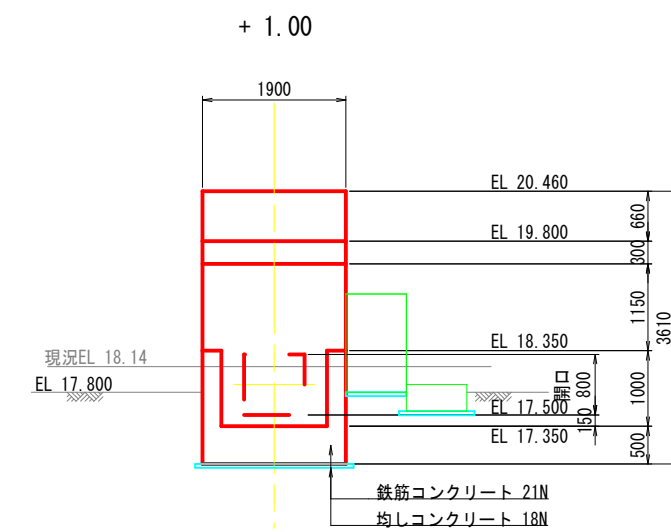
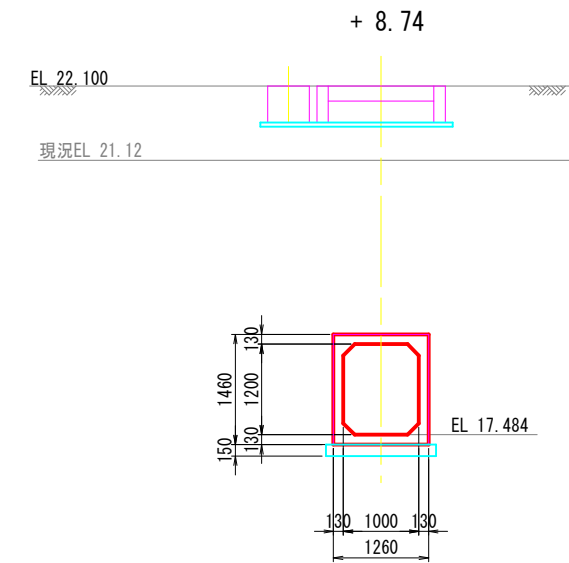
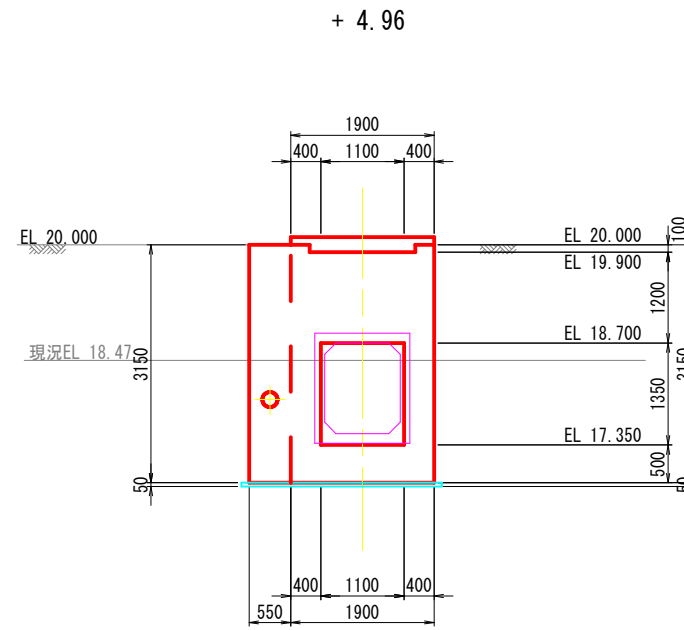
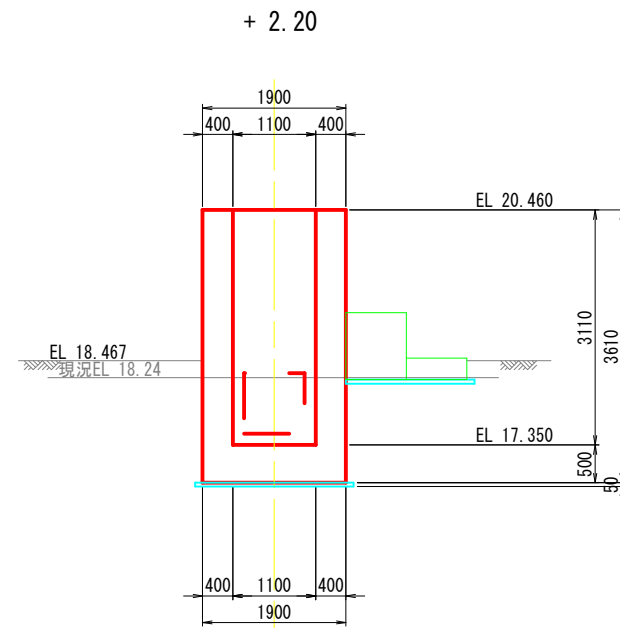


計 画		現 況	
勾配	地盤高	計画高	地盤高
地盤高	計画高	地盤高	単距離
測点	地盤高	単距離	測点

工事名	越畑台下洪水吐取水工改修工事その2		
図面名	右岸洪水吐取水工 平面縦断図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	5
会社名			
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所		

※ 縦断現況線 +0.00 から +31.020 は測量平面図より作図

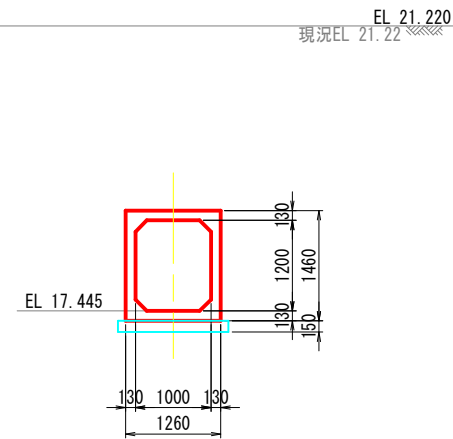
右岸洪水吐取水工 横断図1



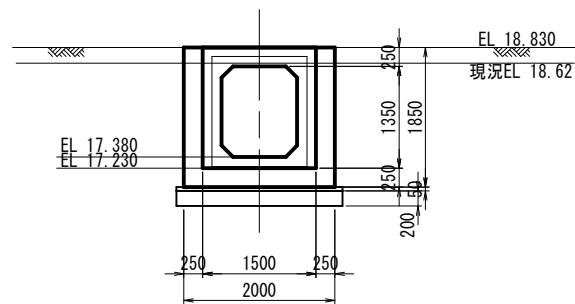
工事名	越畑台下洪水吐取水工改修工事その2		
図面名	右岸洪水吐取水工 横断図1		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	6-1/2
会社名			
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所		

右岸洪水吐取水工 横断図2

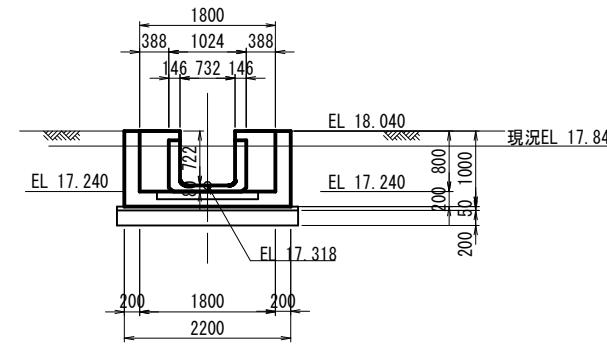
+ 16.397



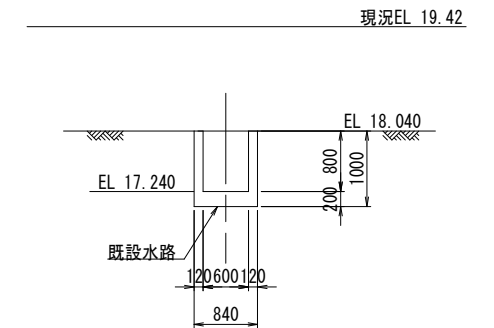
+ 29.52



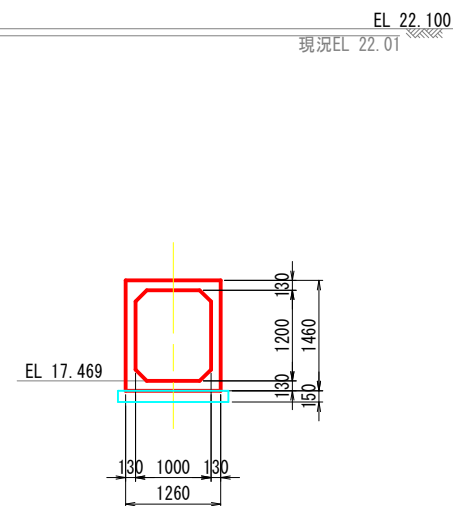
+ 37.22



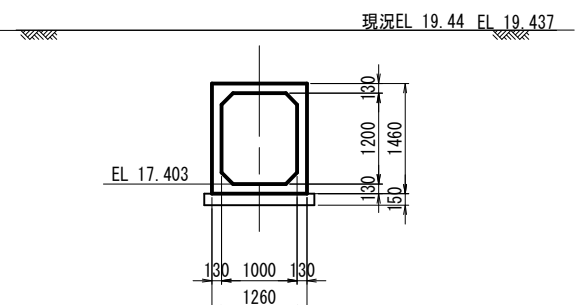
+ 39.60



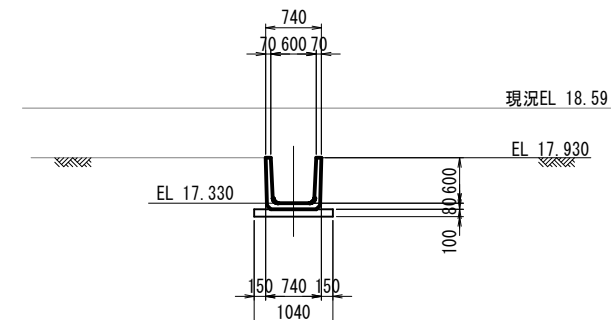
+ 11.74



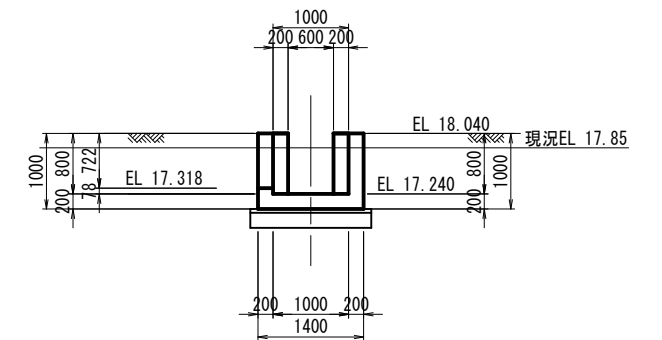
+ 25.84



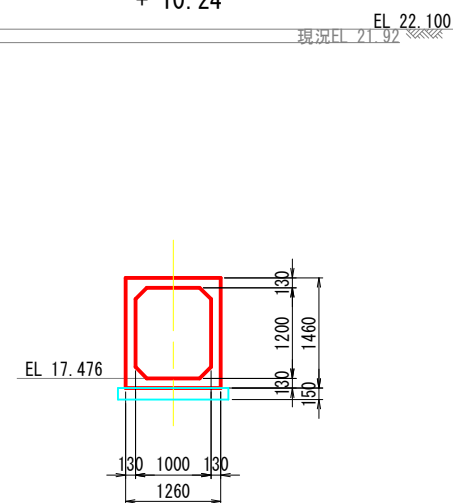
+ 36.02



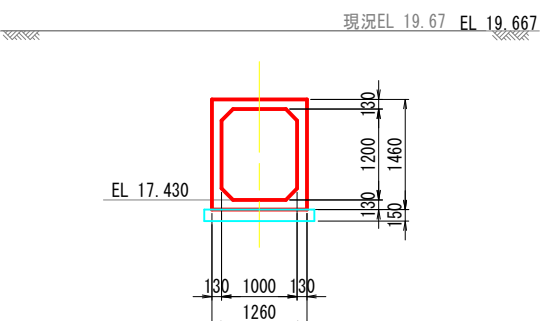
+ 38.362



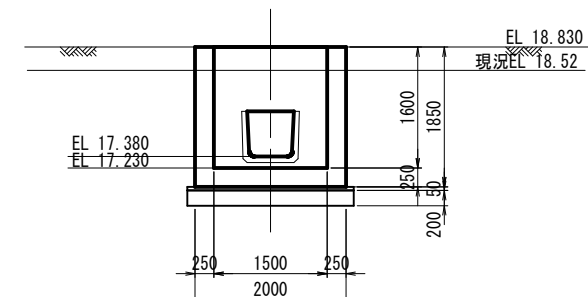
+ 10.24



+ 19.84



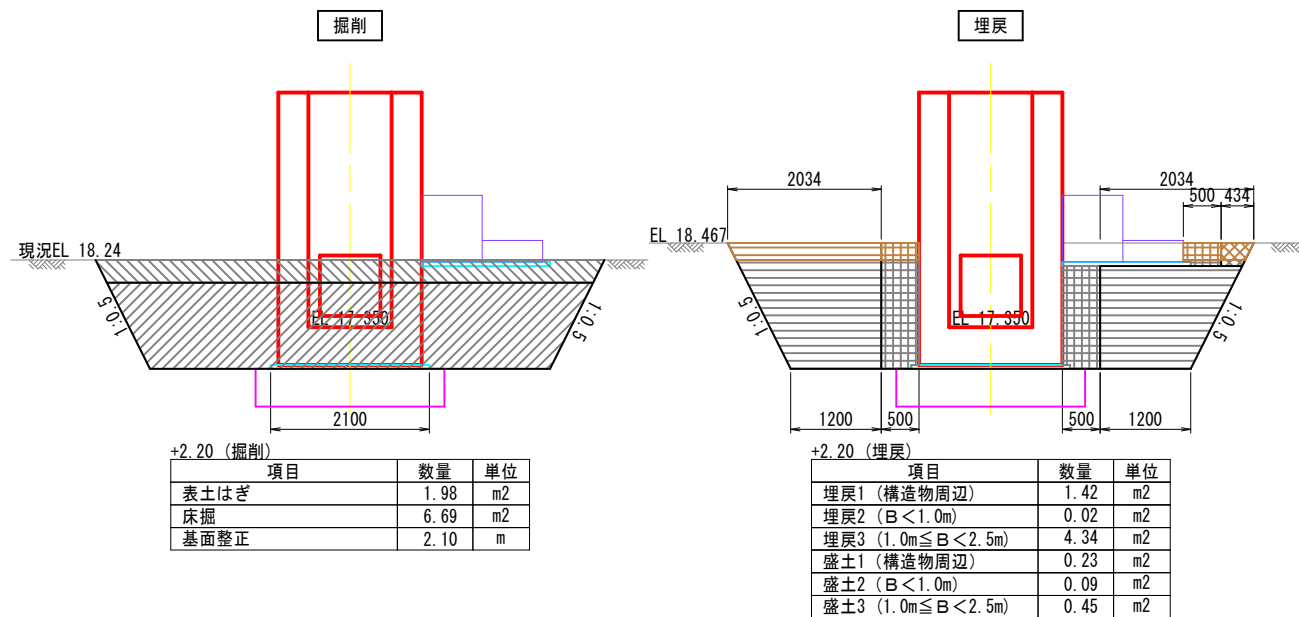
+ 31.02



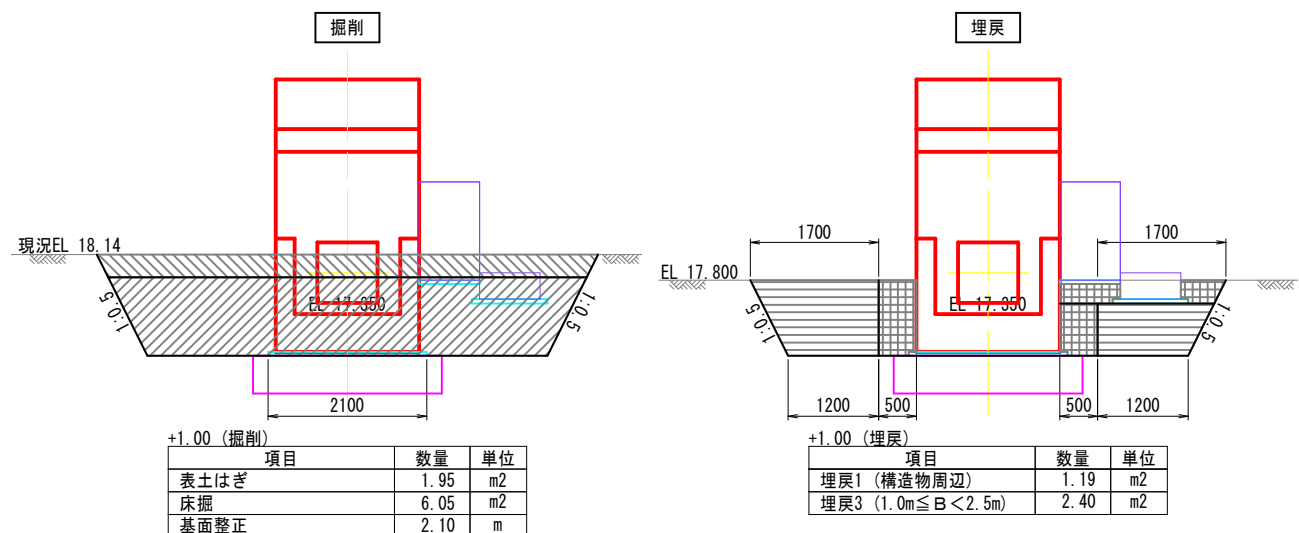
工事名	越畑台下洪水吐取水工改修工事その2		
図面名	右岸洪水吐取水工 横断図2		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	6-2/2
会社名			
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所		

右岸洪水吐取水工 土工図1

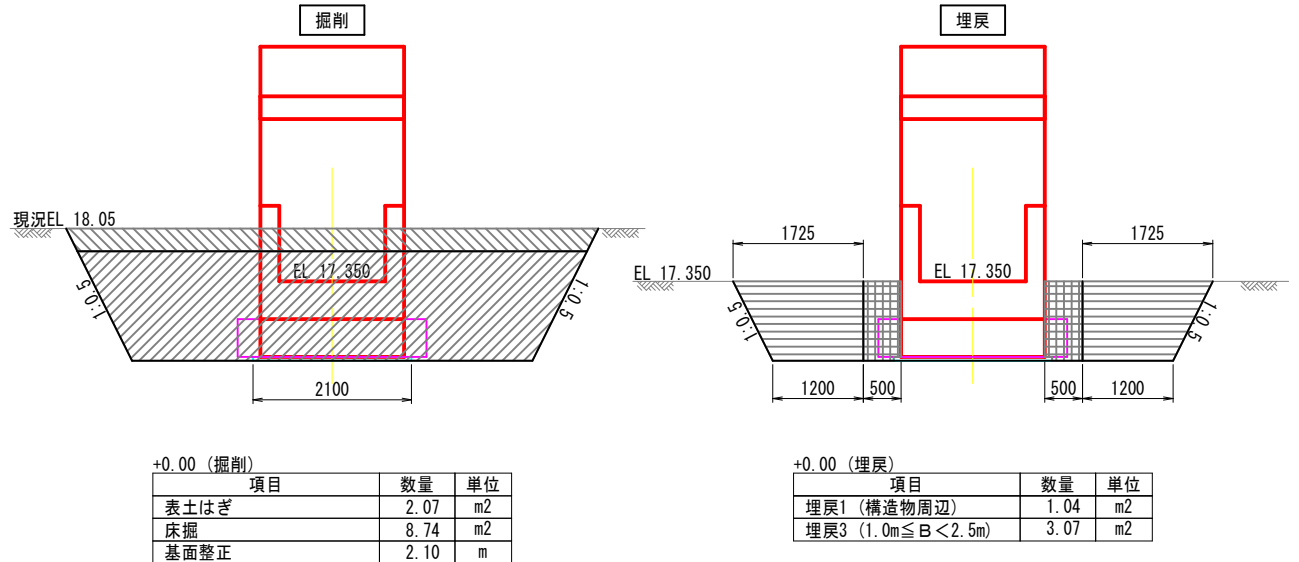
+ 2.20



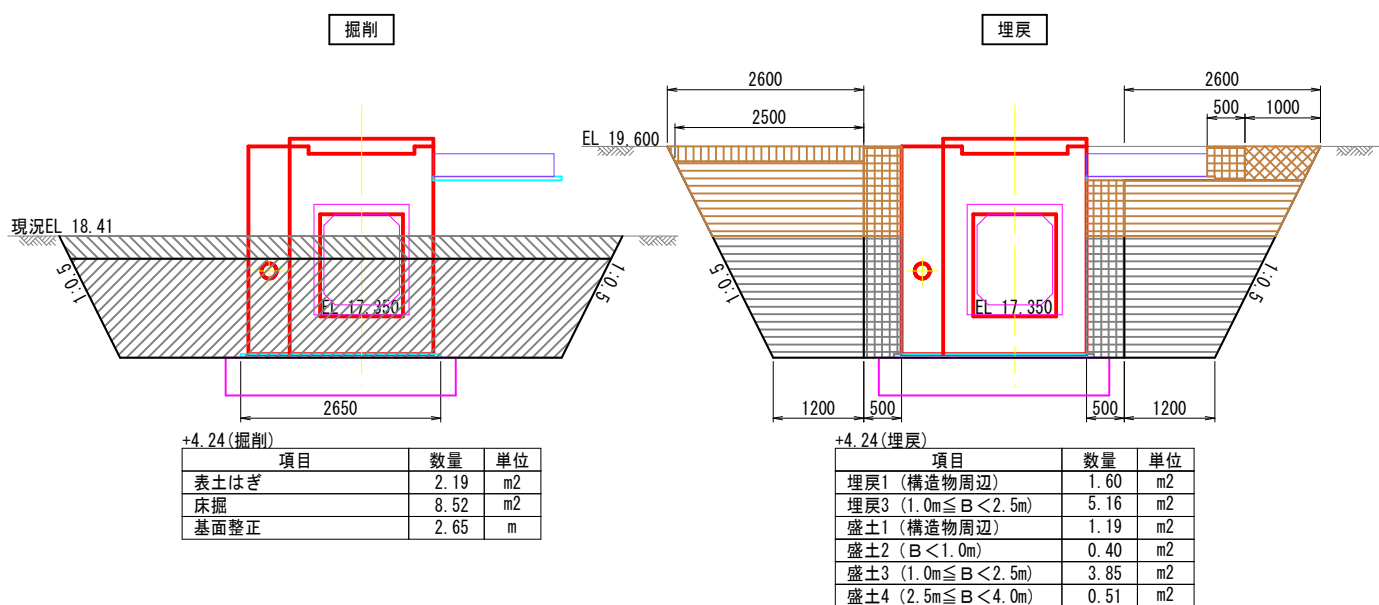
+ 1.00



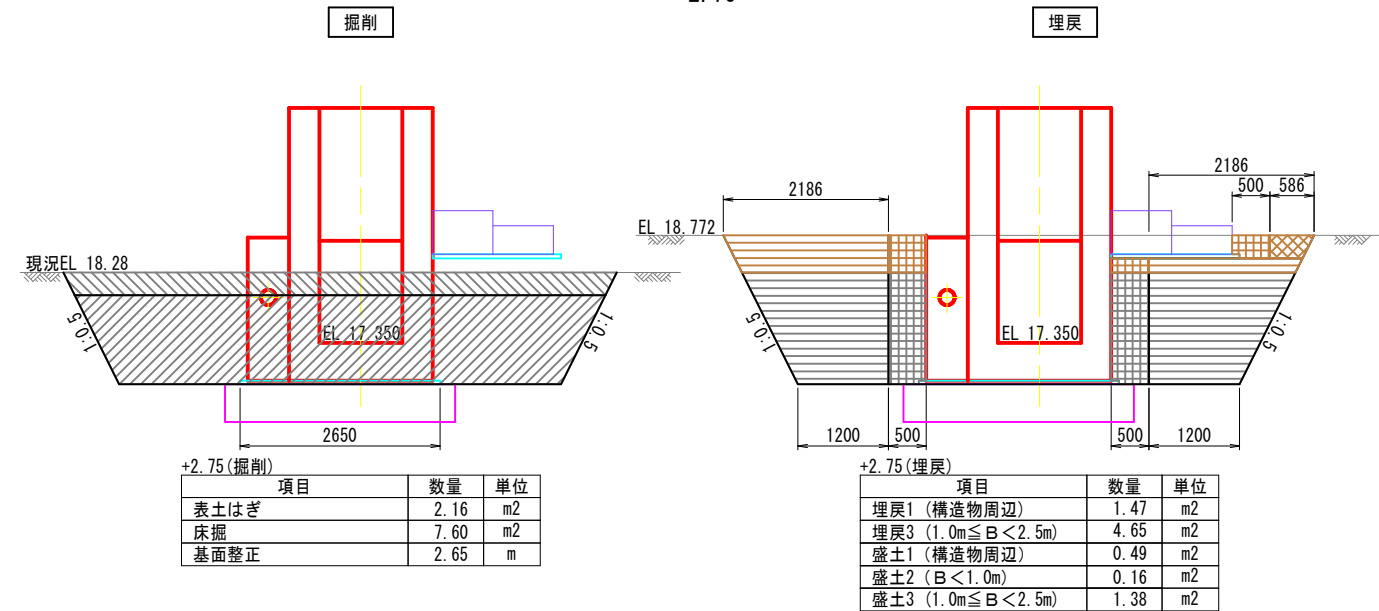
+ 0.00



+ 4.24



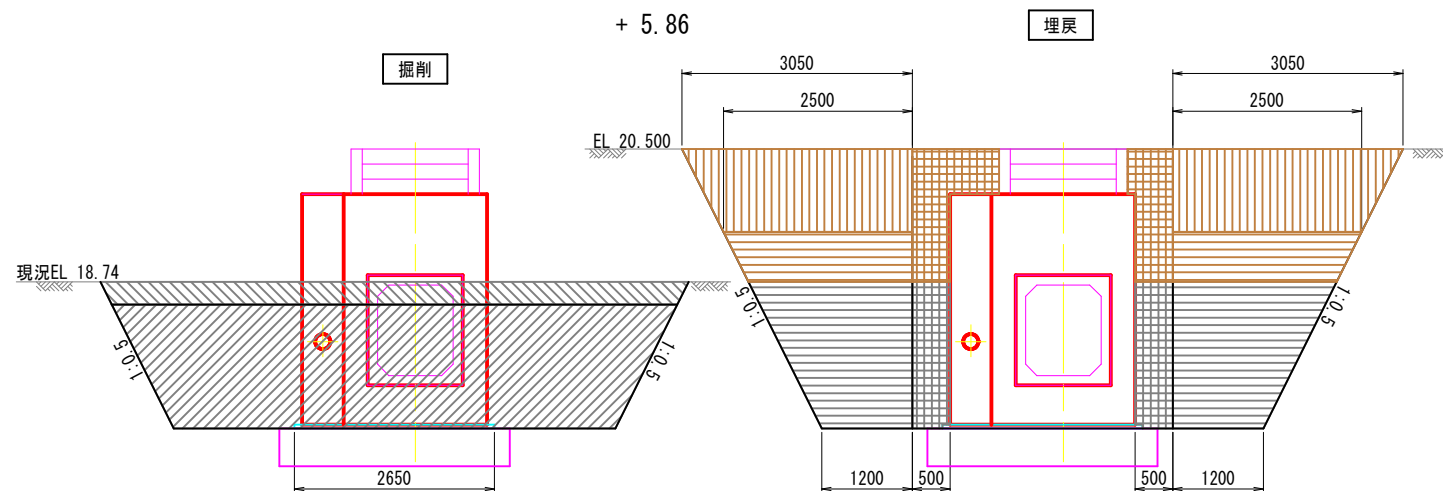
+ 2.75



凡例	
	表土はぎ
	床掘
	埋戻1 (構造物周辺, B<0.5m)
	埋戻2 (B<1.0m)
	埋戻3 (1.0m≤B<2.5m)
	埋戻4 (2.5m≤B<4.0m)
	埋戻5 (4.0m≤B)
	盛土1 (構造物周辺, B<0.5m)
	盛土2 (B<1.0m)
	盛土3 (1.0m≤B<2.5m)
	盛土4 (2.5m≤B<4.0m)
	盛土5 (4.0m≤B)

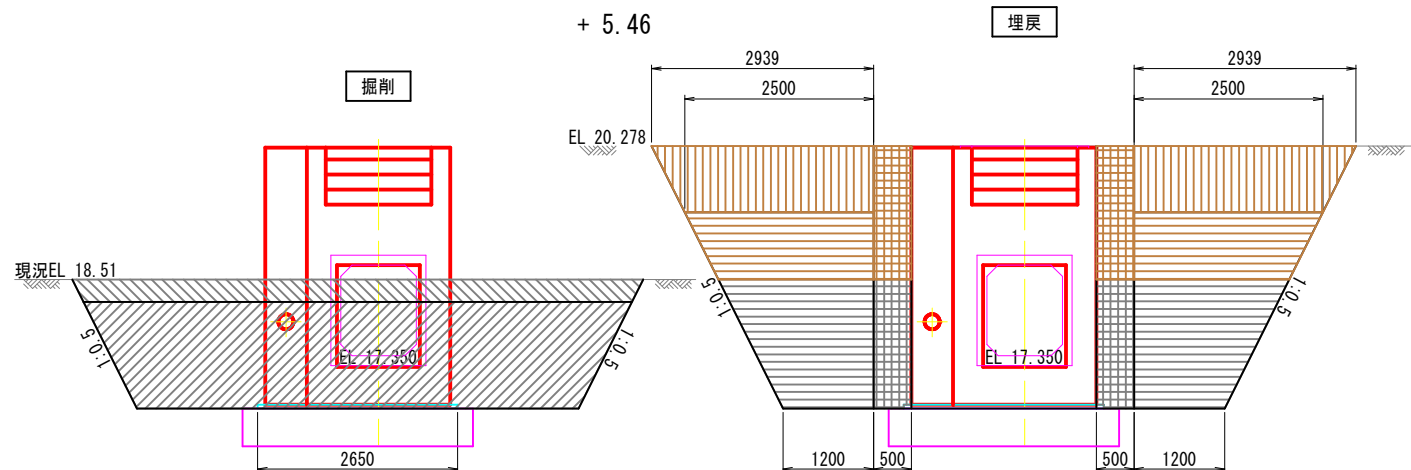
工事名	越畑台下洪水吐取水工改修工事その2		
図面名	右岸洪水吐取水工 土工図1		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	7-1/3
会社名			
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所		

右岸洪水吐取水工 土工図2



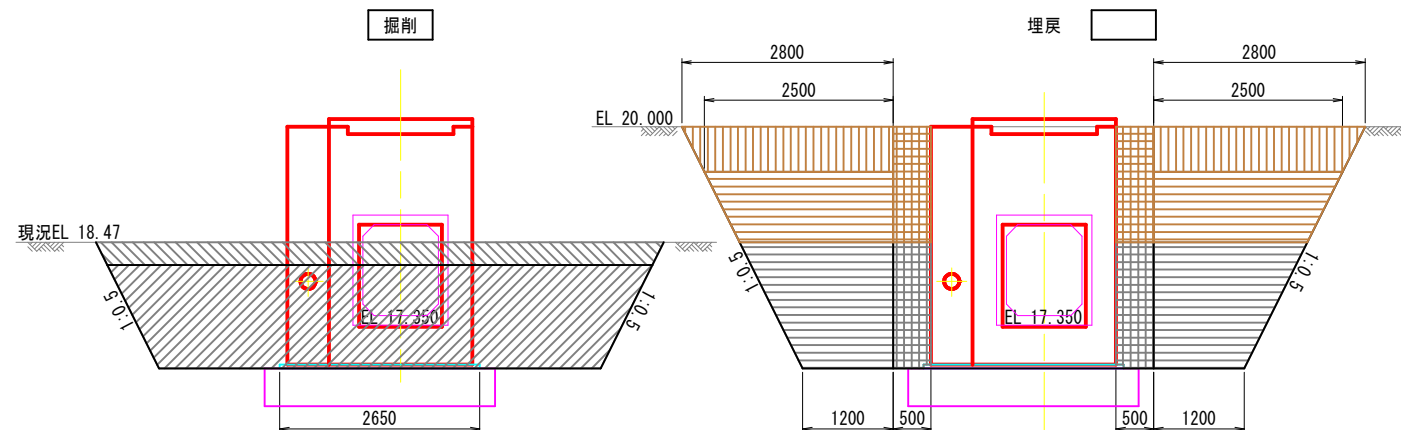
項目	数量	単位
表土はぎ	2.29	m2
床掘	10.94	m2
基面整正	2.65	m

項目	数量	単位
埋戻1 (構造物周辺)	1.93	m2
埋戻3 (1.0m ≤ B < 2.5m)	6.54	m2
盛土1 (構造物周辺)	2.21	m2
盛土3 (1.0m ≤ B < 2.5m)	3.08	m2
盛土4 (2.5m ≤ B < 4.0m)	6.11	m2



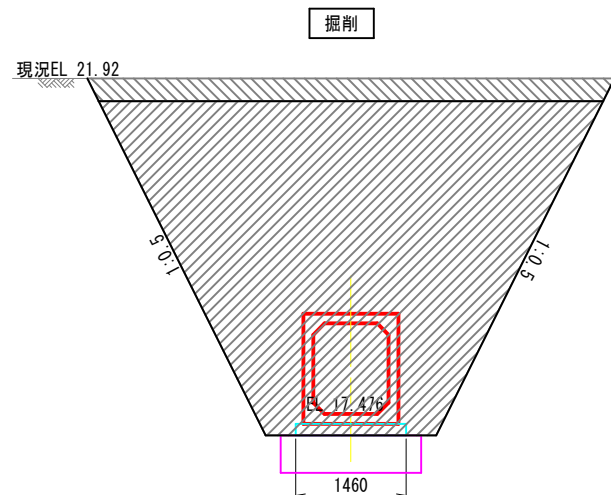
項目	数量	単位
表土はぎ	2.22	m2
床掘	9.24	m2
基面整正	2.65	m

項目	数量	単位
埋戻1 (構造物周辺)	1.70	m2
埋戻3 (1.0m ≤ B < 2.5m)	5.57	m2
盛土1 (構造物周辺)	1.77	m2
盛土3 (1.0m ≤ B < 2.5m)	4.05	m2
盛土4 (2.5m ≤ B < 4.0m)	4.78	m2

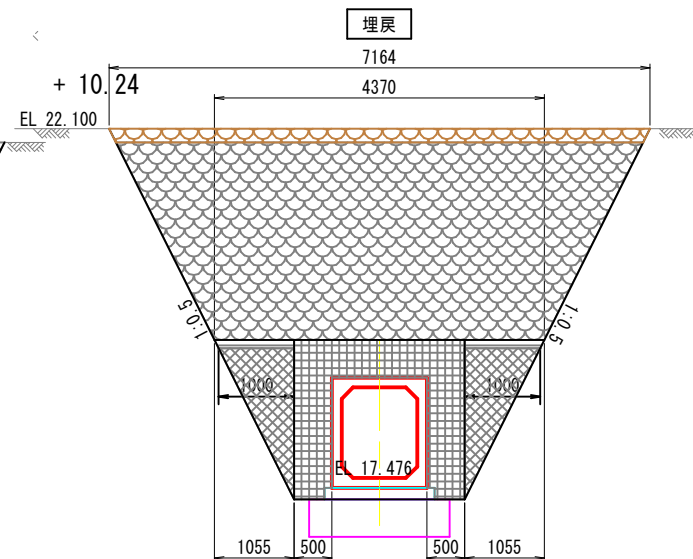


項目	数量	単位
表土はぎ	2.21	m2
床掘	8.95	m2
基面整正	2.65	m

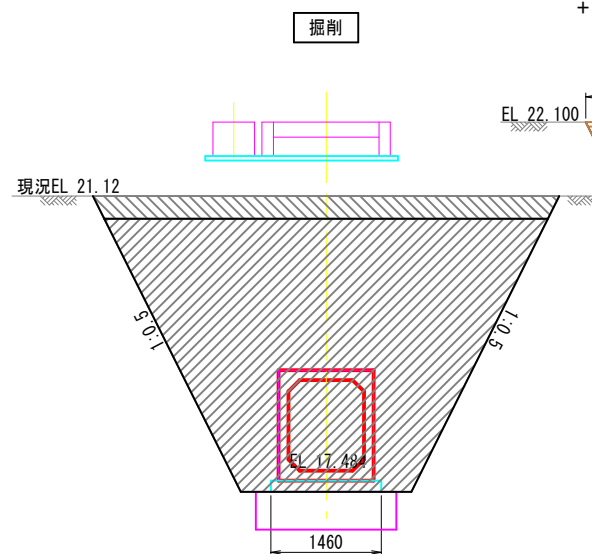
項目	数量	単位
埋戻1 (構造物周辺)	1.66	m2
埋戻3 (1.0m ≤ B < 2.5m)	5.40	m2
盛土1 (構造物周辺)	1.53	m2
盛土3 (1.0m ≤ B < 2.5m)	4.22	m2
盛土4 (2.5m ≤ B < 4.0m)	3.18	m2



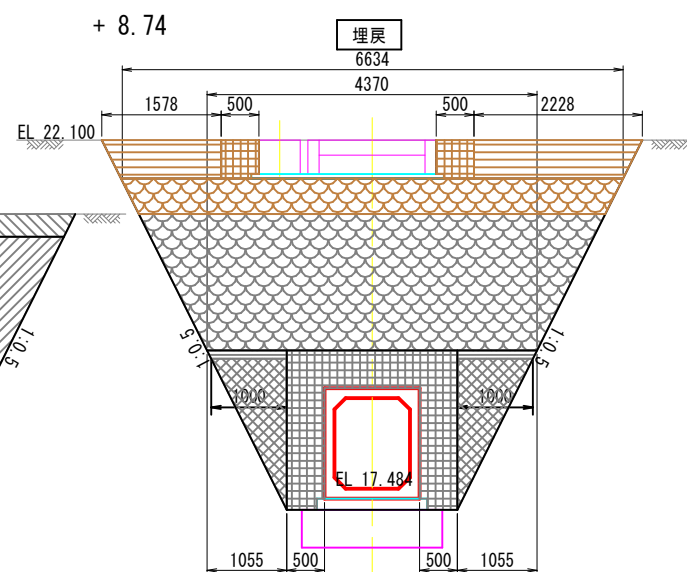
項目	数量	単位
表土はぎ	2.05	m2
床掘	19.78	m2
基面整正	1.46	m



項目	数量	単位
埋戻1 (構造物周辺)	2.71	m2
埋戻2 (B < 1.0m)	2.00	m2
埋戻3 (1.0m ≤ B < 2.5m)	0.23	m2
埋戻5 (4.0m ≤ B)	14.84	m2
盛土5 (4.0m ≤ B)	1.27	m2



項目	数量	単位
表土はぎ	1.81	m2
床掘	14.71	m2
基面整正	1.46	m



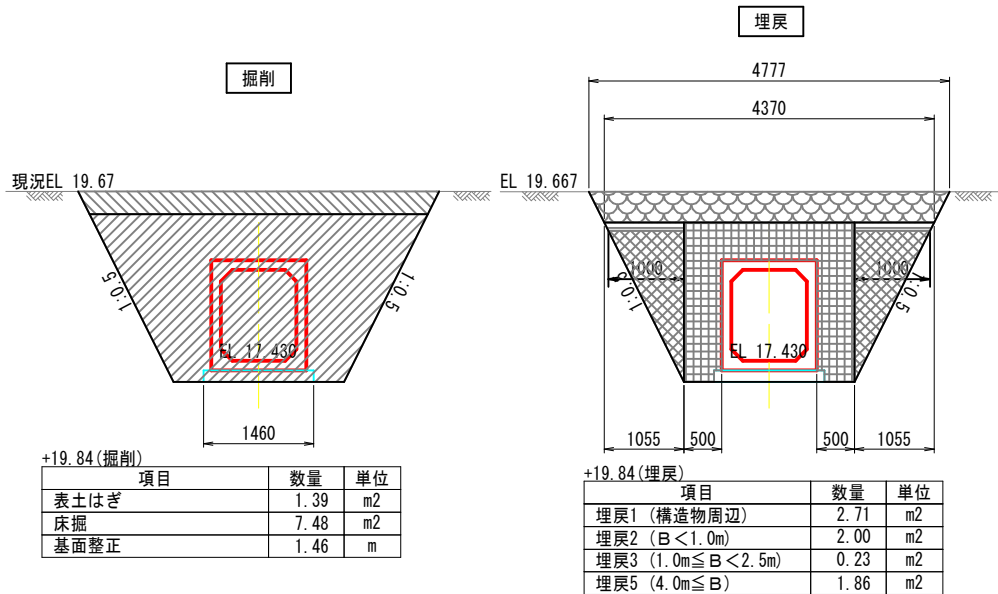
項目	数量	単位
埋戻1 (構造物周辺)	2.71	m2
埋戻2 (B < 1.0m)	2.00	m2
埋戻3 (1.0m ≤ B < 2.5m)	0.23	m2
埋戻5 (4.0m ≤ B)	9.52	m2
盛土1 (構造物周辺)	0.50	m2
盛土3 (1.0m ≤ B < 2.5m)	1.80	m2
盛土5 (4.0m ≤ B)	3.03	m2

凡例
表土はぎ
床掘
埋戻1 (構造物周辺, B=0.5m)
埋戻2 (B<1.0m)
埋戻3 (1.0m ≤ B < 2.5m)
埋戻4 (2.5m ≤ B < 4.0m)
埋戻5 (4.0m ≤ B)
盛土1 (構造物周辺, B=0.5m)
盛土2 (B<1.0m)
盛土3 (1.0m ≤ B < 2.5m)
盛土4 (2.5m ≤ B < 4.0m)
盛土5 (4.0m ≤ B)

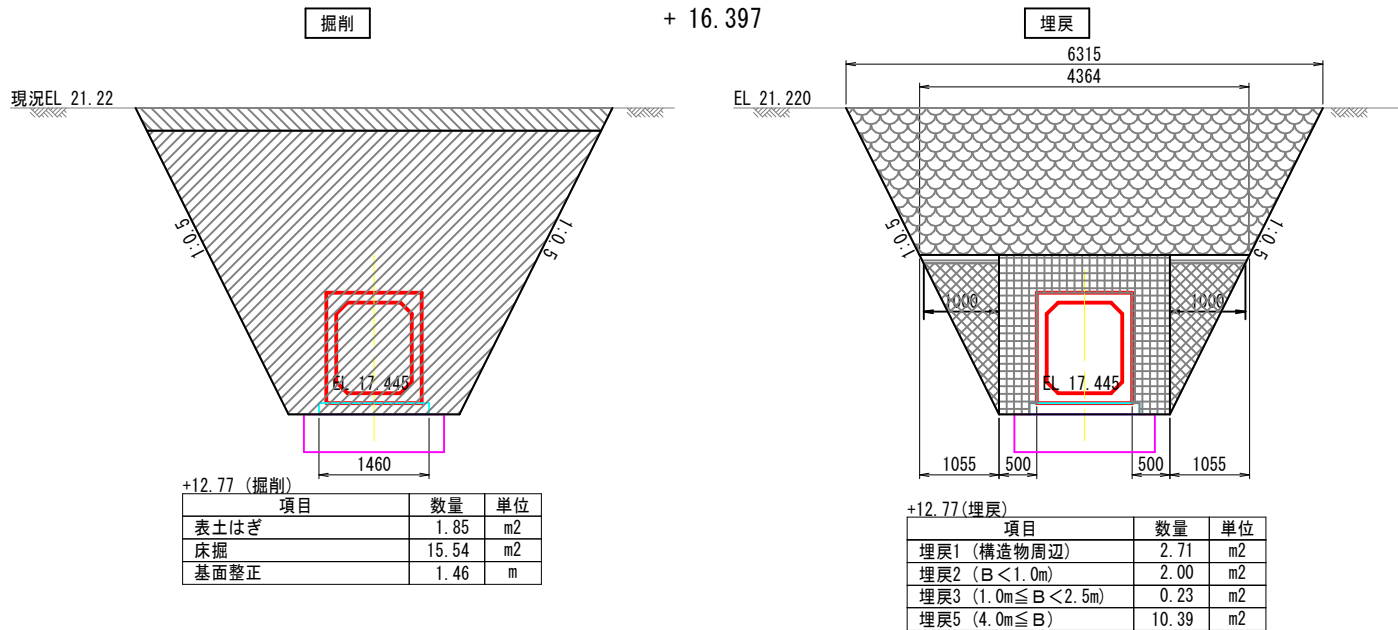
工事名	越畑台下洪水吐取水工改修工事その2
図面名	右岸洪水吐取水工 土工図2
作成年月日	
縮尺	1:50
図面番号	7-2/3
会社名	
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所

右岸洪水吐取水工 土工図3

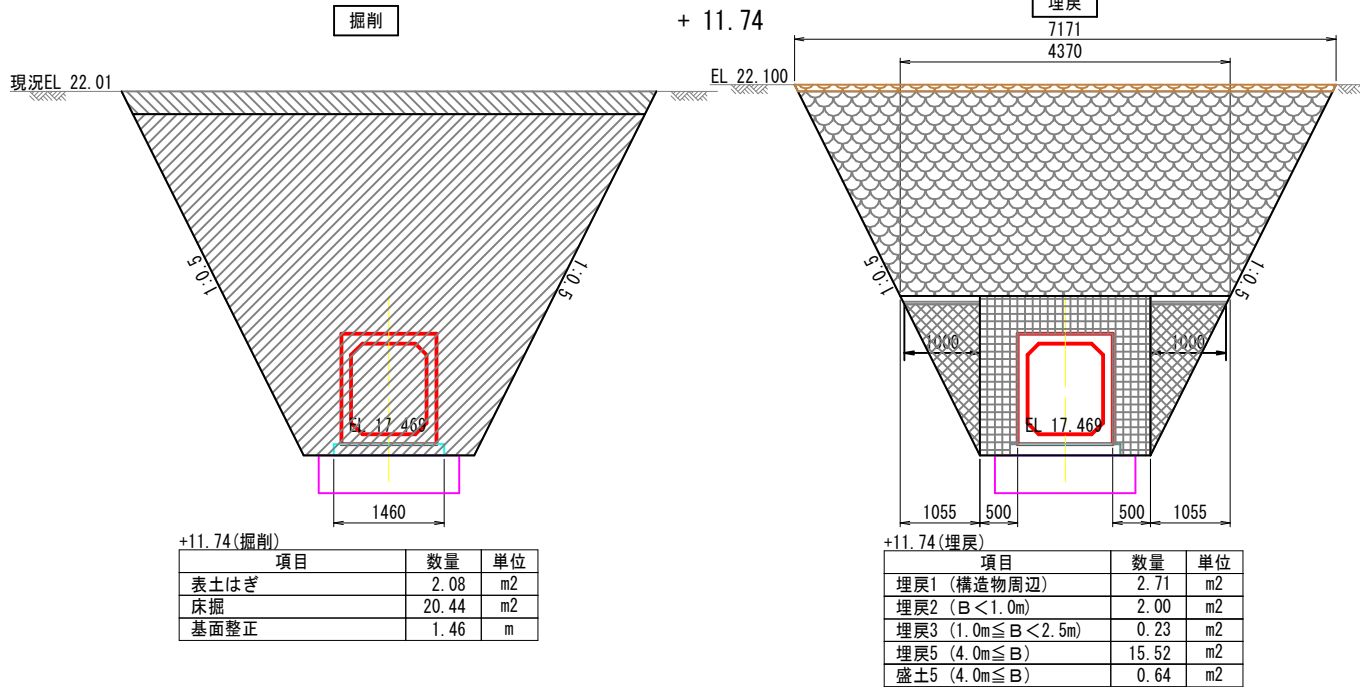
+ 19.84



+ 16.397



+ 11.74



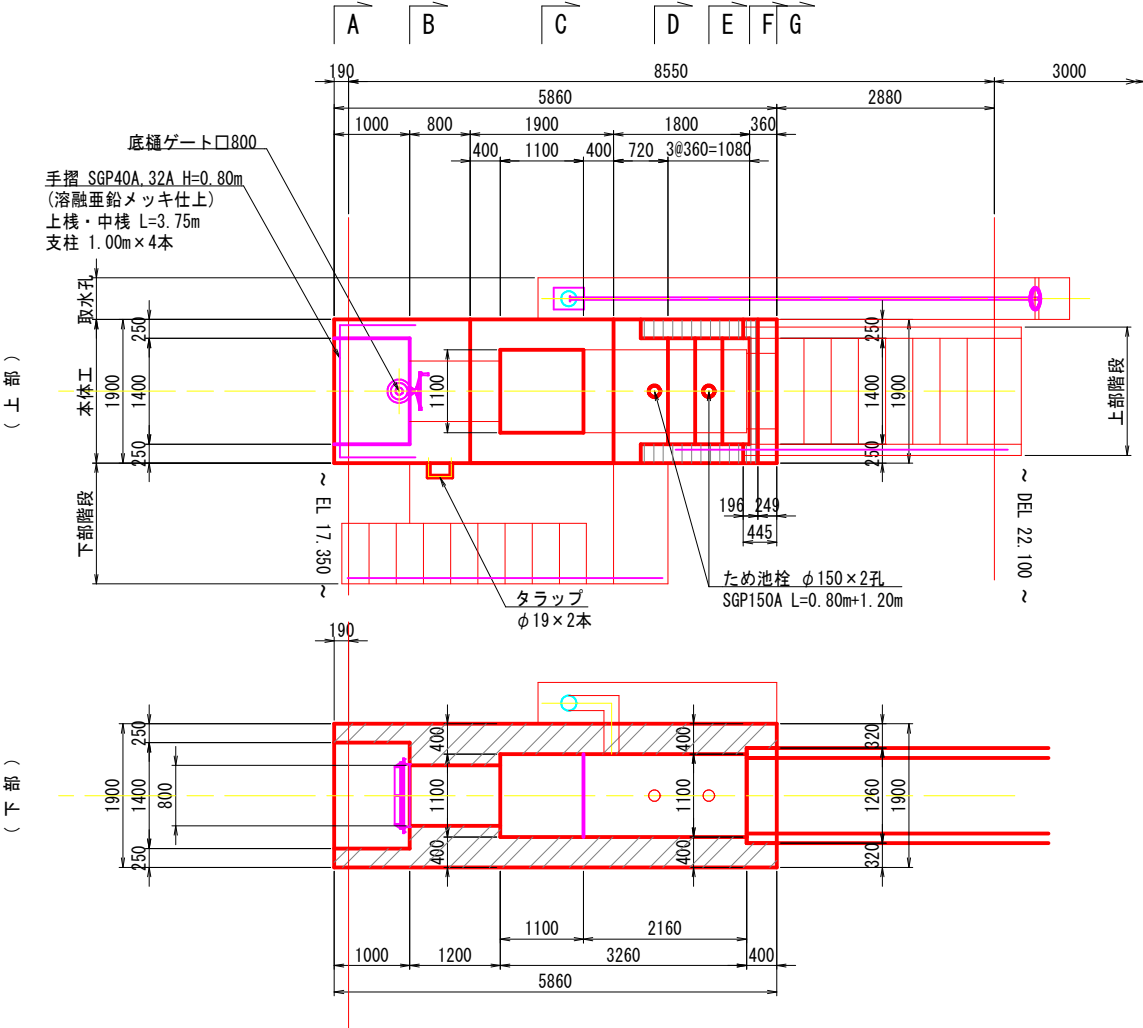
凡例

	表土はぎ
	床掘
	埋戻1 (構造物周辺, B<0.5m)
	埋戻2 (B<1.0m)
	埋戻3 (1.0m≤B<2.5m)
	埋戻4 (2.5m≤B<4.0m)
	埋戻5 (4.0m≤B)
	盛土1 (構造物周辺, B<0.5m)
	盛土2 (B<1.0m)
	盛土3 (1.0m≤B<2.5m)
	盛土4 (2.5m≤B<4.0m)
	盛土5 (4.0m≤B)

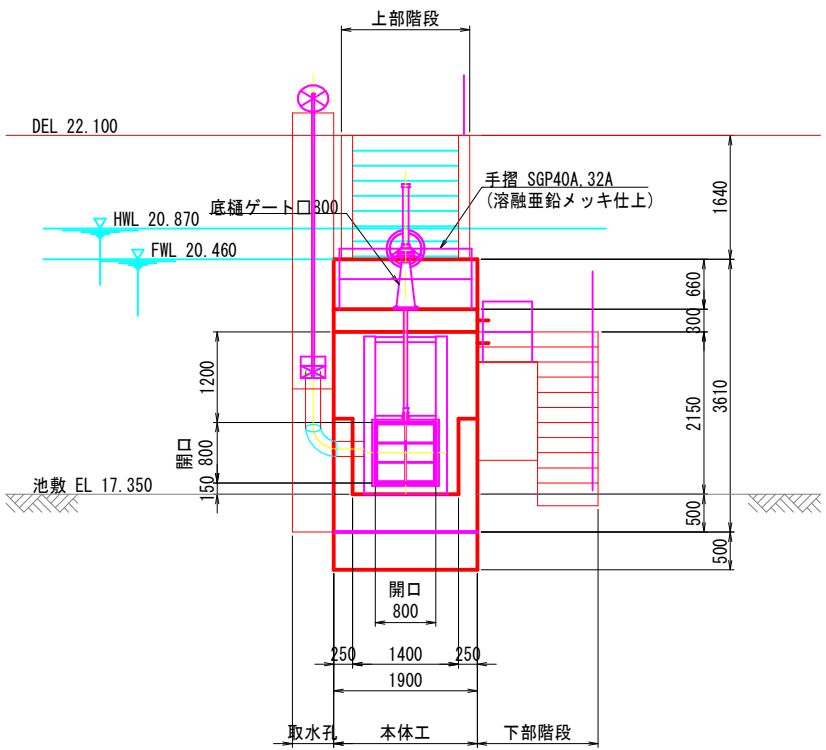
工事名	越畑台下洪水吐取水工改修工事その2		
図面名	右岸洪水吐取水工 土工図3		
作成年月日			
縮尺	1:50	図面番号	7-3/3
会社名			
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所		

右岸洪水吐取水工 構造図1

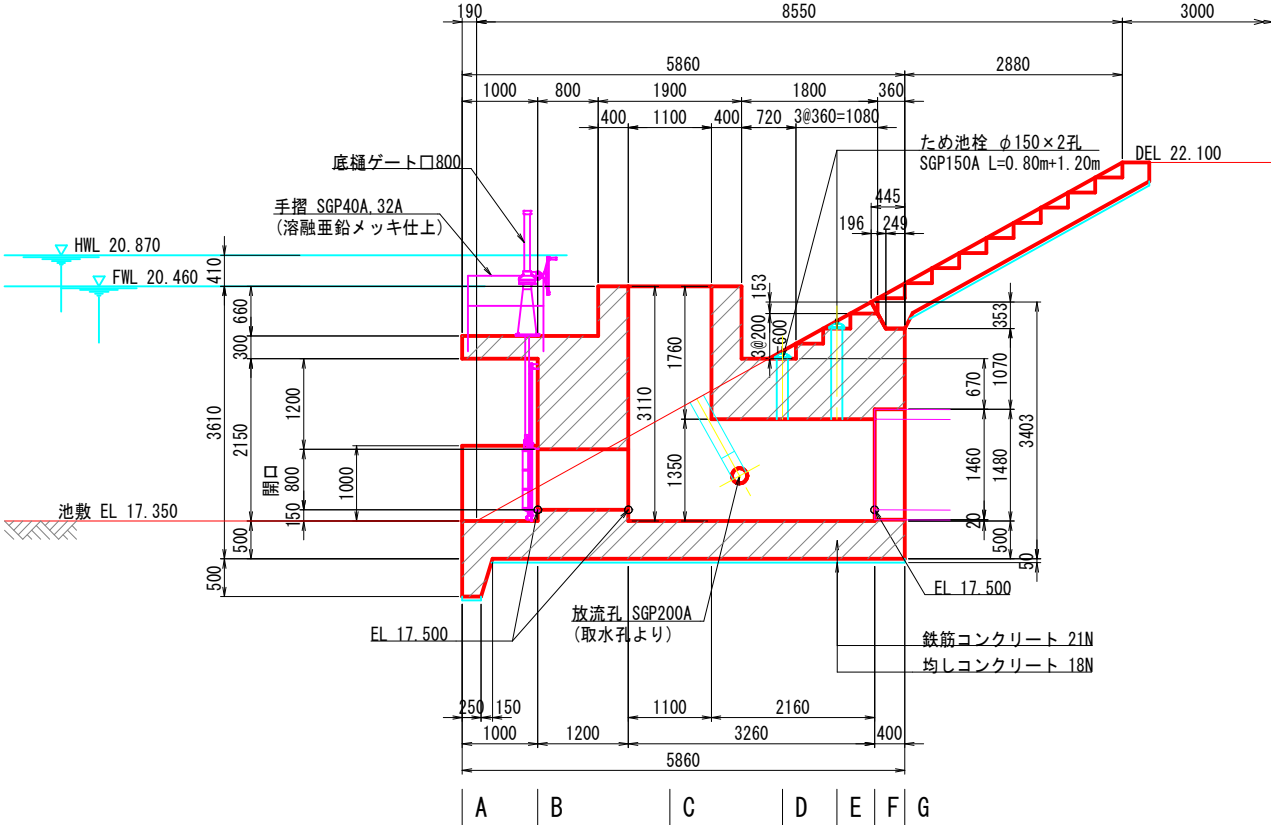
平面図



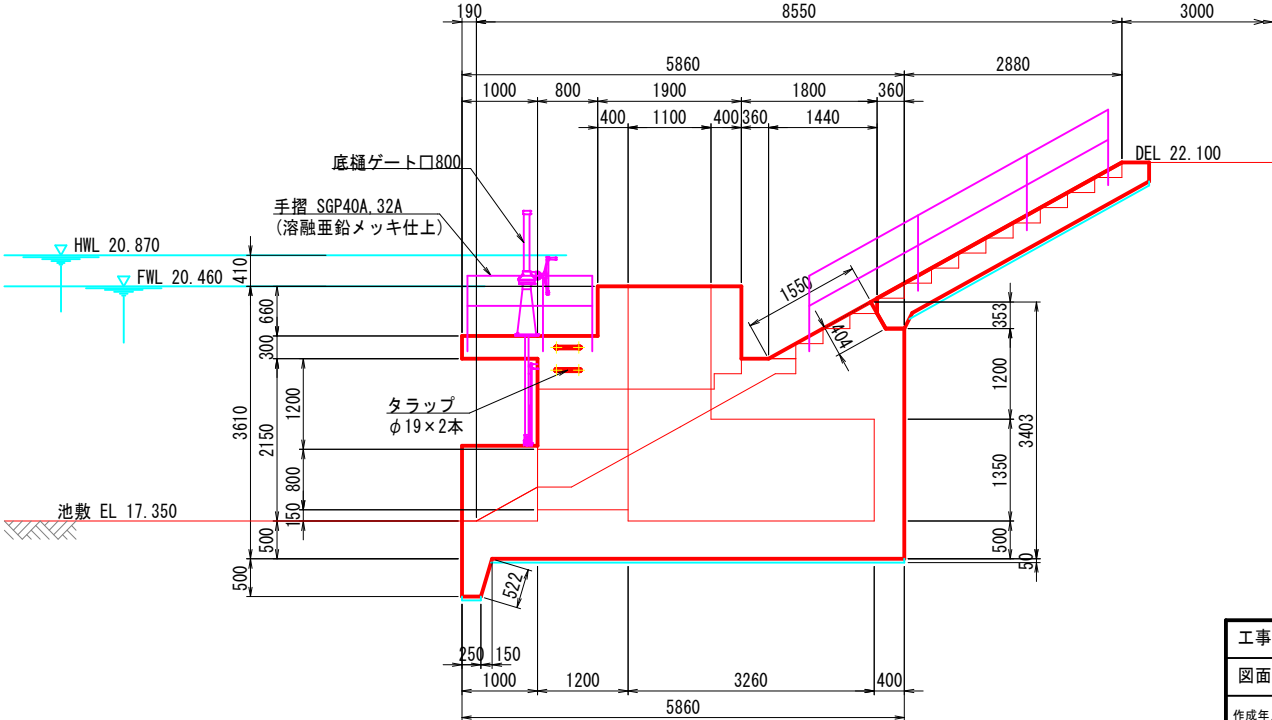
正面図



縦断図



縦断図 (外壁)

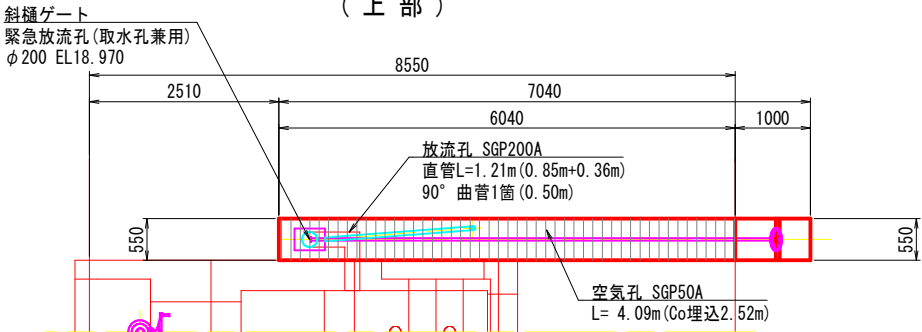


工事名	越畑台下洪水吐取水工改修工事その2		
図面名	右岸洪水吐取水工 構造図1		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	8-1/4
会社名			
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所		

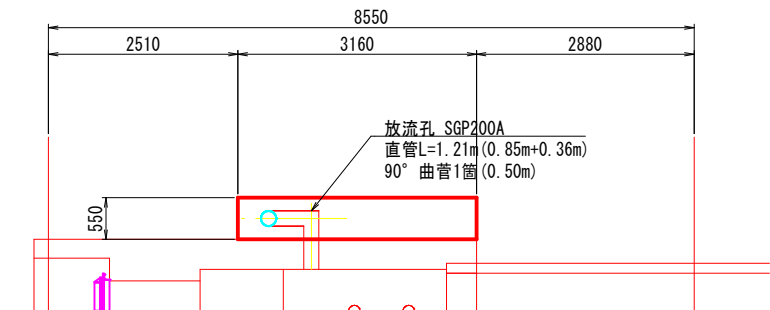
右岸洪水吐取水工 構造図2

平面図（取水孔）

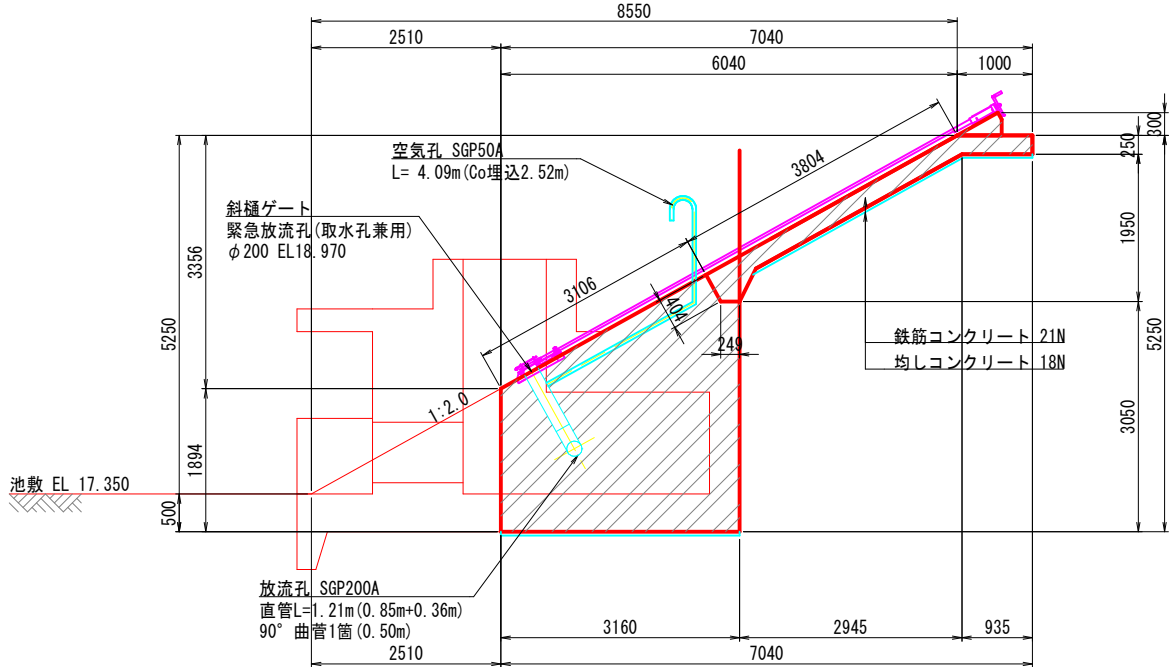
（上部）



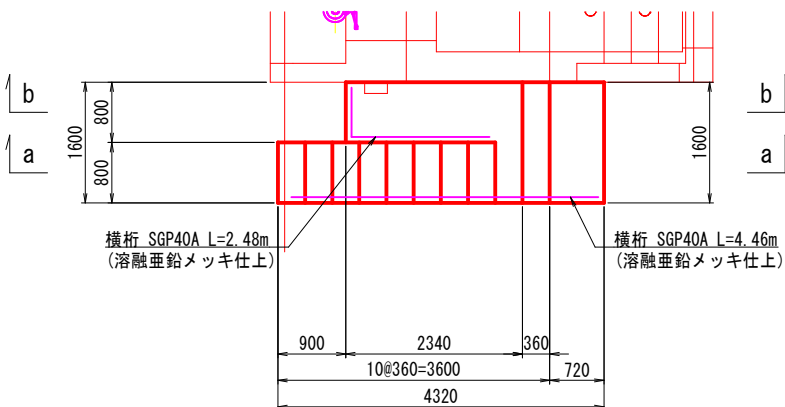
（下部）



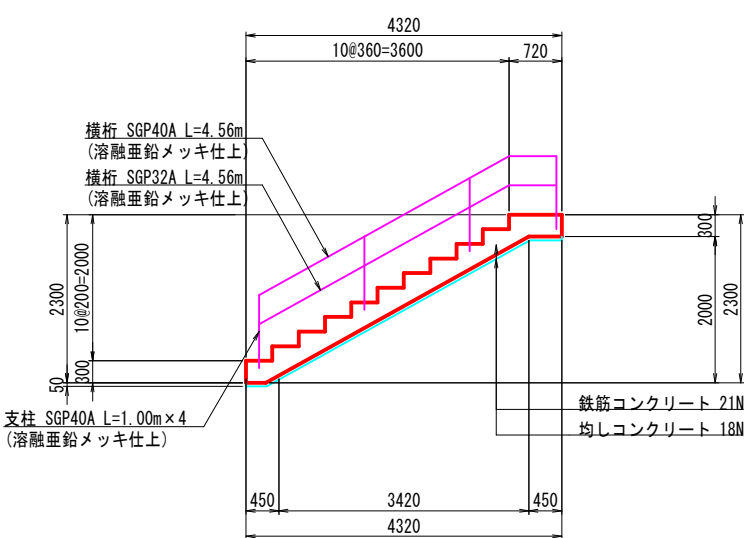
縦断面図（取水孔）



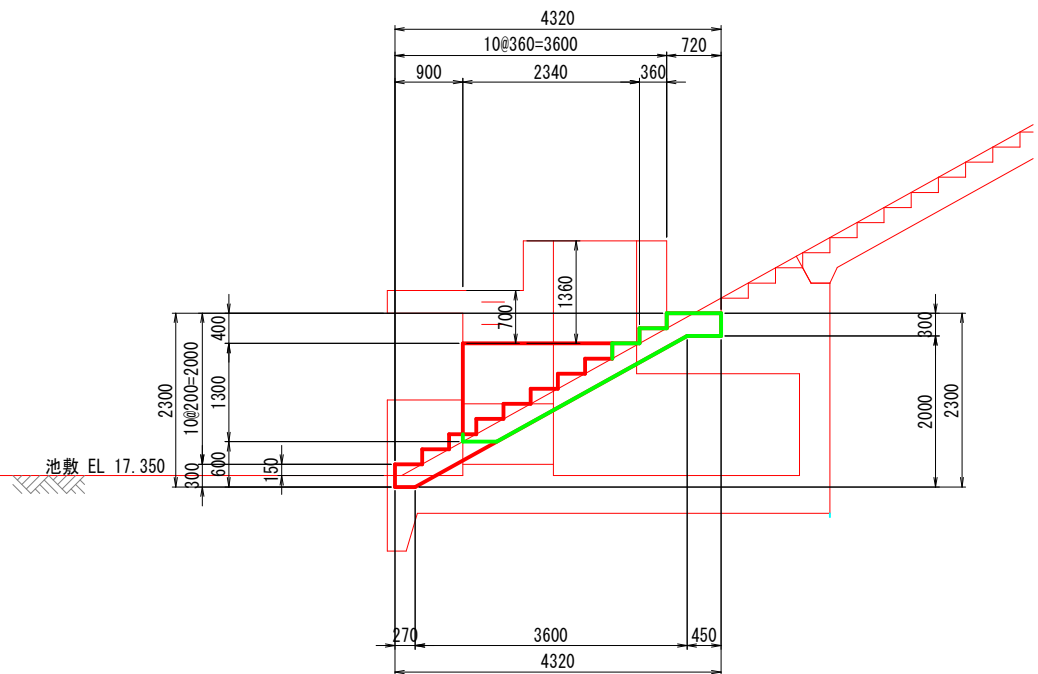
平面図（下部階段）



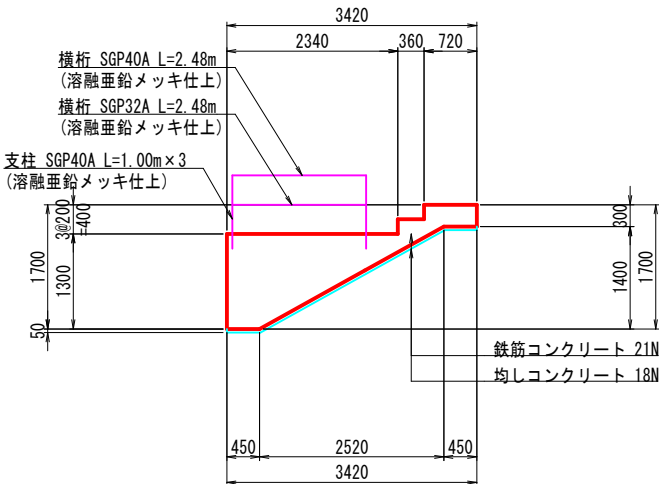
a-a断面（下部階段）



縦断面図（下部階段）



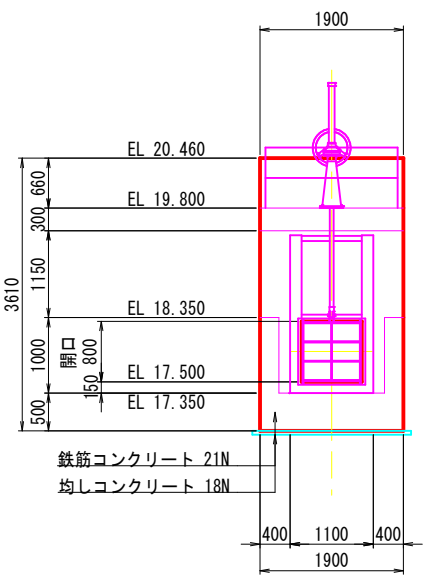
b-b断面（下部階段）



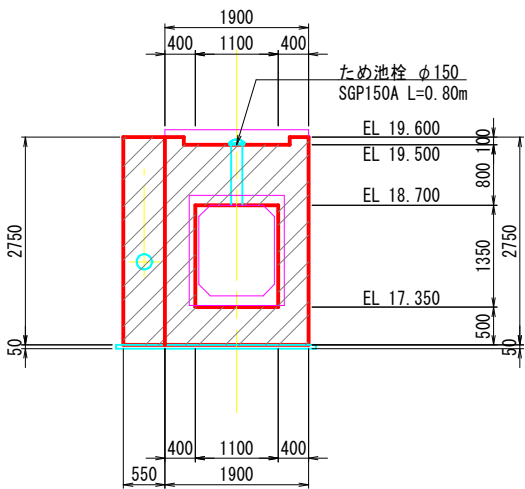
工事名	越畑台下洪水吐取水工改修工事その2		
図面名	右岸洪水吐取水工 構造図2		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	8-2/4
会社名			
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所		

右岸洪水吐取水工 構造図4

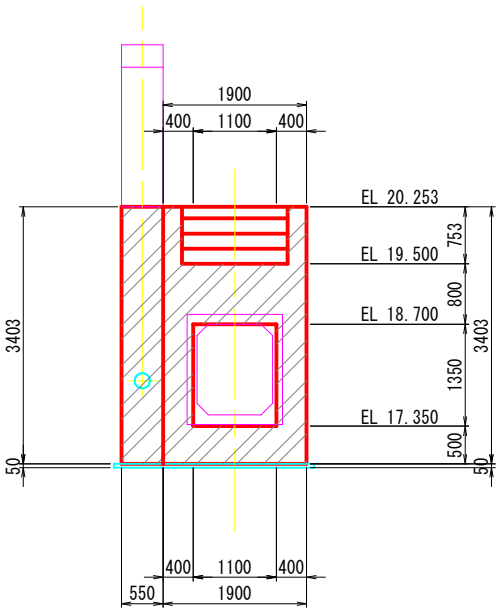
B - B 断面



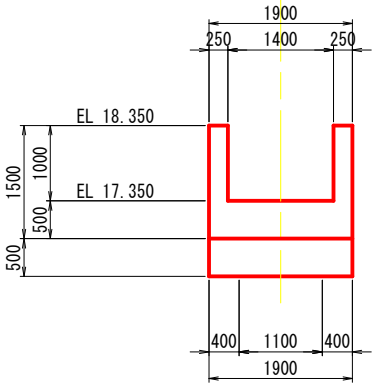
D - D 断面



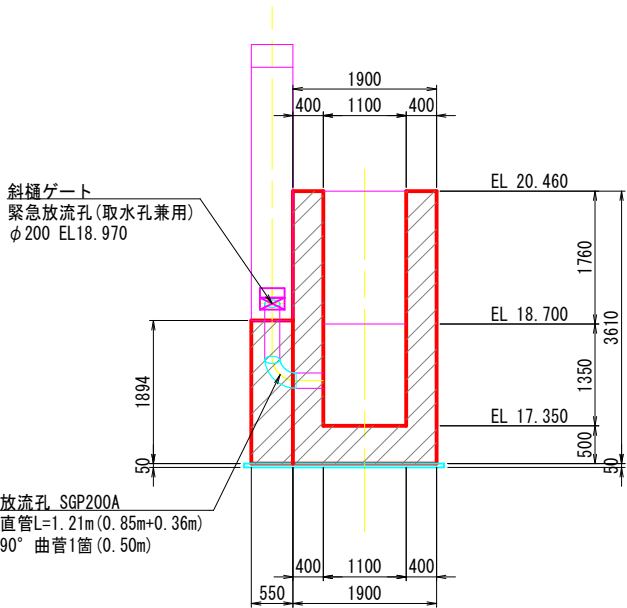
F - F 断面



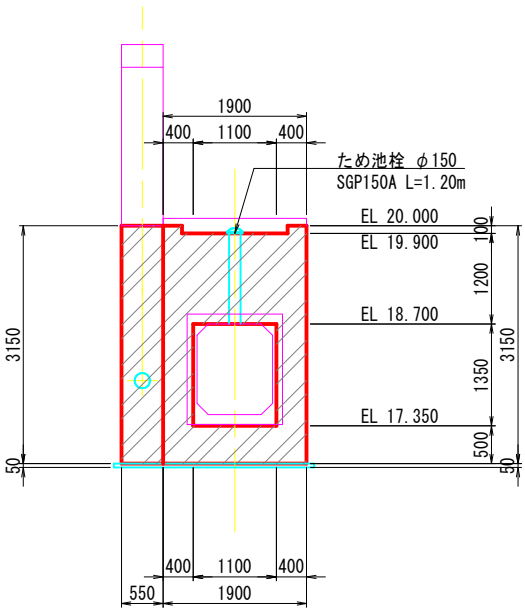
A - A 断面



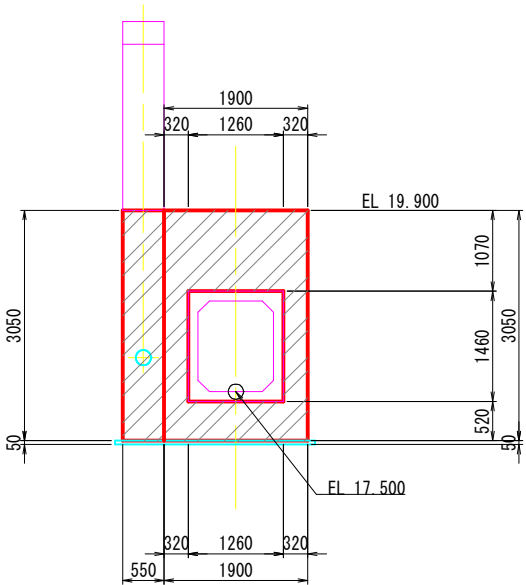
C - C 断面



E - E 断面

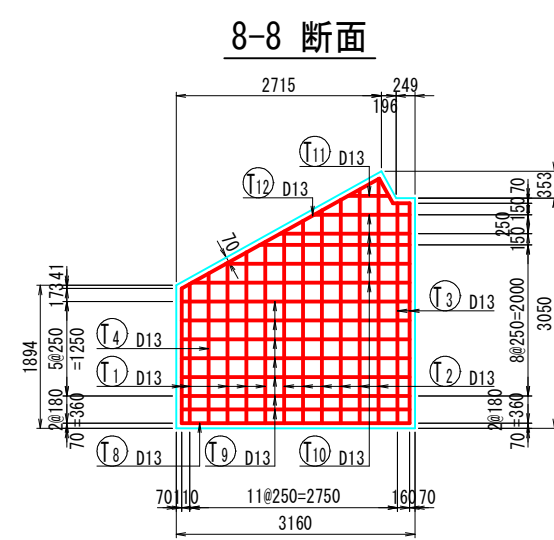
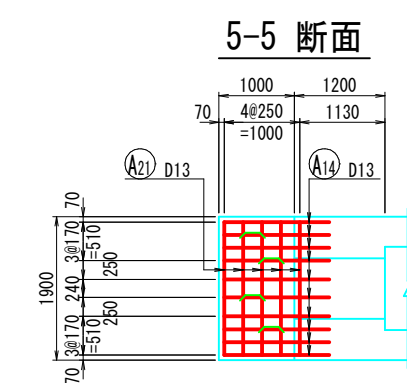
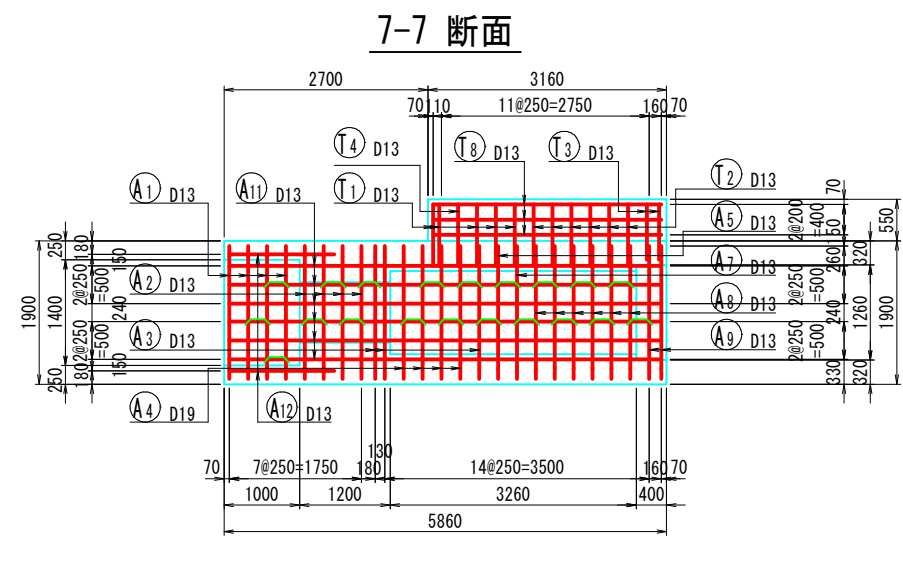
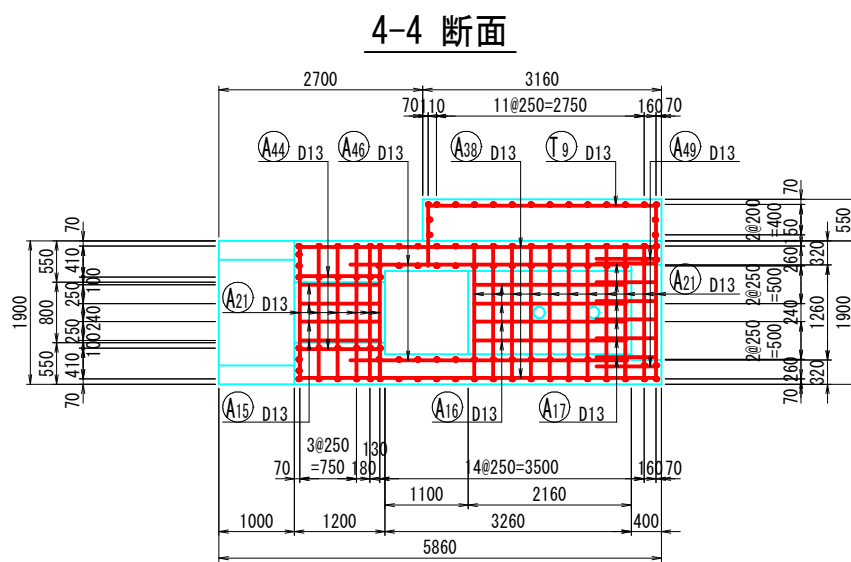
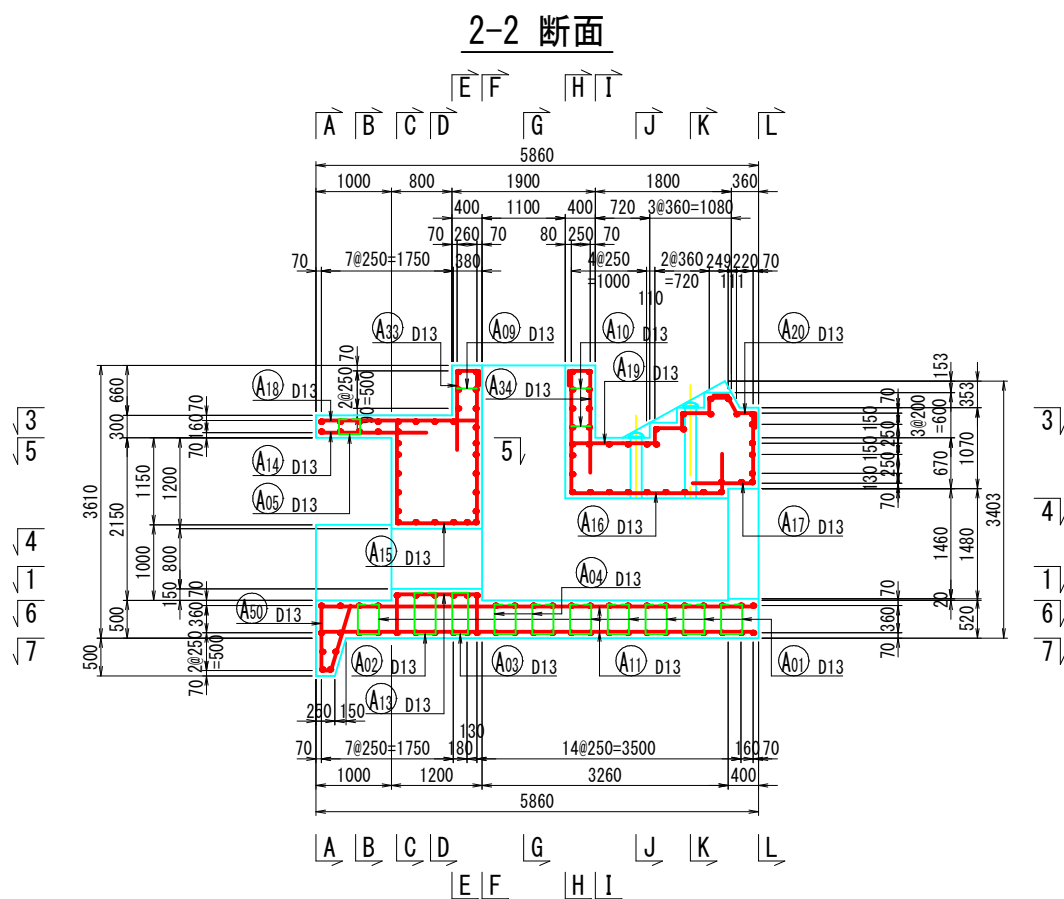
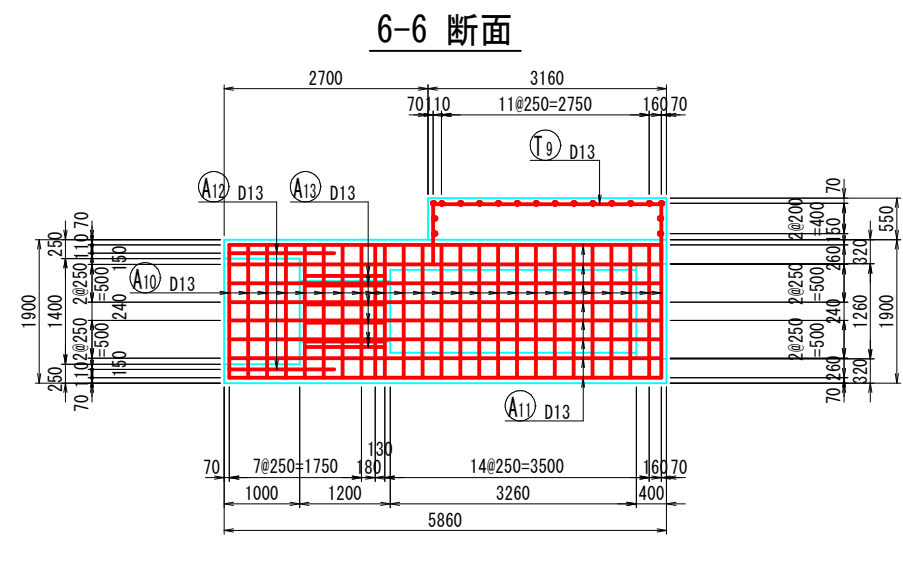
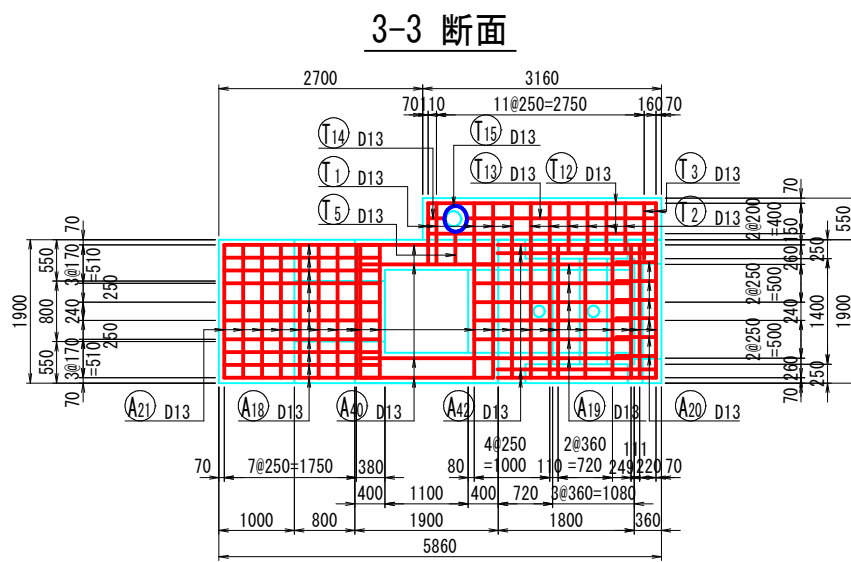
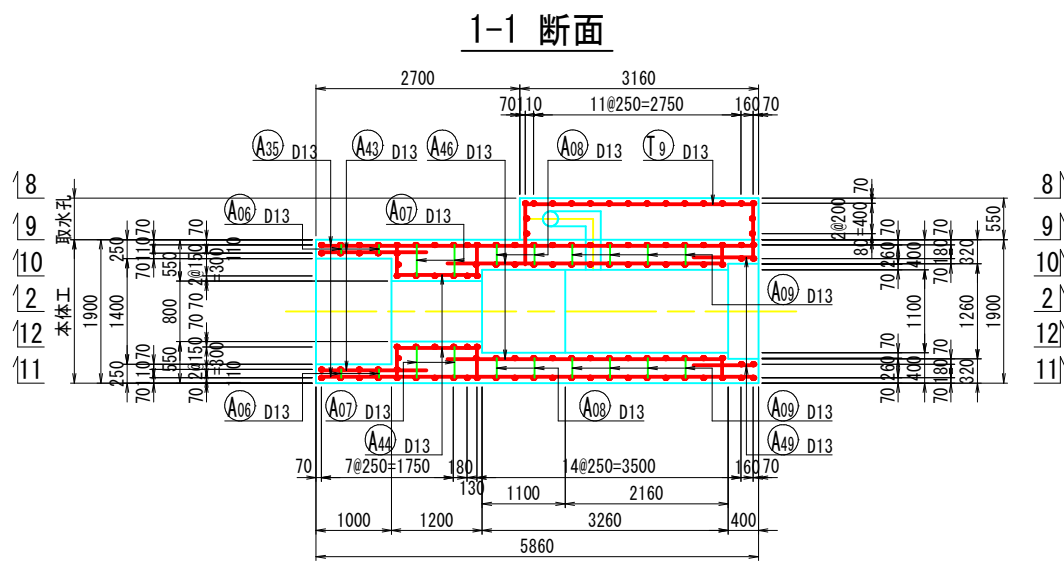


G - G 断面



工事名	越畑台下洪水吐取水工改修工事その2		
図面名	右岸洪水吐取水工 構造図4		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	8-4/4
会社名			
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所		

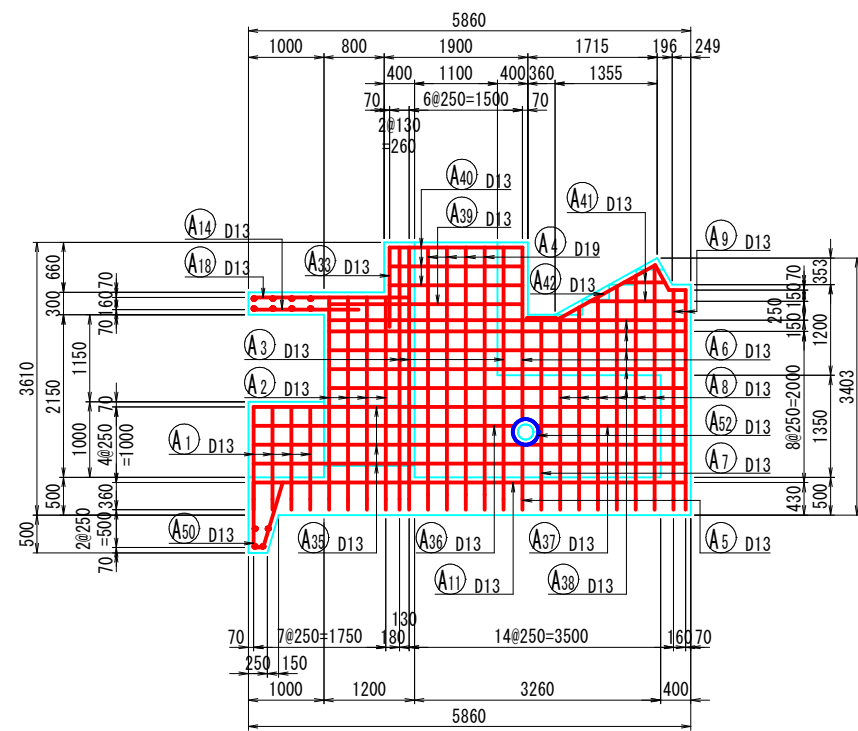
右岸洪水吐取水工 配筋図1



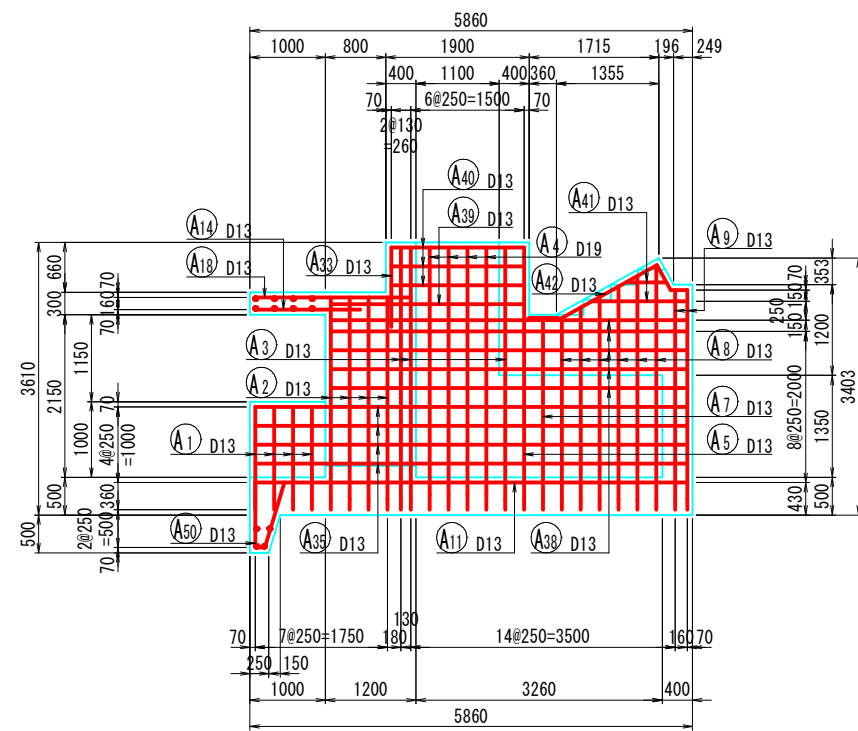
工事名	越畑台下洪水吐取水工改修工事その2		
図面名	右岸洪水吐取水工 配筋図1		
作成年月日			
縮 尺	1:50	図面番号	9-1/8
会社名			
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所		

右岸洪水吐取水工 配筋図2

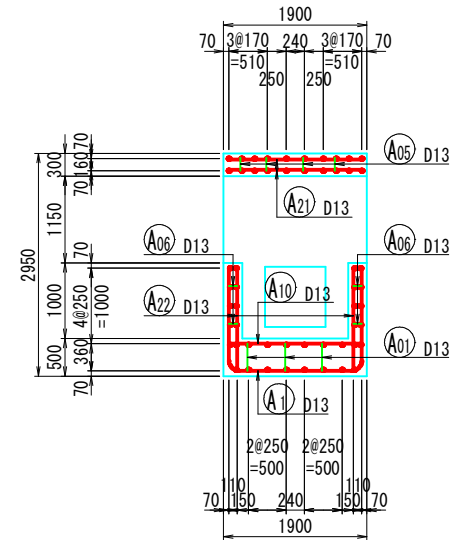
9-9 断面



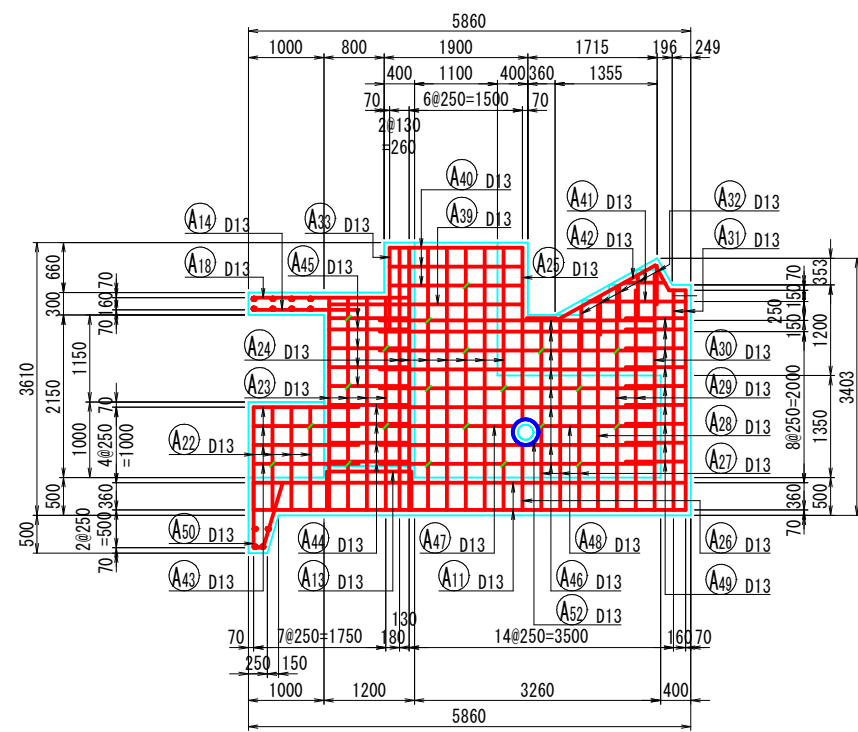
11-11 断面



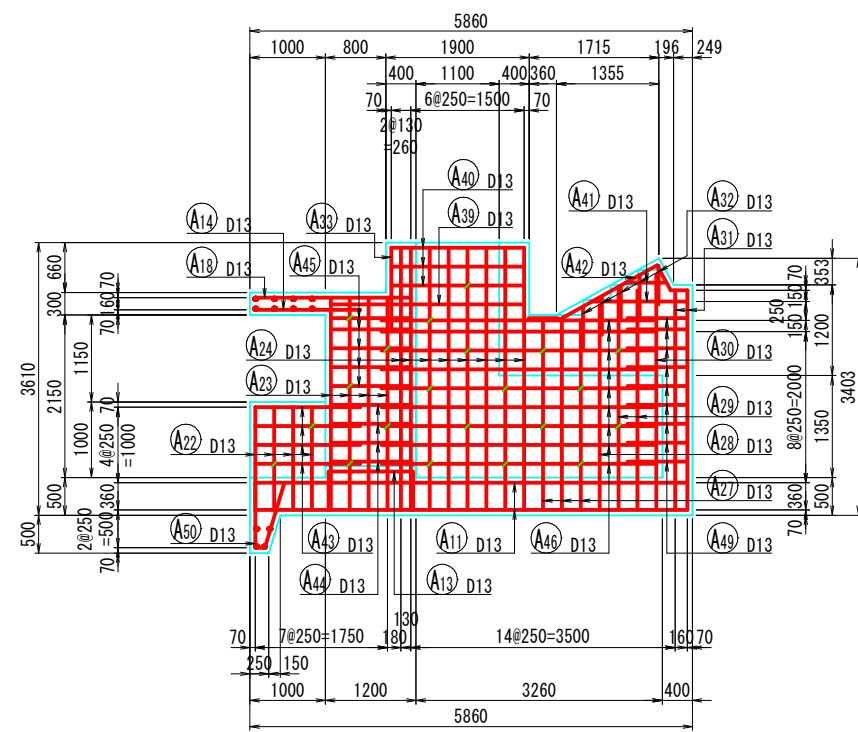
B-B 断面



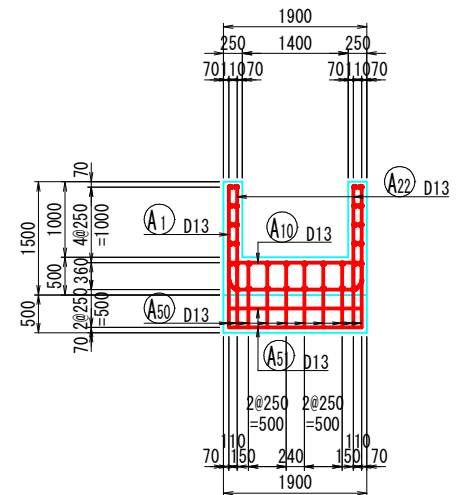
10-10 断面



12-12 断面



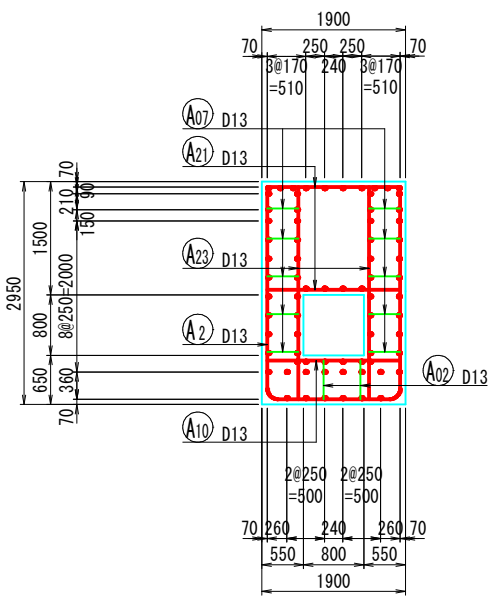
A-A 断面



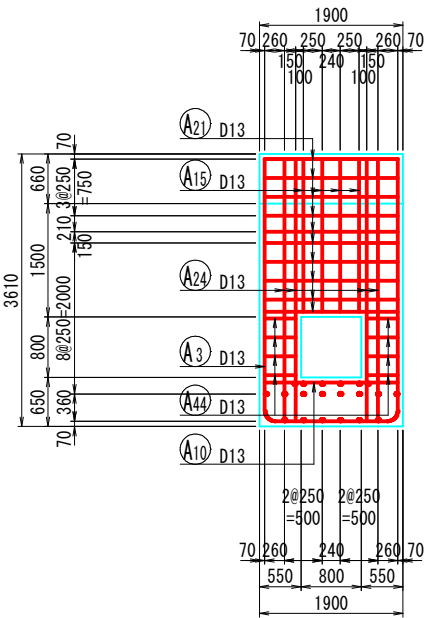
工事名	越畑台下洪水吐取水工改修工事その2		
図面名	右岸洪水吐取水工 配筋図2		
作成年月日			
縮 尺	1:50	図面番号	9-2/8
会社名			
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所		

右岸洪水吐取水工 配筋図3

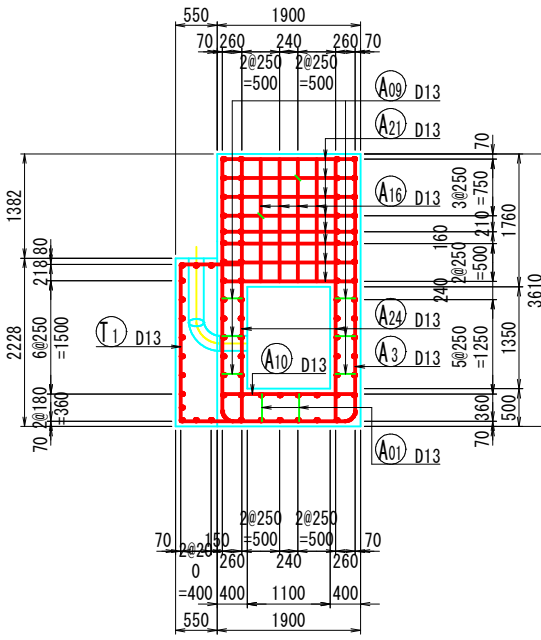
D-D 断面



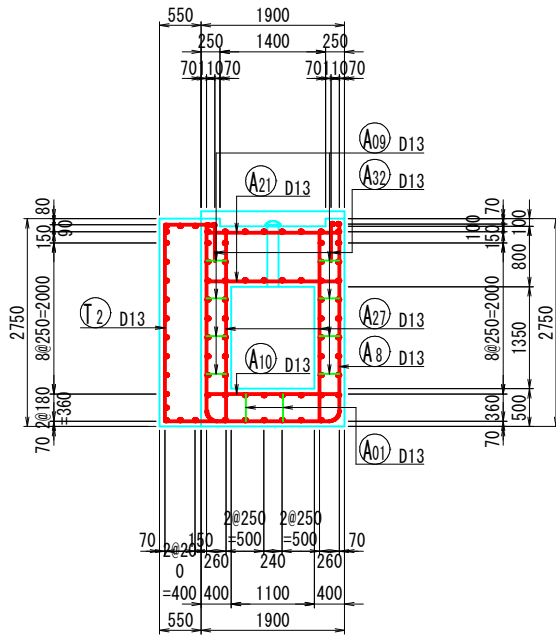
F-F 断面



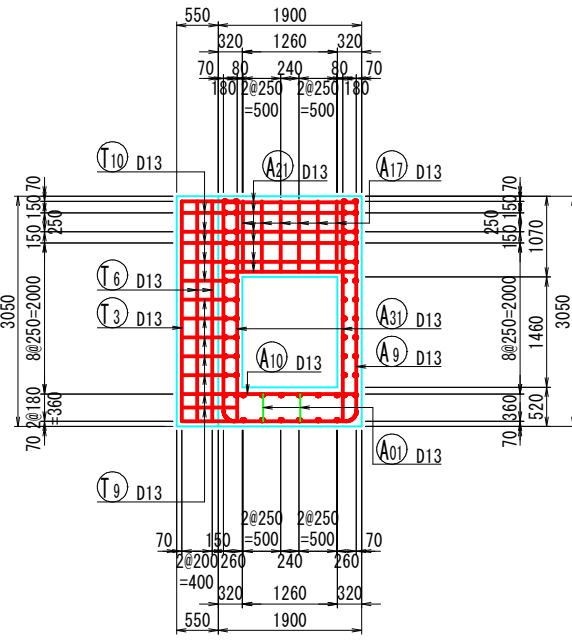
H-H 断面



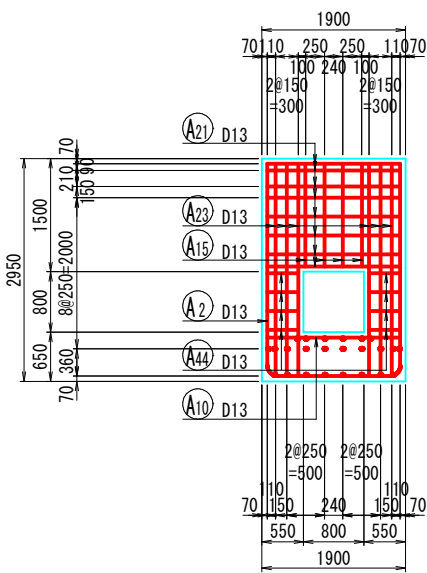
J-J 断面



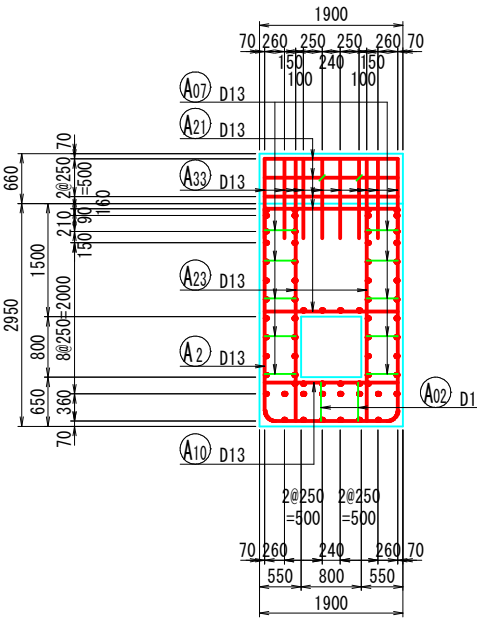
L-L 断面



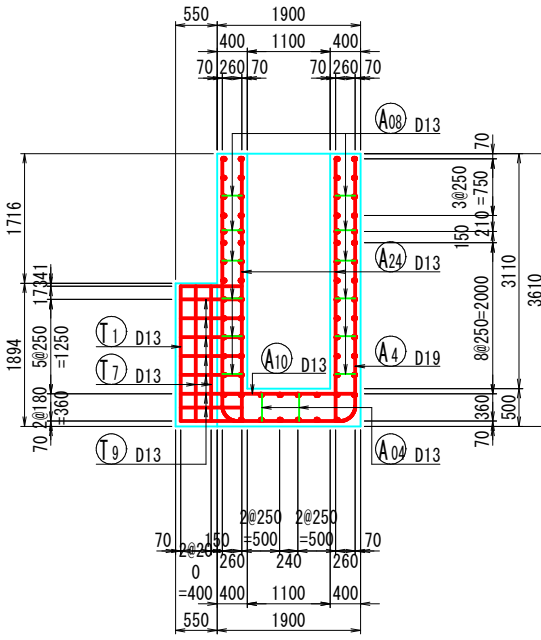
C-C 断面



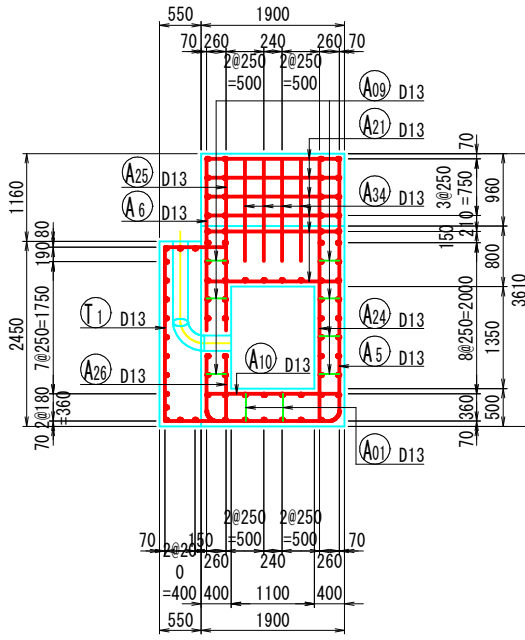
E-E 断面



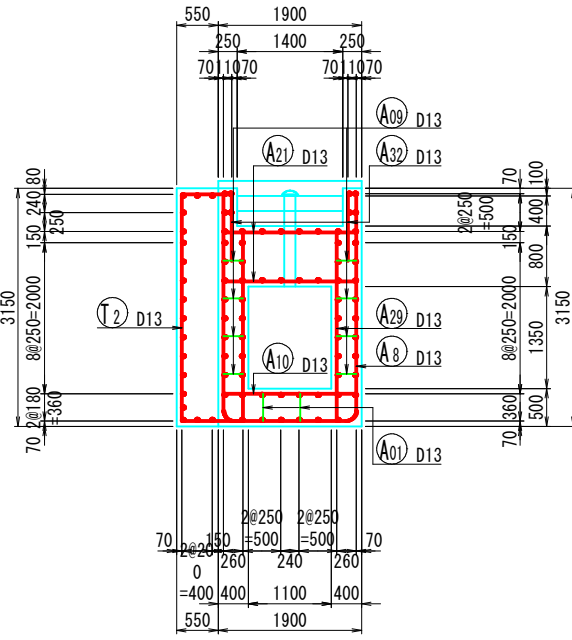
G-G 断面



I-I 断面

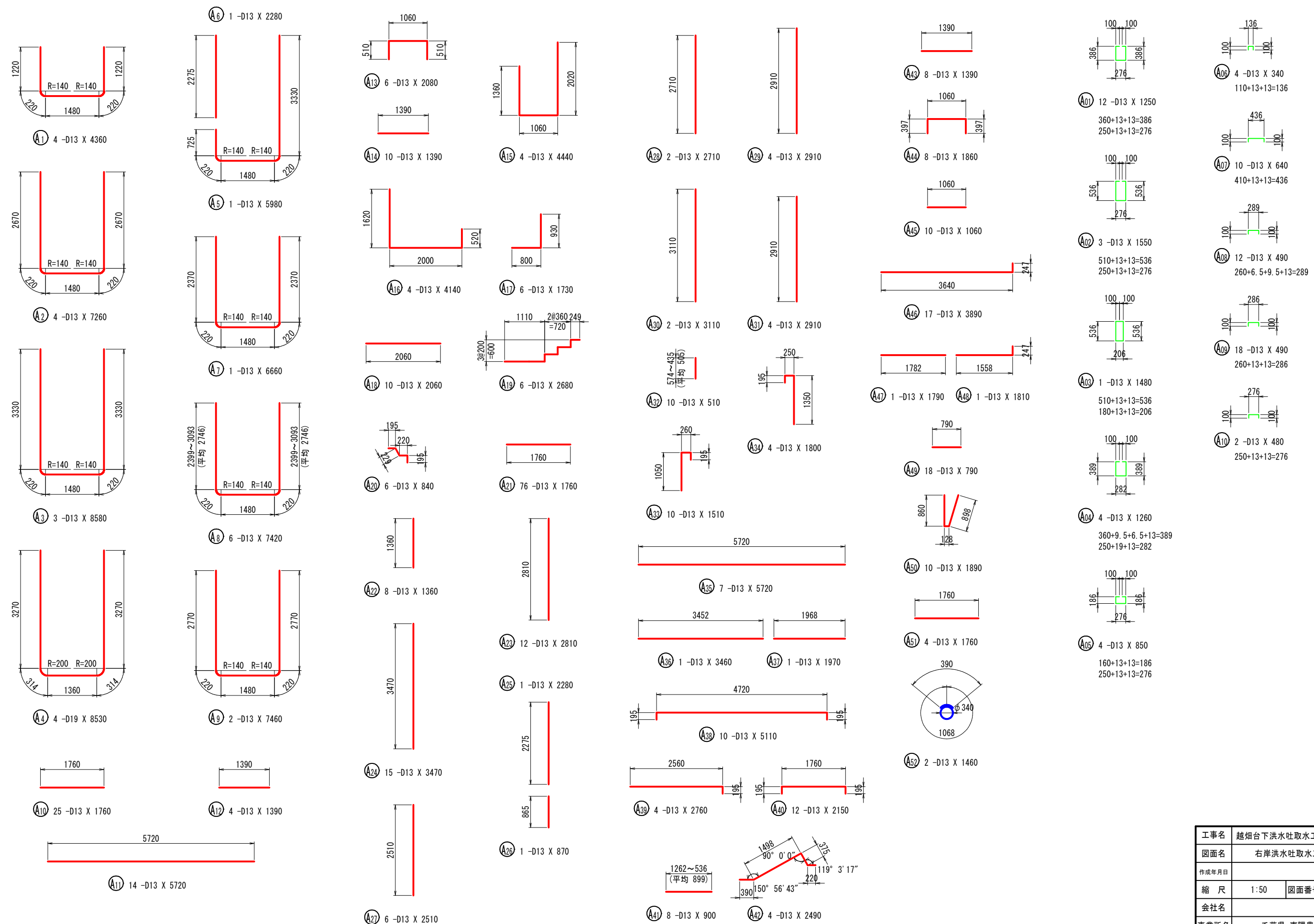


K-K 断面



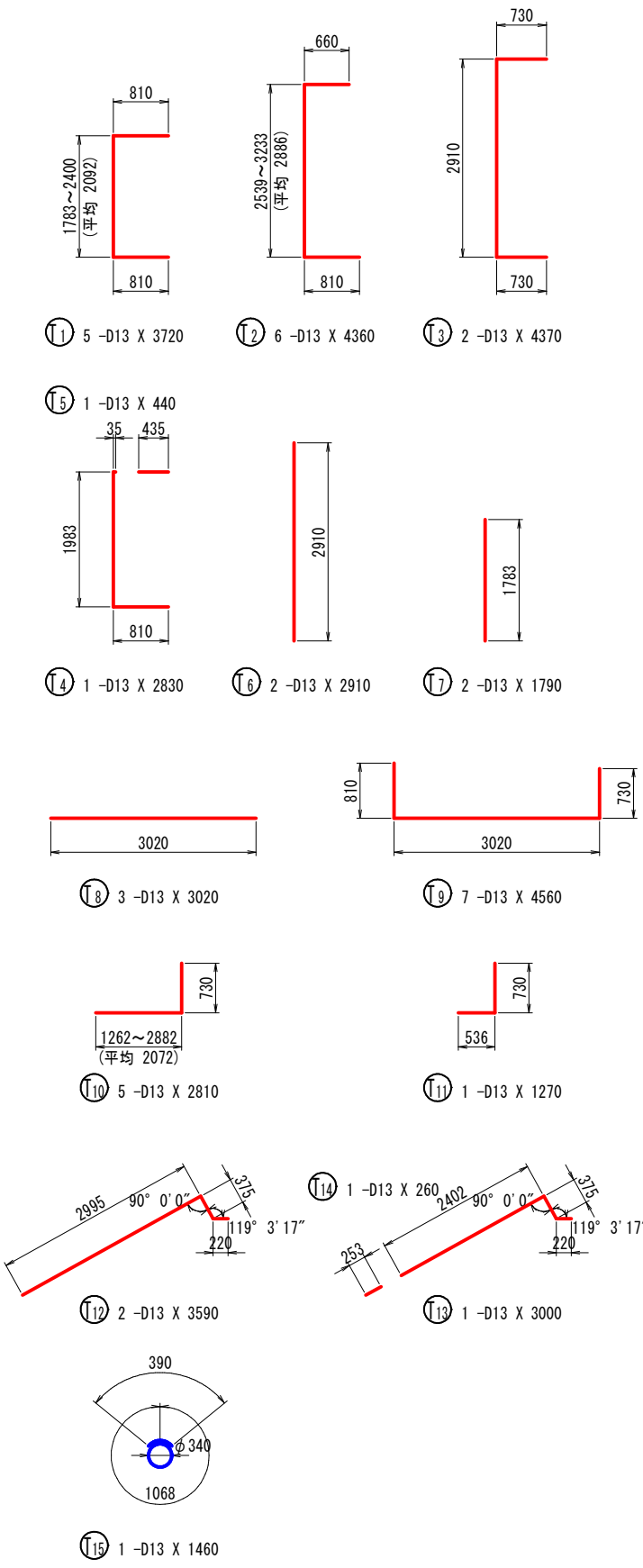
工事名	越畑台下洪水吐取水工改修工事その2		
図面名	右岸洪水吐取水工 配筋図3		
作成年月日			
縮 尺	1:50	図面番号	9-3/8
会社名			
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所		

右岸洪水吐取水工 配筋図4



工事名	越畑台下洪水吐取水工改修工事その2		
図面名	右岸洪水吐取水工 配筋図4		
作成年月日			
縮 尺	1:50	図面番号	9-4/8
会社名			
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所		

右岸洪水吐取水工 配筋図5



鉄筋質量表		洪水吐					
種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
A 1	D13	4360	4	0.995	4.338	17.4	
A 2	D13	7260	4	0.995	7.224	28.9	
A 3	D13	8580	3	0.995	8.537	25.6	
A 4	D19	8530	4	2.250	19.193	76.8	
A 5	D13	5980	1	0.995	5.950	6.0	
A 6	D13	2280	1	0.995	2.269	2.3	
A 7	D13	6660	1	0.995	6.627	6.6	
A 8	D13	7420	6	0.995	7.383	44.3	
A 9	D13	7460	2	0.995	7.423	14.8	
A 10	D13	1760	25	0.995	1.751	43.8	
A 11	D13	5720	14	0.995	5.691	79.7	
A 12	D13	1390	4	0.995	1.383	5.5	
A 13	D13	2080	6	0.995	2.070	12.4	
A 14	D13	1390	10	0.995	1.383	13.8	
A 15	D13	4440	4	0.995	4.418	17.7	
A 16	D13	4140	4	0.995	4.119	16.5	
A 17	D13	1730	6	0.995	1.721	10.3	
A 18	D13	2060	10	0.995	2.050	20.5	
A 19	D13	2680	6	0.995	2.667	16.0	
A 20	D13	840	6	0.995	0.836	5.0	
A 21	D13	1760	76	0.995	1.751	133.1	
A 22	D13	1360	8	0.995	1.353	10.8	
A 23	D13	2810	12	0.995	2.796	33.6	
A 24	D13	3470	15	0.995	3.453	51.8	
A 25	D13	2280	1	0.995	2.269	2.3	
A 26	D13	870	1	0.995	0.866	0.9	
A 27	D13	2510	6	0.995	2.497	15.0	
A 28	D13	2710	2	0.995	2.696	5.4	
A 29	D13	2910	4	0.995	2.895	11.6	
A 30	D13	3110	2	0.995	3.094	6.2	
A 31	D13	2910	4	0.995	2.895	11.6	
A 32	D13	510	10	0.995	0.507	5.1	
A 33	D13	1510	10	0.995	1.502	15.0	
A 34	D13	1800	4	0.995	1.791	7.2	
A 35	D13	5720	7	0.995	5.691	39.8	
A 36	D13	3460	1	0.995	3.443	3.4	
A 37	D13	1970	1	0.995	1.960	2.0	
A 38	D13	5110	10	0.995	5.084	50.8	
A 39	D13	2760	4	0.995	2.746	11.0	
A 40	D13	2150	12	0.995	2.139	25.7	
A 41	D13	900	8	0.995	0.896	7.2	
A 42	D13	2490	4	0.995	2.478	9.9	
A 43	D13	1390	8	0.995	1.383	11.1	
A 44	D13	1860	8	0.995	1.851	14.8	
A 45	D13	1060	10	0.995	1.055	10.6	
A 46	D13	3890	17	0.995	3.871	65.8	
A 47	D13	1790	1	0.995	1.781	1.8	
A 48	D13	1810	1	0.995	1.801	1.8	
A 49	D13	790	18	0.995	0.786	14.1	
A 50	D13	1890	10	0.995	1.881	18.8	
A 51	D13	1760	4	0.995	1.751	7.0	
A 52	D13	1460	2	0.995	1.453	2.9	
A 01	D13	1250	12	0.995	1.244	14.9	
A 02	D13	1550	3	0.995	1.542	4.6	
A 03	D13	1480	1	0.995	1.473	1.5	
A 04	D13	1260	4	0.995	1.254	5.0	
A 05	D13	850	4	0.995	0.846	3.4	
A 06	D13	340	4	0.995	0.338	1.4	
A 07	D13	640	10	0.995	0.637	6.4	
A 08	D13	490	12	0.995	0.488	5.9	
A 09	D13	490	18	0.995	0.488	8.8	
A 10	D13	480	2	0.995	0.478	1.0	
D19						76.8 kg	
D13						1048.1 kg	
小計						1124.9 kg	

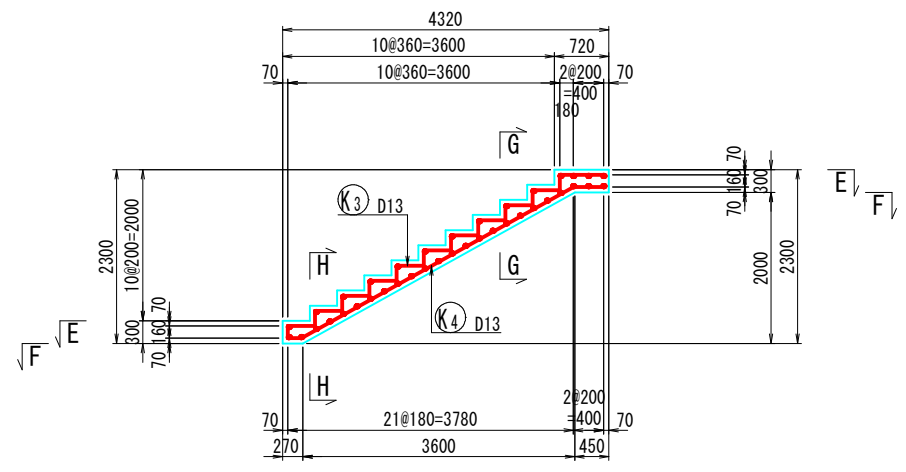
鉄筋質量表		下部取水工					
種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
T 1	D13	3720	5	0.995	3.701	18.5	
T 2	D13	4360	6	0.995	4.338	26.0	
T 3	D13	4370	2	0.995	4.348	8.7	
T 4	D13	2830	1	0.995	2.816	2.8	
T 5	D13	440	1	0.995	0.438	0.4	
T 6	D13	2910	2	0.995	2.895	5.8	
T 7	D13	1790	2	0.995	1.781	3.6	
T 8	D13	3020	3	0.995	3.005	9.0	
T 9	D13	4560	7	0.995	4.537	31.8	
T 10	D13	2810	5	0.995	2.796	14.0	
T 11	D13	1270	1	0.995	1.264	1.3	
T 12	D13	3590	2	0.995	3.572	7.1	
T 13	D13	3000	1	0.995	2.985	3.0	
T 14	D13	260	1	0.995	0.259	0.3	
T 15	D13	1460	1	0.995	1.453	1.5	
D13						133.8 kg	
小計						133.8 kg	
総質量							
D19						76.8 kg	
D13						1181.9 kg	
合計						1258.7 kg	

工事名	越畑台下洪水吐取水工改修工事その2		
図面名	右岸洪水吐取水工 配筋図5		
作成年月日			
縮 尺	1:50	図面番号	9-5/8
会社名			
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所		

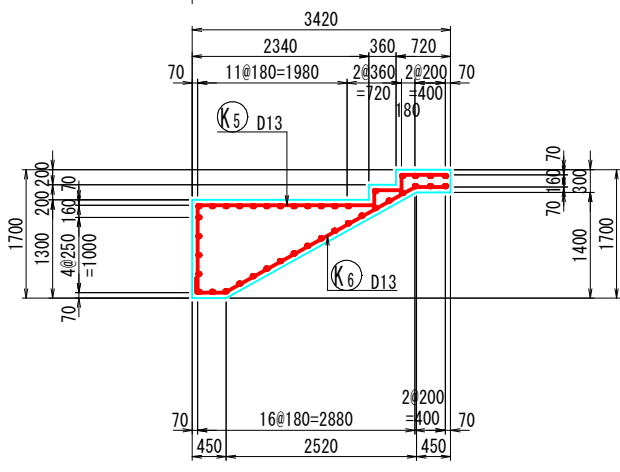
右岸洪水吐取水工 配筋図6

(下部階段)

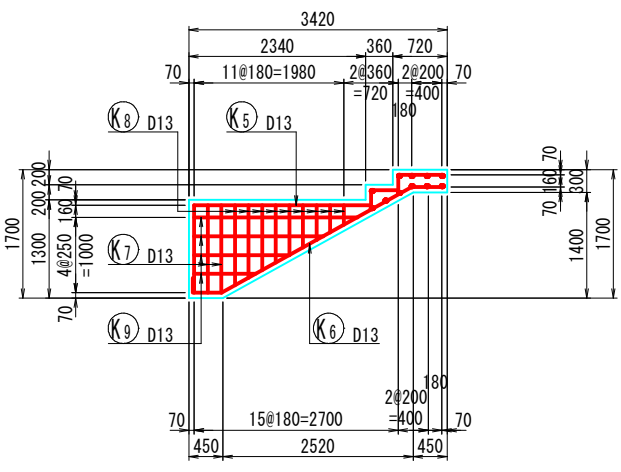
A-A 断面



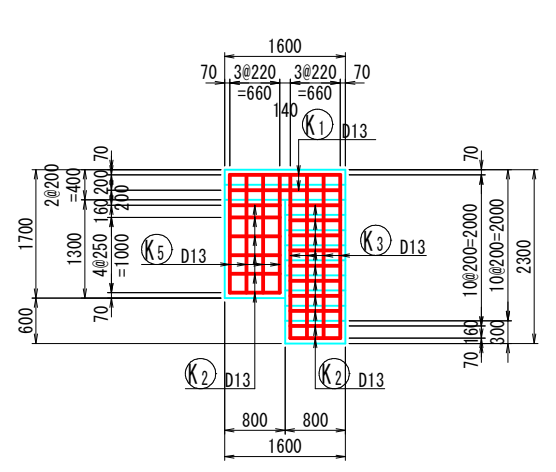
B-B 断面



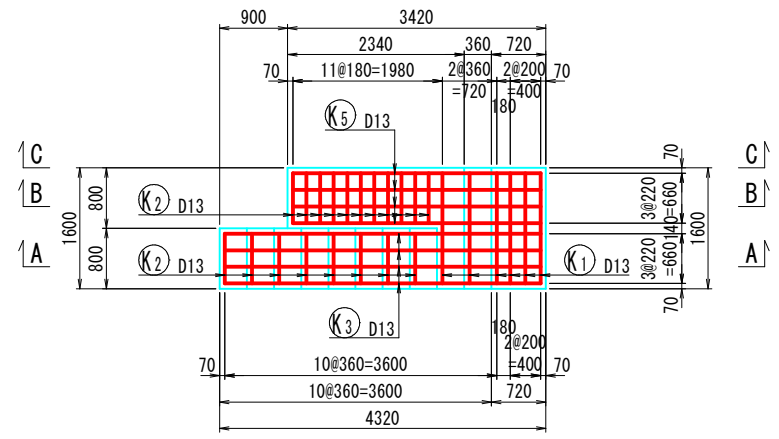
C-C 断面



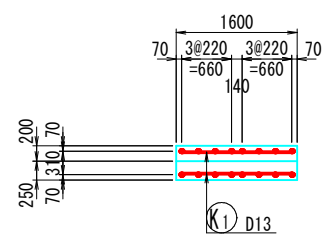
D-D 断面



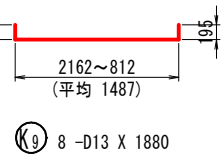
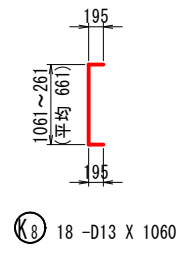
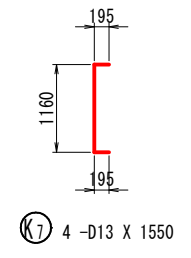
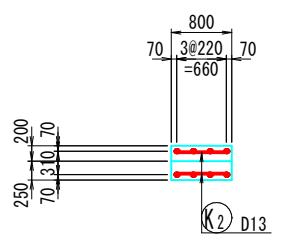
E-E 断面



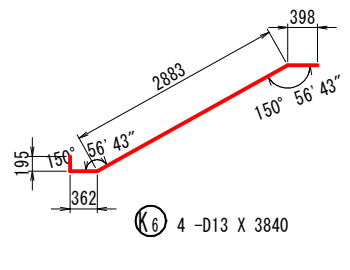
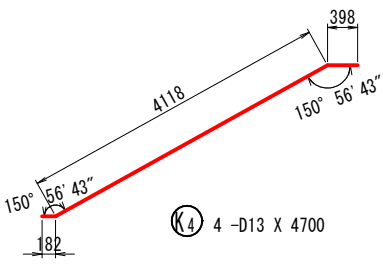
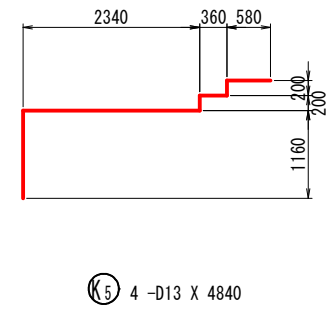
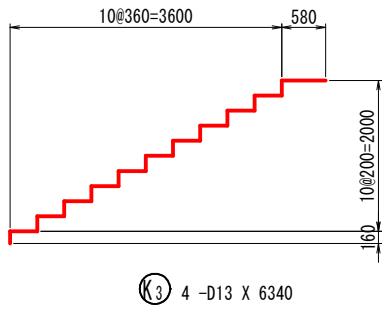
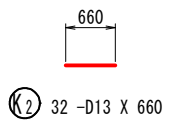
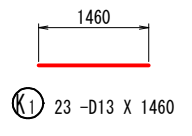
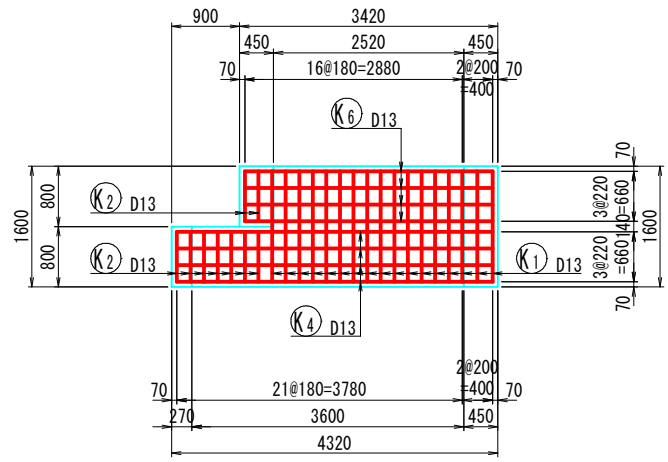
G-G 断面



H-H 断面



F-F 断面

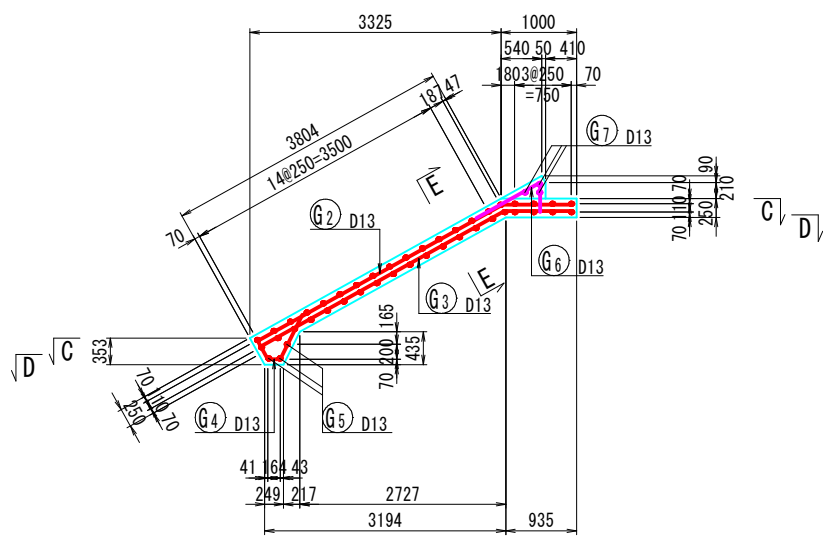


鉄筋質量表		下部階段					
種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
K 1	D13	1460	23	0.995	1.453	33.4	
K 2	D13	660	32	0.995	0.657	21.0	
K 3	D13	6340	4	0.995	6.308	25.2	
K 4	D13	4700	4	0.995	4.677	18.7	
K 5	D13	4840	4	0.995	4.816	19.3	
K 6	D13	3840	4	0.995	3.821	15.3	
K 7	D13	1550	4	0.995	1.542	6.2	
K 8	D13	1060	18	0.995	1.055	19.0	
K 9	D13	1880	8	0.995	1.871	15.0	
D13						173.1 kg	
小計						173.1 kg	

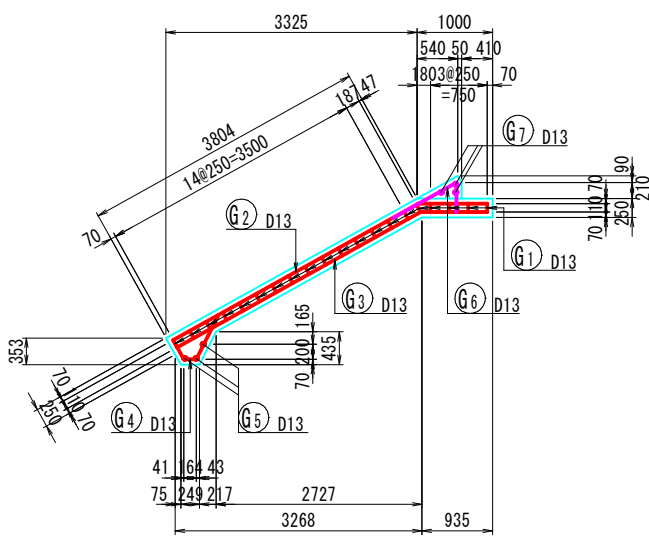
工事名	越畑台下洪水吐取水工改修工事その2		
図面名	右岸洪水吐取水工 配筋図6		
作成年月日			
縮 尺	1:50	図面番号	9-6/8
会社名			
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所		

右岸洪水吐取水工 配筋図7
(上部取水工)

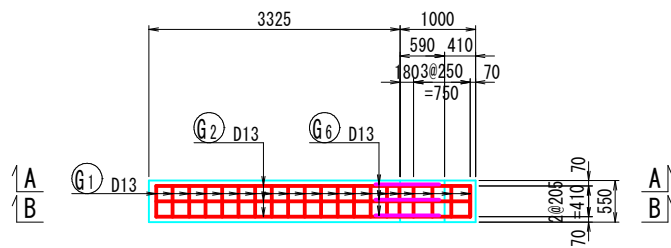
A-A 断面



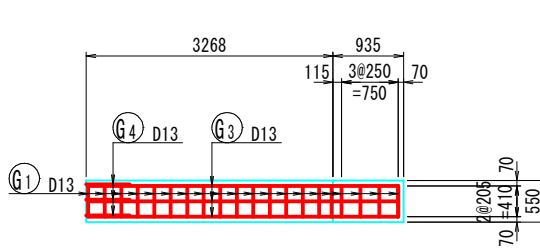
B-B 断面



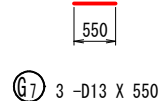
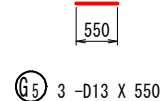
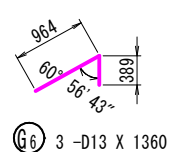
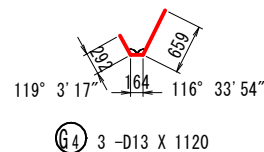
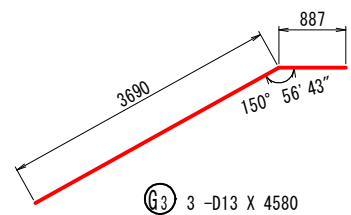
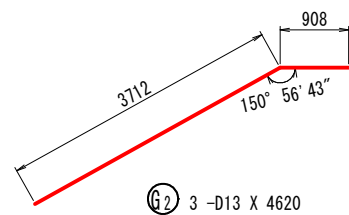
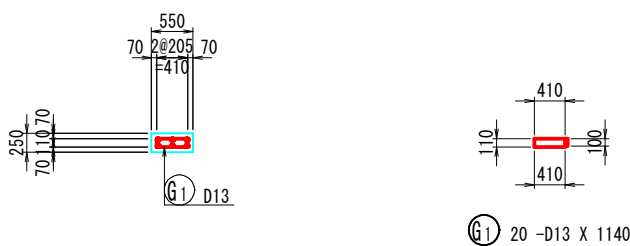
C-C 断面



D-D 断面



E-E 断面図



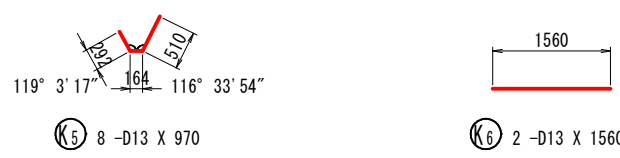
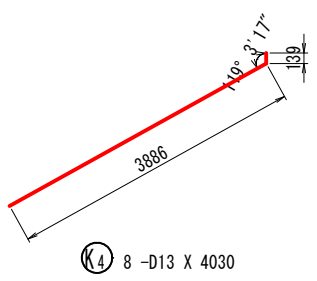
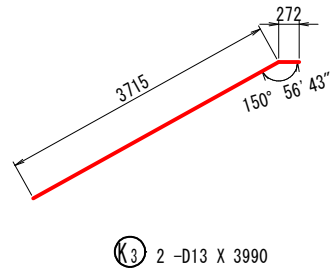
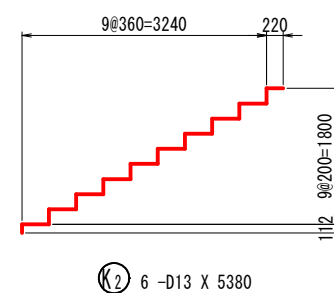
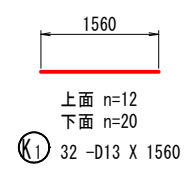
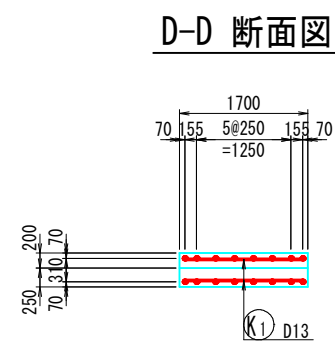
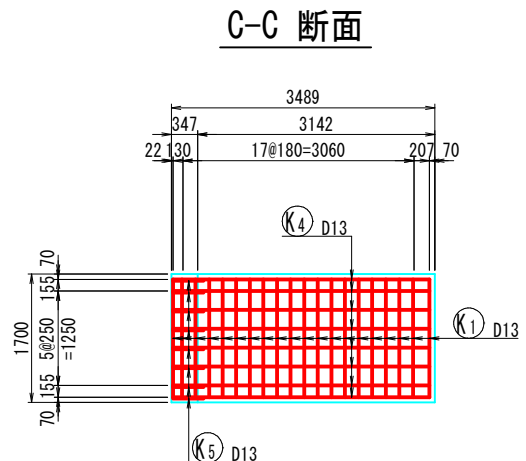
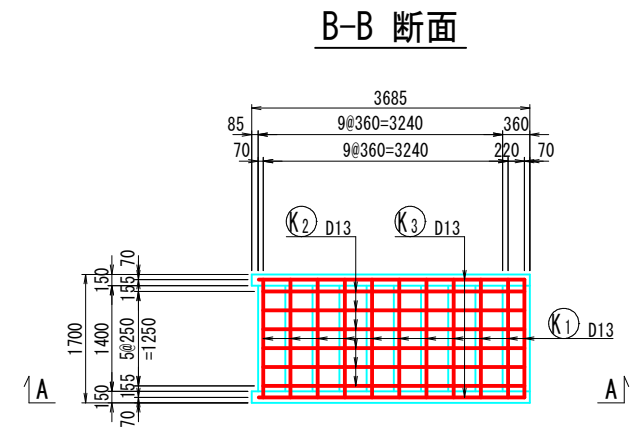
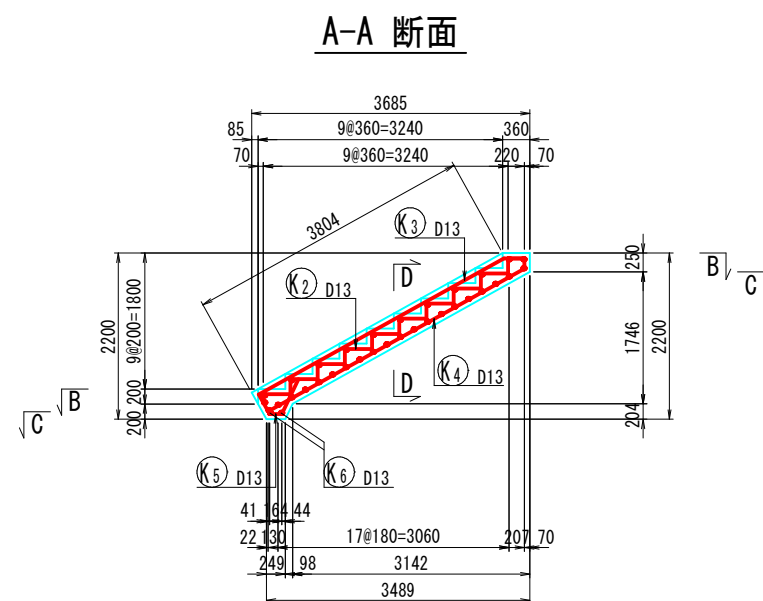
鉄筋質量表

上部取水工

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
G 1	D13	1140	20	0.995	1.134	22.7	
G 2	D13	4620	3	0.995	4.597	13.8	
G 3	D13	4580	3	0.995	4.557	13.7	
G 4	D13	1120	3	0.995	1.114	3.3	
G 5	D13	550	3	0.995	0.547	1.6	
G 6	D13	1360	3	0.995	1.353	4.1	
G 7	D13	550	3	0.995	0.547	1.6	
D13						60.8 kg	
小計						60.8 kg	

工事名	越畑台下洪水吐取水工改修工事その2		
図面名	右岸洪水吐取水工 配筋図7		
作成年月日			
縮 尺	1:50	図面番号	9-7/8
会社名			
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所		

右岸洪水吐取水工 配筋図8
(上部階段)

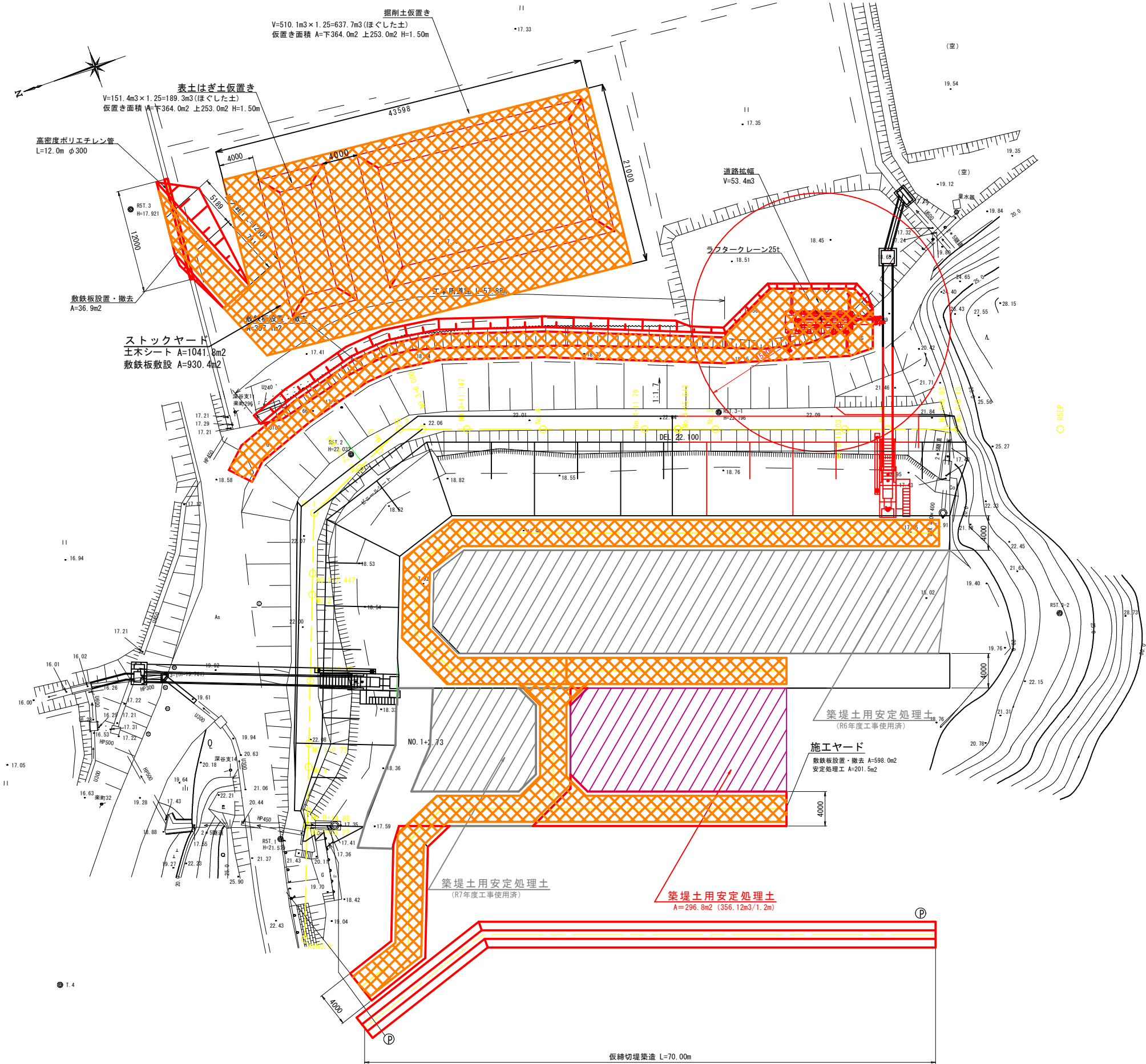


鉄筋質量表 上部階段						
種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当質量 (kg/本)	質量 (kg)
K 1	D13	1560	32	0.995	1.552	49.7
K 2	D13	5380	6	0.995	5.353	32.1
K 3	D13	3990	2	0.995	3.970	7.9
K 4	D13	4030	8	0.995	4.010	32.1
K 5	D13	970	8	0.995	0.965	7.7
K 6	D13	1560	2	0.995	1.552	3.1
D13						132.6 kg
小計						132.6 kg

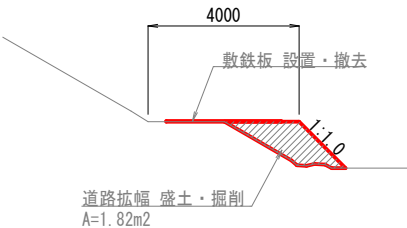
工事名	越畑台下洪水吐取水工改修工事その2		
図面名	右岸洪水吐取水工 配筋図8		
作成年月日			
縮 尺	1:50	図面番号	9-8/8
会社名			
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所		

仮設図（参考）

平面図 S=1:250

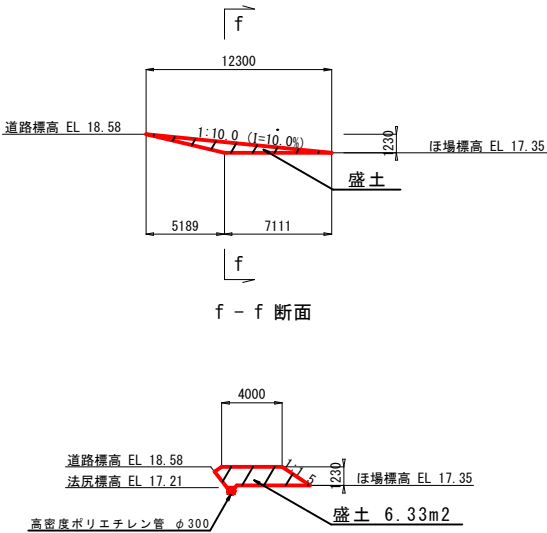


道路拡幅 標準図 S=1:100



【進入路1】

S=1:250



工事名	越畑台下洪水吐取水工改修工事その2		
図面名	仮設図（参考）		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	参考
会社名			
事業所名	千葉県 夷隅農業事務所		